

地 域 福 祉 に 関 す る ア ン ケ ー ト 調 査 報 告 書

平成 29 年 11 月

結 城 市

目 次

第1部 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 調査対象者及び回収状況	1
4. 分析・表示について	1
第2部 調査結果報告	3
I. 市民	3
1. あなたご自身についてお伺いします。	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 職業	5
(4) 家族構成	6
(5) 同居している家族について	7
(6) 居住地区	7
(7) 居住年数	8
2. 地域の福祉についてお伺いします	9
(1) 福祉への関心度	9
(2) 福祉のイメージ	10
(3) 近所との付き合いの状況	12
(4) 今後の近所付き合い	13
(5) 近所の人が困っているときにできること	15
(6) 地域での問題点・不足していると思うもの	17
(7) 募金の協力	19
(8) 助け合える地域の範囲	20
(9) 福祉に関する活動等の認知度	21
3. 福祉サービスの利用についてお伺いします	22
(1) 福祉に関する情報提供の充足度	22
(1) - 1 情報提供で不十分と思う理由	24
(2) 福祉に関する情報提供の満足度	25
(3) 困りごとや相談したいことの有無	26
(4) 日常生活での日頃の悩みや不安	27
(5) 相談窓口の利用状況と満足度	29
(6) 虐待の疑い	30
(6) - 1 虐待の対応	31

(7) 引きこもりや高齢者の孤立等の疑い	31
(7) - 1 孤立等の内容	32
4. 地域活動・ボランティア活動についてお伺いします	33
(1) 地域活動への参加状況	33
(1) - 1 参加している地域活動	35
(1) - 2 地域活動に参加したきっかけ	37
(1) - 3 地域活動に参加していない理由	39
(2) 今後の地域活動への参加意向	41
(2) - 1 今後参加してみたい地域活動	42
(3) ボランティア活動への参加状況	43
(3) - 1 参加しているボランティア活動	45
(3) - 2 ボランティア活動に参加したきっかけ	47
(3) - 3 ボランティア活動していない理由	48
(4) 今後のボランティア活動への参加意向	50
(4) - 1 今後参加してみたいボランティア活動	51
(5) ボランティア活動の講習会等への参加意向	53
5. 地域づくりについてお伺いします	54
(1) 地域の治安について	54
(2) 危険な目にあった経験	55
(2) - 1 被害の内容	56
(3) 要援護者の情報の扱い	57
(4) 防災活動や災害など緊急時の対応	58
(5) 災害発生時に困ること	60
(6) 結城市の満足度	62
(7) 住民同士のふれあいや支え合いの有無	64
(8) 地域でふれあい活動等を活性化させるために重要なこと	65
(9) 地域の交流の場の利用意向	67
(10) 結城市の住みよさ	68
(11) 充実してほしい福祉施策	69
II. 民生委員・児童委員	71
(1) 日頃の活動状況	71
(2) 地域住民との接触	72
(3) 活動を行っていくうえで大変と感ずること	73
(4) 活動を行ううえでの問題点・課題	74
(5) 地域福祉の課題	75
(6) 住民同士のふれあいや支え合い	76
(7) 充実してほしい福祉施策	77

Ⅲ. ボランティア	78
(1) 活動分野	78
(2) 活動年数	79
(3) 主な活動場所	79
(4) 活動の頻度	80
(5) 構成人員	80
(6) 活動資金について	81
(7) 活動の質を向上させるための取り組み	82
(8) 活動全般で困っていること	83
(9) 連携・協力関係がある機関	84
(10) 連携・協力関係を築きたい機関	85
(11) 連携する際の問題点	86
(12) 地域福祉を推進するために行っていること	86
(13) 健康や福祉に関する課題	87
(14) 活動を活性化させるために必要な取り組み	88
(15) 住民同士のふれあいや支え合いについて	89
(16) 充実してほしい福祉施策	90
資料編 調査票	93
Ⅰ. 16歳以上市民	93
Ⅱ. 民生委員・児童委員	138
Ⅲ. ボランティア団体	143

資料編 アンケート調査票

第 1 部 調査概要

第1部 調査概要

1. 調査の目的

結城市では、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりのため、市民・関係機関、団体と行政が連携し、地域住民がお互いに助け合える新しい福祉行政を目指し、「第3期ゆうきの地域福祉計画」を策定します。平成29年度の計画策定に向け、「結城市地域福祉に関するアンケート」を実施しました。

2. 調査の方法

郵送による配布、回収。

3. 調査対象者及び回収状況

対象者	配布数	回収数	回収率
16歳以上の市民（無作為抽出）	2,500件	1,132件	45.3%
民生委員・児童委員	88件	82件	93.2%
ボランティア	87件	45件	51.7%

4. 分析・表示について

1. 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため比率が0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計が100.0%とならないこともあります。
2. 複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っています。このため、比率計が100%を超えることがあります。
3. クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があるため、単純集計の結果と合致しない場合があります。

第 2 部 調查結果報告

第2部 調査結果報告

I. 市民

基数は特に断りのない限り、以下の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。

平成29年調査：サンプル数1,132件（今期計画に実施した調査）

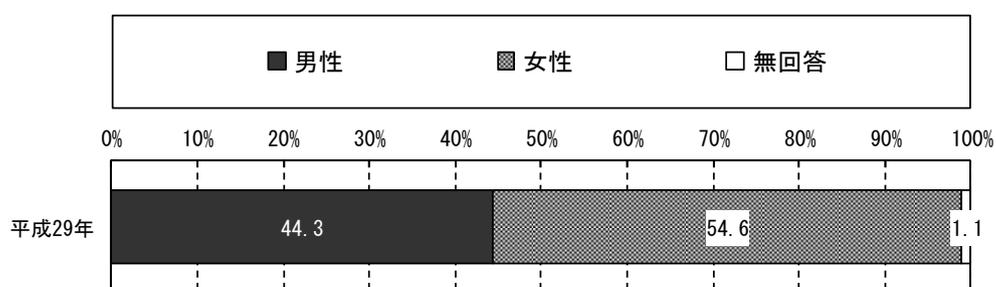
平成24年調査：サンプル数1,071件（第2期計画策定時に実施した調査）

平成19年調査：サンプル数922件（第1期計画策定時に実施した調査）

1. あなたご自身についてお伺いします。

（1）性別

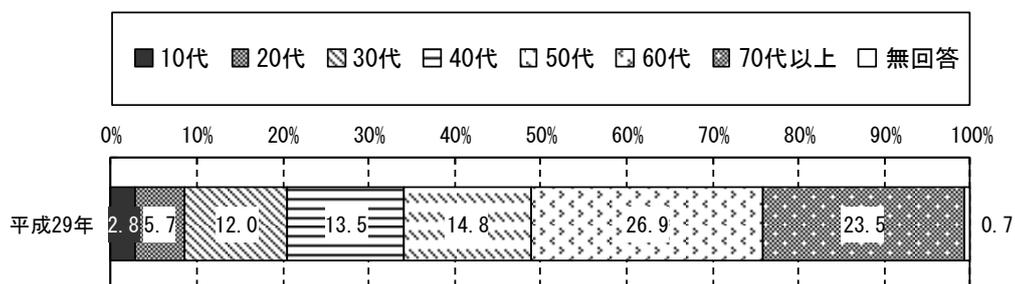
問1 あなたの性別についてお伺いします。（ひとつだけ○）



回答者の性別は、「男性」が44.3%、「女性」が54.6%で「女性」が「男性」を10.3ポイント上回っています。

（2）年齢

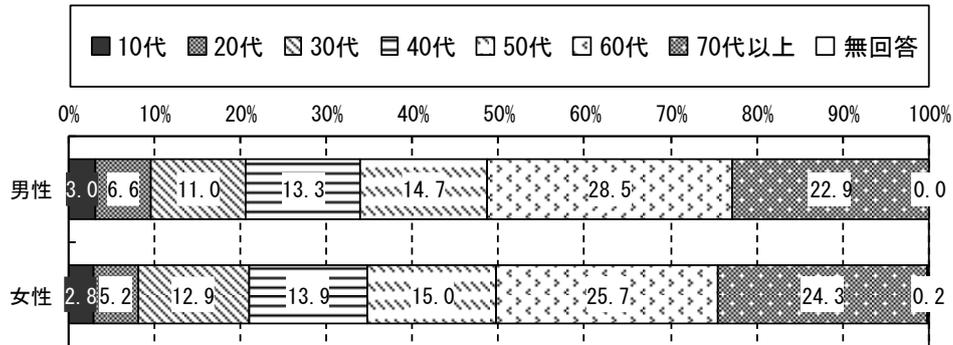
問2 平成29年7月1日現在のあなたの年齢についてお伺いします。（ひとつだけ○）



回答者の年代は、「60代」が26.9%で最も多く、次いで「70代以上」が23.5%、「50代」が14.8%と、65.2%が50代以上の回答となっています。

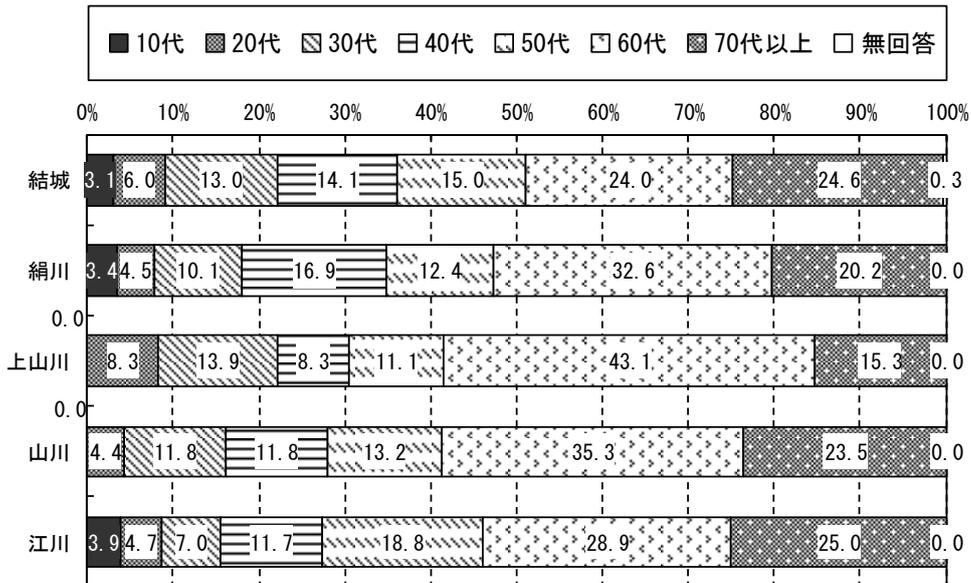
■性別クロス

男女別でみると、男女ともに年齢構成比はほぼ同じとなっています。



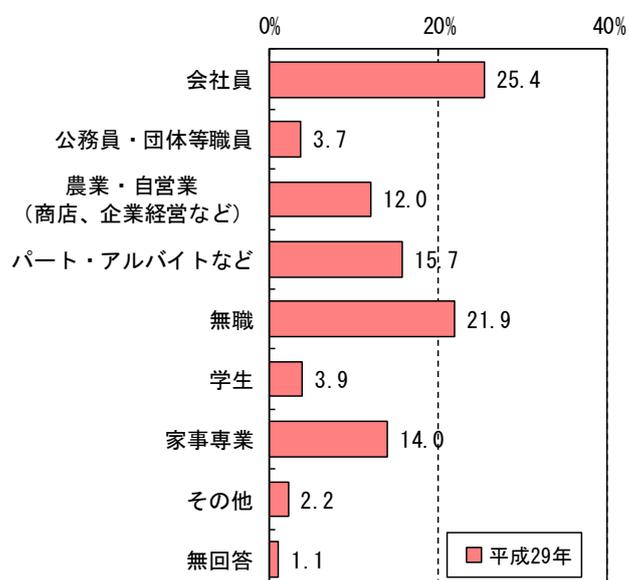
■地区別クロス

地区別に回答者の年齢をみると、上山川地区、山川地区は60代以上の回答割合が6割近く、結城地区や絹川地区は10～50代が他の地区に比べ多くなっています。



(3) 職業

問3 あなたの職業についてお伺いします。(ひとつだけ○)



職業は、「会社員」が25.4%、「無職」が21.9%、「パート・アルバイト」が15.7%となっています。

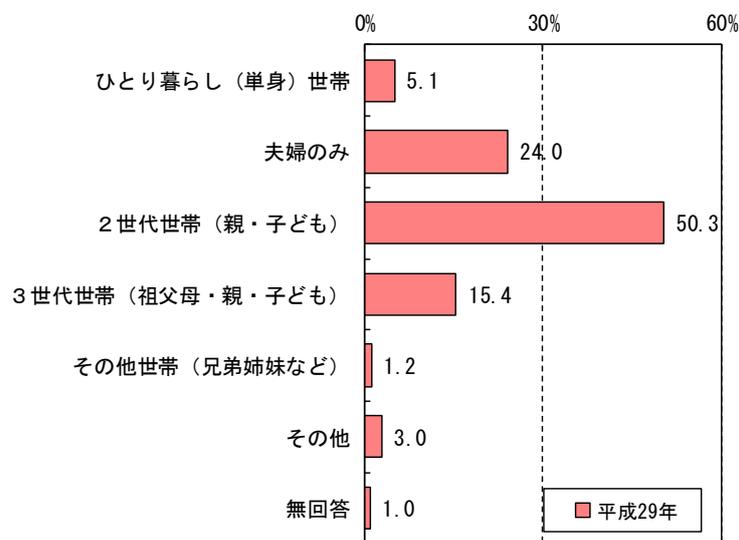
■年齢別クロス

年齢別で見ると、20～50代では「会社員」、「パート・アルバイト」の割合が高く、60代以上では「無職」の割合が高くなっています。

区分 %	件数	会社員	公務員・団体等職員	農業・自営業 (商店、企業経営など)	パート・アルバイトなど	無職	学生	家事専業	その他	無回答
全体	1,132	25.4	3.7	12.0	15.7	21.9	3.9	14.0	2.2	1.1
10代	32	6.3	0.0	0.0	0.0	3.1	90.6	0.0	0.0	0.0
20代	65	49.2	9.2	0.0	9.2	6.2	21.5	1.5	1.5	1.5
30代	136	48.5	11.0	4.4	19.1	6.6	0.0	7.4	2.9	0.0
40代	153	44.4	5.9	9.2	26.1	3.9	0.7	7.8	1.3	0.7
50代	167	38.9	4.2	13.2	25.7	6.6	0.0	7.2	4.2	0.0
60代	305	15.1	1.6	18.4	17.4	24.6	0.0	21.3	1.6	0.0
70代以上	266	3.4	0.0	14.3	3.8	53.0	0.0	22.2	2.3	1.1

(4) 家族構成

問4 現在、あなたは誰と一緒に暮らしていますか。(家族構成) (ひとつだけ○)



家族構成は、「2世代世帯(親・子ども)」が50.3%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が24.0%、「3世代世帯(祖父母・親・子ども)」が15.4%となっています。

■地区別・年齢別クロス

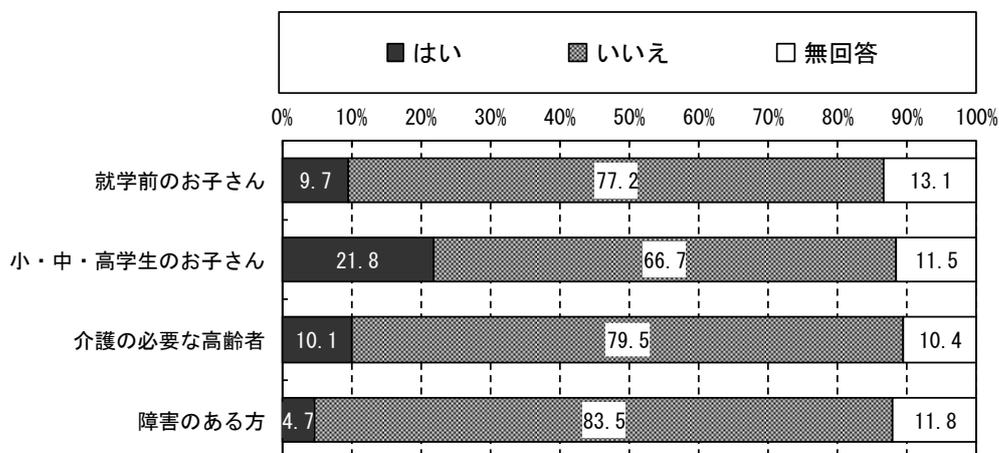
地区別で見ると、すべての地区で「2世代世帯(親・子ども)」が多く、上山川地区、山川地区、江川地区では他の地区に比べ「3世代世帯(祖父母・親・子ども)」の割合が高くなっています。

また、年齢別にみると、10~60代は「親子2世代世帯」が最も多く、70代以上では「夫婦のみ」が最も多くなっています。

区分 %	件数	ひとり暮らし(単身)世帯	夫婦のみ	2世代世帯(親・子ども)	3世代世帯(祖父母・親・子ども)	その他世帯(兄弟姉妹など)	その他	無回答	
全体	1,132	5.1	24.0	50.3	15.4	1.2	3.0	1.0	
地区別	結城	768	6.5	25.7	51.4	12.6	1.3	2.1	0.4
	絹川	89	1.1	24.7	57.3	11.2	1.1	3.4	1.1
	上山川	72	4.2	20.8	40.3	26.4	0.0	8.3	0.0
	山川	68	1.5	23.5	50.0	22.1	0.0	2.9	0.0
	江川	128	2.3	17.2	46.1	25.8	2.3	5.5	0.8
年齢別	10代	32	0.0	0.0	59.4	31.3	3.1	6.3	0.0
	20代	65	3.1	7.7	47.7	36.9	1.5	3.1	0.0
	30代	136	4.4	15.4	66.2	9.6	1.5	2.9	0.0
	40代	153	4.6	9.2	68.0	15.7	1.3	0.7	0.7
	50代	167	3.0	15.6	56.3	19.2	1.8	4.2	0.0
	60代	305	3.6	33.1	44.9	14.1	1.3	2.6	0.3
	70代以上	266	10.2	39.5	35.3	10.5	0.4	3.8	0.4

(5) 同居している家族について

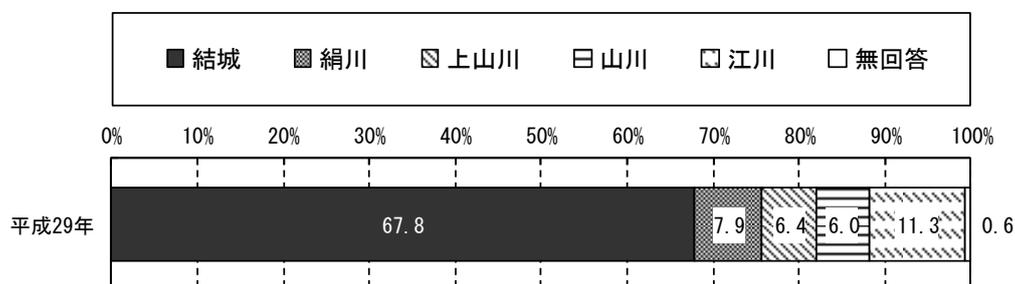
問5 同居のご家族の中に、次のような方はいますか。(それぞれひとつだけ○)



同居している家族では、就学前のお子さんは9.7%、小・中・高学生は21.8%、介護の必要な高齢者は10.1%、障害のある方は4.7%となっています。

(6) 居住地区

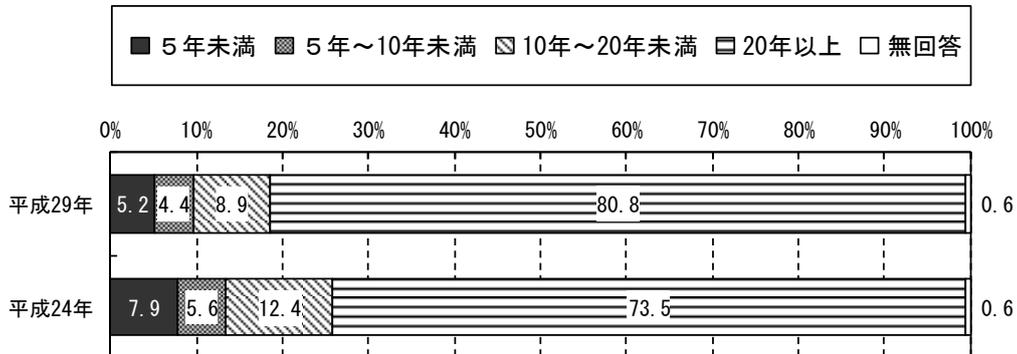
問6 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか。(ひとつだけ○)



居住地区別の割合は、多い順に「結城」、「江川」、「絹川」、「上山川」、「山川」となっています。

(7) 居住年数

問7 あなたは、結城市にお住まいになって通算で何年くらいですか。(ひとつだけ○)



居住年数は、「20年以上」が80.8%で最も多く、次いで「10年～20年未満」が8.9%、「5年未満」が5.2%となっています。

■地区別クロス

地区別で見ると、上山川地区、山川地区で「20年以上」の割合が9割と他の地区より高くなっています。

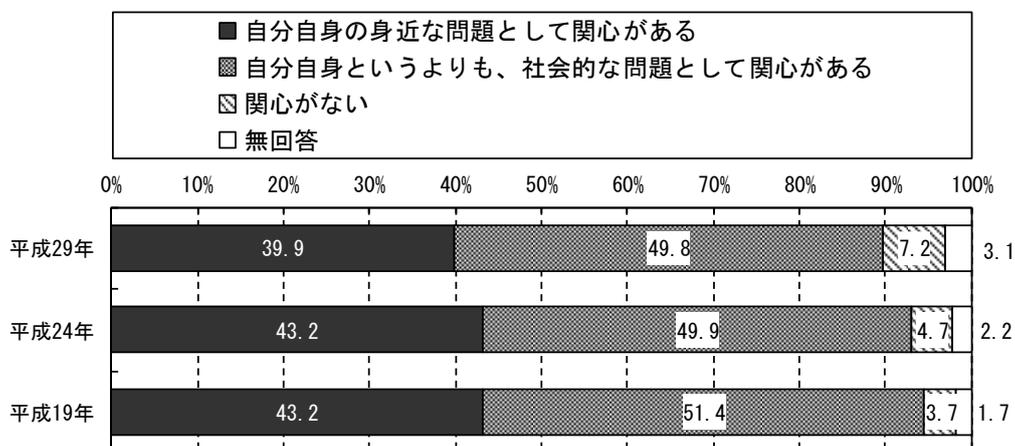
一方で、結城地区、絹川地区では20年未満が他の地域より高く、比較的居住年数の浅い人が多いことを示しています。

区分%	件数	5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年以上	無回答
全体	1,132	5.2	4.4	8.9	80.8	0.6
結城	768	6.6	5.7	9.5	78.0	0.1
絹川	89	4.5	4.5	10.1	80.9	0.0
上山川	72	1.4	0.0	5.6	93.1	0.0
山川	68	0.0	0.0	7.4	92.6	0.0
江川	128	1.6	1.6	7.8	89.1	0.0

2. 地域の福祉についてお伺いします

(1) 福祉への関心度

問8 あなたは、「福祉」に関心をお持ちですか。(ひとつだけ○)



福祉への関心度では、「自分自身というよりも、社会的な問題として関心がある」が49.8%、「自分自身の身近な問題として関心がある」が39.9%で合計89.7%の方が「関心がある」と答えています。平成24年、平成19年調査とほぼ同様の関心度合いです。

その一方で、7.2%が「関心がない」と回答しており、その割合も増加しています。

■地区別・年齢別クロス

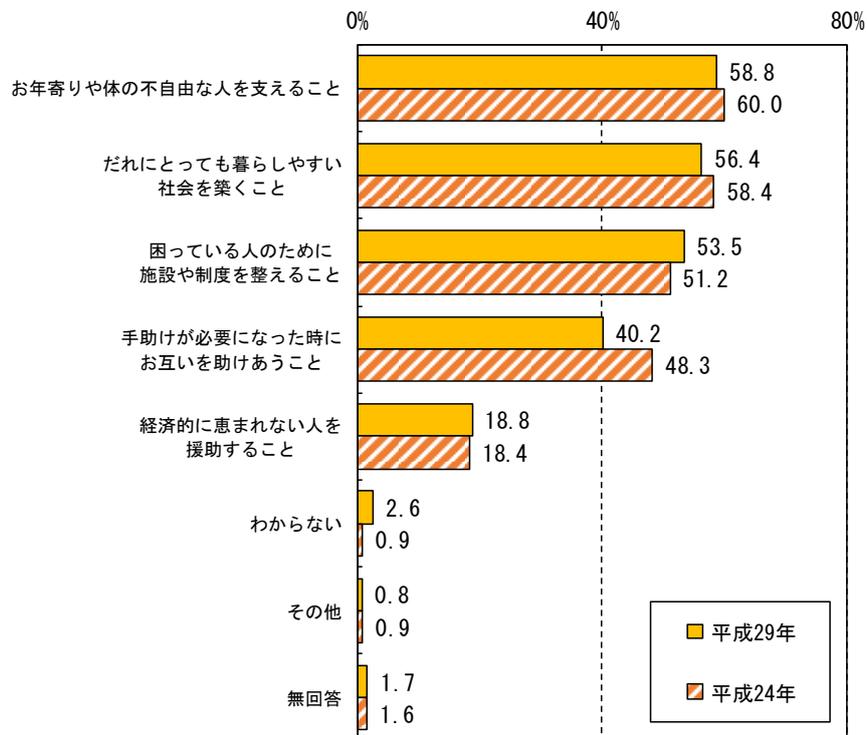
地区別にみると、山川地区で「自分自身の身近な問題として関心がある」と回答した割合が他の地区に比べ高くなっている一方で、「関心がない」が14.7%と高くなっています。

また、年齢別にみると、10代~40代、60代は「自分自身というよりも、社会的な問題として関心がある」が最も多く、50%以上となっており、50代、70代以上は「自分自身の身近な問題として関心がある」が最も多く、4割以上です

区分 %	件数	自分自身の身近な問題として関心がある (%)	自分自身というよりも、社会的な問題として関心がある (%)	関心がない (%)	無回答 (%)	
全体	1,132	39.9	49.8	7.2	3.1	
地区別	結城	768	37.8	52.2	7.2	2.9
	絹川	89	46.1	46.1	4.5	3.4
	上山川	72	44.4	48.6	6.9	0.0
	山川	68	47.1	33.8	14.7	4.4
	江川	128	41.4	49.2	5.5	3.9
年齢別	10代	32	18.8	62.5	18.8	0.0
	20代	65	26.2	52.3	21.5	0.0
	30代	136	31.6	50.7	17.6	0.0
	40代	153	33.3	55.6	9.2	2.0
	50代	167	46.7	46.1	4.2	3.0
	60代	305	42.6	50.8	1.6	4.9
	70代以上	266	46.6	45.5	4.1	3.8

(2) 福祉のイメージ

問9 あなたは、「福祉」という言葉からどのようなイメージを受けますか。(3つまで)



福祉のイメージは、「お年寄りや体の不自由な人を支えること」が58.8%で最も多く、次いで「だれにとっても暮らしやすい社会を築くこと」が56.4%、「困っている人のために施設や制度を整えること」が53.5%となっています。

平成24年調査とほぼ同様の傾向がうかがえますが、「手助けが必要になった時にお互いを助けあうこと」と回答した割合が減少し、「困っている人のために施設や制度を整えること」が増加していることから、行政への依存が高くなっています。

■地区別・年齢別クロス

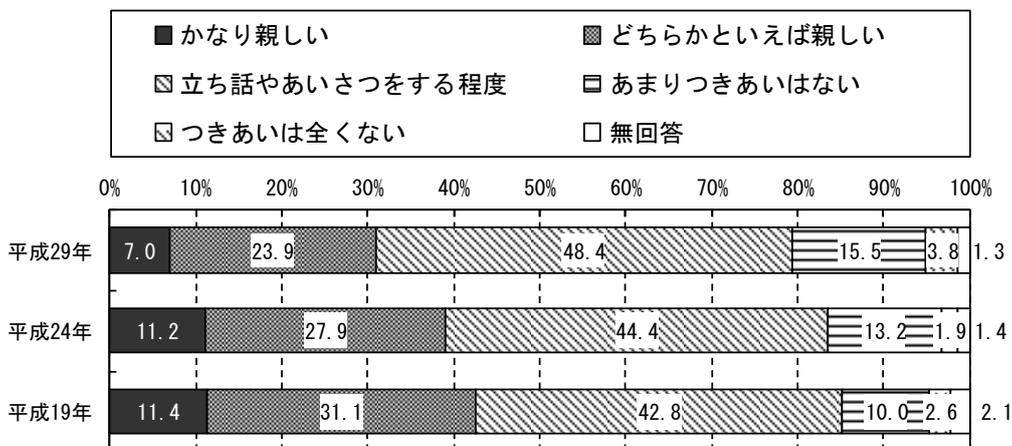
地区別にみると、結城地区、絹川地区、上山川地区では「お年寄りや体の不自由な人を支えること」、山川地区では「だれにとっても暮らしやすい社会を築くこと」、江川地区では「困っている人のために施設や制度を整えること」が多くなっています。

また、年齢別でみると10代、40代、50代は、「お年寄りや体の不自由な人を支えること」が第1位でほぼ6割以上となっています。20代、30代は「困っている人のために施設や制度を整えること」が第1位でほぼ6割以上となっています。60代以上は「だれにとっても暮らしやすい社会を築くこと」が第1位で6割以上となっています。

区分 %	件数	だれにとっても暮らしやすい社会を築くこと	経済的に恵まれない人を援助すること	お年寄りや体の不自由な人を支えること	手助けが必要になった時にお互いを助けあうこと	困っている人のために施設や制度を整えること	わからない	その他	無回答	
全体	1,132	56.4	18.8	58.8	40.2	53.5	2.6	0.8	1.7	
地区別	結城	768	58.5	19.1	58.6	42.1	52.3	2.3	0.8	1.6
	絹川	89	52.8	21.3	62.9	37.1	61.8	2.2	0.0	3.4
	上山川	72	52.8	19.4	72.2	40.3	58.3	2.8	0.0	0.0
	山川	68	54.4	14.7	47.1	39.7	41.2	4.4	1.5	2.9
	江川	128	50.8	16.4	54.7	32.8	57.8	3.1	1.6	0.8
	年齢別	10代	32	50.0	15.6	59.4	28.1	40.6	3.1	0.0
20代	65	43.1	15.4	60.0	35.4	72.3	6.2	1.5	0.0	
30代	136	49.3	22.1	58.1	33.1	59.6	4.4	2.2	0.0	
40代	153	50.3	20.3	67.3	35.3	60.8	3.3	1.3	1.3	
50代	167	49.7	22.2	65.3	42.5	55.7	1.2	0.6	1.2	
60代	305	62.6	17.7	57.0	41.6	48.9	1.3	0.7	2.6	
70代以上	266	65.0	16.9	51.5	46.6	47.0	2.6	0.0	1.9	

(3) 近所との付き合いの状況

問 10 日ごろの近所付き合いは、どの程度ですか。(ひとつだけ○)



近所との付き合いは、「立ち話やあいさつをする程度」が 48.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば親しい」が 23.9%、「あまりつきあいはない」が 15.5%となっています。平成 24 年、平成 19 年調査とほぼ同様ですが、「どちらかといえば親しい」は減少、一方「あまりつきあいはない」が増加しています。

■地区別・年齢別クロス

地区別でみると結城や絹川では、「立ち話やあいさつをする程度」が 50%前後で比較的多いですが、上山川・山川・江川では比較的少なく、一方、「かなり親しい」と「どちらかといえば親しい」の合計が 40%前後となっています。

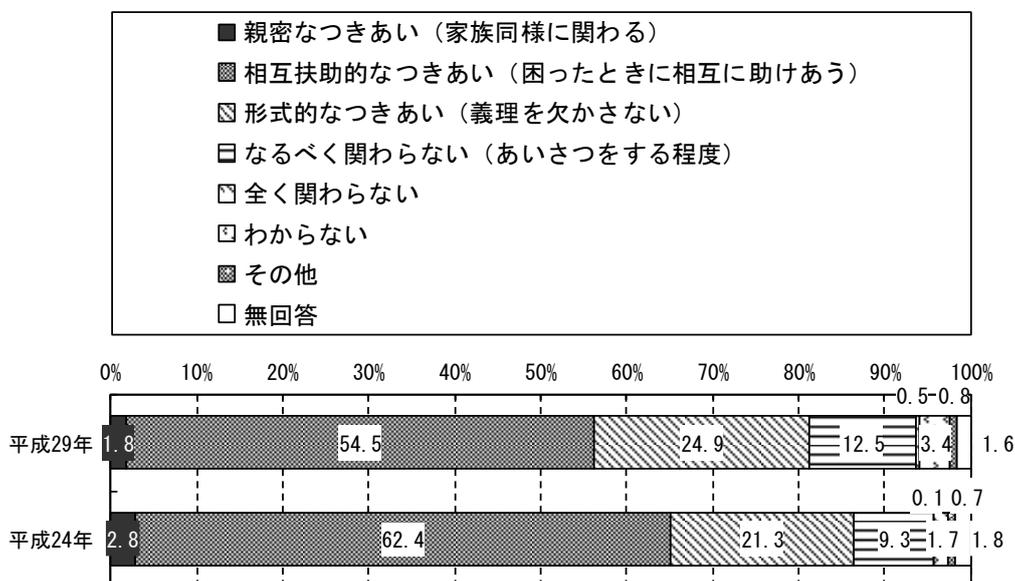
また、年齢別でみると 30 代以上では「立ち話やあいさつをする程度」がほぼ 40%から 50%台で、最も多い状況です。

年齢が上がるほど、「あまりつきあいはない」は少なくなる一方、「どちらかといえば親しい」が比較的多くなっています。

区分 %	件数	かなり親しい	どちらかといえば親しい	立ち話やあいさつをする程度	あまりつきあいはない	つきあいは全くない	無回答	
全体	1,132	7.0	23.9	48.4	15.5	3.8	1.3	
地区別	結城	768	6.4	21.6	49.6	16.5	4.6	1.3
	絹川	89	7.9	20.2	53.9	12.4	3.4	2.2
	上山川	72	9.7	37.5	43.1	9.7	0.0	0.0
	山川	68	7.4	32.4	36.8	19.1	2.9	1.5
	江川	128	8.6	28.9	46.1	13.3	2.3	0.8
年齢別	10代	32	0.0	12.5	53.1	28.1	6.3	0.0
	20代	65	0.0	6.2	33.8	44.6	15.4	0.0
	30代	136	3.7	12.5	47.8	30.1	5.9	0.0
	40代	153	3.3	20.3	43.8	24.8	7.2	0.7
	50代	167	6.0	16.8	57.5	14.4	4.2	1.2
	60代	305	6.2	32.5	51.1	6.2	1.3	2.6
	70代以上	266	15.0	32.7	45.5	5.3	0.4	1.1

(4) 今後の近所付き合い

問 11 ご近所付き合いは、今後、どのようにしたいですか。(ひとつだけ○)



今後の近所付き合いの状況では、「相互扶助的なつきあい (困ったときに相互に助けあう)」が 54.5% と最も多く、次いで「形式的なつきあい (義理を欠かさない)」が 24.9%、「なるべく関わらない (あいさつをする程度)」が 12.5% となっています。

平成 24 年調査とほぼ同様ですが、「相互扶助的なつきあい (困ったときに相互に助けあう)」は減少、一方「なるべく関わらない (あいさつをする程度)」が増加しています。

■地区別・年齢別クロス

地区別で見ると、すべての地区で「相互扶助的なつきあい（困ったときに相互に助けあう）」が多くなっています。

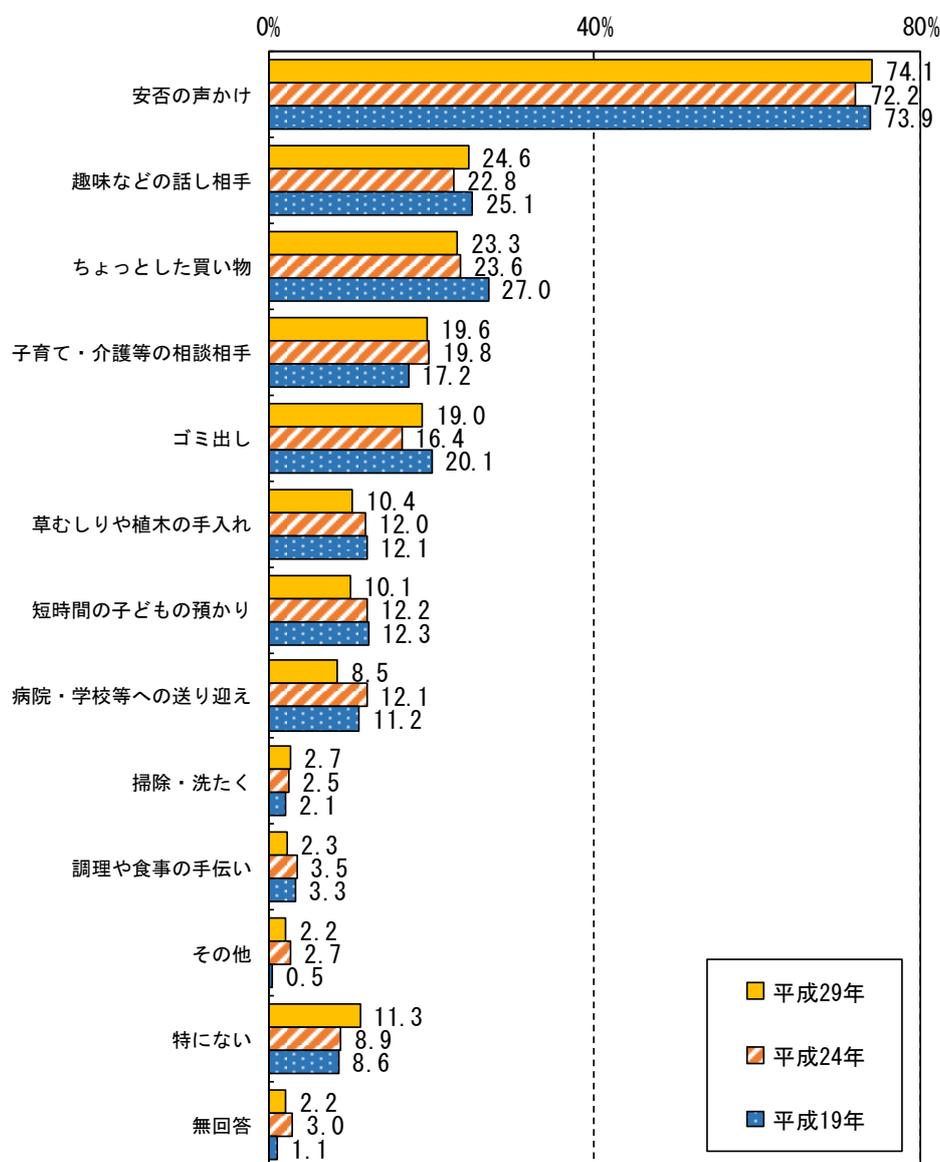
また、年齢別で見ると、どの年代も「相互扶助的なつきあい」が最も多くなっています。50代以上では50%から60%台です。

一方で10～30代では「なるべく関わらない（あいさつをする程度）」が2割います。

区分%	件数	親密なつきあい(家族同様に関わる)	相互扶助的なつきあい(困ったときに相互に助けあう)	形式的なつきあい(義理を欠かさない)	なるべく関わらない(あいさつをする程度)	全く関わらない	わからない	その他	無回答	
全体	1,132	1.8	54.5	24.9	12.5	0.5	3.4	0.8	1.6	
地区別	結城	768	1.7	53.6	24.5	14.2	0.7	2.9	0.8	1.7
	絹川	89	1.1	59.6	21.3	10.1	0.0	5.6	0.0	2.2
	上山川	72	0.0	58.3	31.9	6.9	0.0	2.8	0.0	0.0
	山川	68	1.5	51.5	25.0	11.8	0.0	7.4	1.5	1.5
	江川	128	3.9	56.3	25.0	8.6	0.8	3.1	1.6	0.8
	年齢別	10代	32	3.1	34.4	25.0	21.9	0.0	15.6	0.0
20代		65	0.0	44.6	20.0	24.6	1.5	9.2	0.0	0.0
30代		136	1.5	39.7	30.1	20.6	0.0	6.6	1.5	0.0
40代		153	0.7	43.8	30.1	17.0	0.7	5.9	1.3	0.7
50代		167	0.0	56.9	26.3	12.0	1.2	1.2	0.6	1.8
60代		305	1.3	63.9	22.0	7.9	0.0	1.6	0.7	2.6
70代以上		266	4.5	61.3	22.6	7.5	0.8	0.8	0.8	1.9

(5) 近所の人困っているときにできること

問12 ご近所で、病気や介護、子育てなどで支援が必要なご家庭があった場合、あなたがしてもよいと思うことはありますか。(3つまで)



近所の人困っているときにできることでは、「安否の声かけ」が74.1%と最も多く、次いで「趣味などの話し相手」が24.6%、「ちょっとした買い物」が23.3%となっています。わずかですが「趣味などの話し相手」、「ちょっとした買い物」の順位が変わっています。

■地区別・年齢別クロス

地区別で見るとすべての地区で「安否の声かけ」が最も高くなっています。

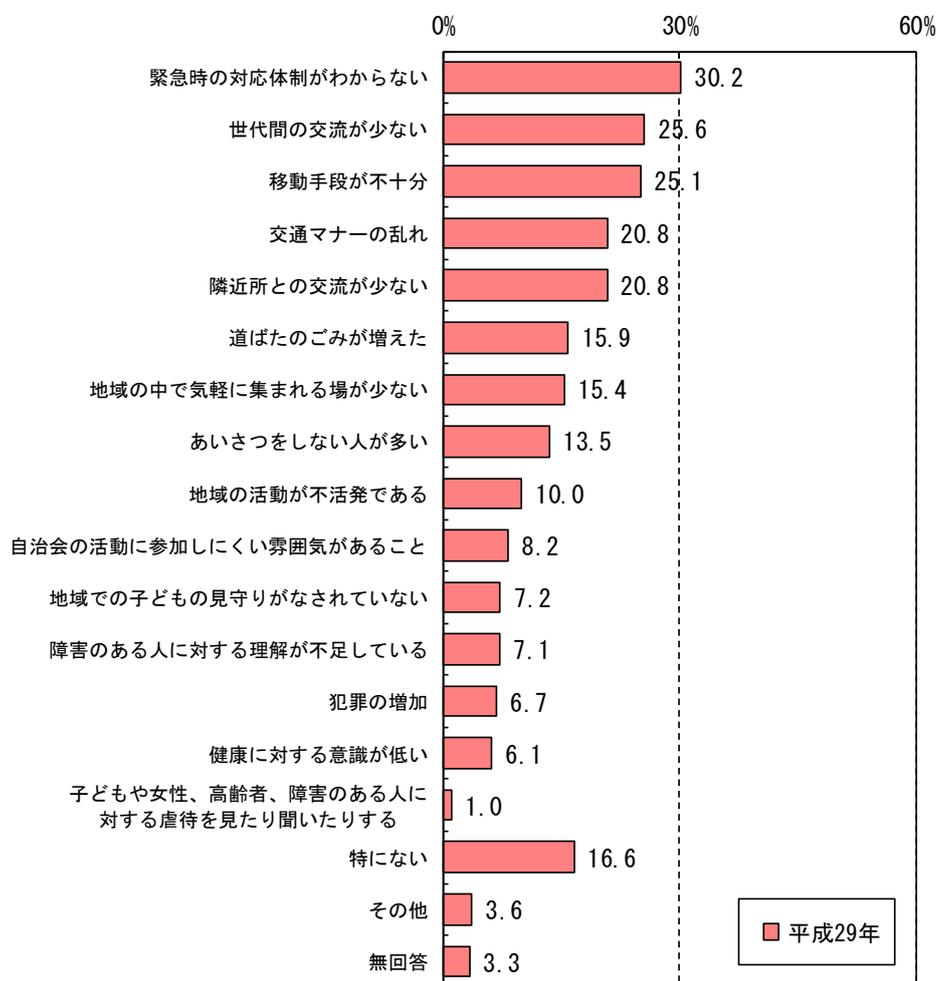
また、年齢別で見ると、すべての年齢で「安否の声かけ」が最も高くなっています。

10～20代で「趣味などの話し相手」が3割程度いて、比較的他の年齢より高くなっています。

区分 %	件数	安否の声かけ	趣味などの話し相手	子育て・介護等の相談相手	ちょっとした買い物	ゴミ出し	掃除・洗たく	草むしりや植木の手入れ	調理や食事の手伝い	病院・学校等への送り迎え	短時間の子どもの預かり	その他	特にない	無回答	
全体	1,132	74.1	24.6	19.6	23.3	19.0	2.7	10.4	2.3	8.5	10.1	2.2	11.3	2.2	
地区別	結城	768	74.7	24.6	18.6	23.6	22.3	2.5	9.8	2.1	7.4	9.5	2.3	11.2	1.8
	絹川	89	75.3	20.2	16.9	28.1	12.4	2.2	15.7	4.5	15.7	7.9	2.2	11.2	3.4
	上山川	72	75.0	27.8	23.6	23.6	11.1	4.2	11.1	1.4	9.7	19.4	2.8	8.3	1.4
	山川	68	73.5	23.5	26.5	22.1	10.3	2.9	11.8	1.5	8.8	7.4	0.0	13.2	1.5
	江川	128	70.3	27.3	21.9	18.8	13.3	3.9	10.2	3.1	9.4	11.7	2.3	12.5	3.1
年齢別	10代	32	50.0	34.4	0.0	6.3	25.0	6.3	9.4	3.1	3.1	6.3	3.1	25.0	0.0
	20代	65	58.5	32.3	20.0	10.8	6.2	0.0	7.7	0.0	3.1	12.3	0.0	30.8	0.0
	30代	136	73.5	25.0	25.0	14.0	10.3	2.9	8.8	1.5	10.3	11.0	2.9	15.4	0.7
	40代	153	79.1	21.6	20.3	24.8	18.3	1.3	7.8	0.7	13.1	15.7	2.0	8.5	0.7
	50代	167	78.4	20.4	22.8	31.7	12.6	1.8	10.8	1.8	8.4	10.8	0.6	9.0	1.8
	60代	305	79.3	27.5	19.3	26.6	22.0	2.0	9.5	3.0	7.9	9.2	2.6	8.2	2.6
	70代以上	266	70.3	22.9	17.3	23.3	26.7	5.3	14.7	3.8	7.9	7.1	3.0	9.0	3.8

(6) 地域での問題点・不足していると思うもの

問13 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点・不足していると思うものは何ですか
(〇はいくつでも)



地域の問題点・不足していると思う点は、「緊急時の対応体制がわからない」が30.2%と最も多く、次いで「世代間の交流が少ない」が25.6%、「移動手段が不十分」が25.1%となっています。

■地区別・年齢別クロス

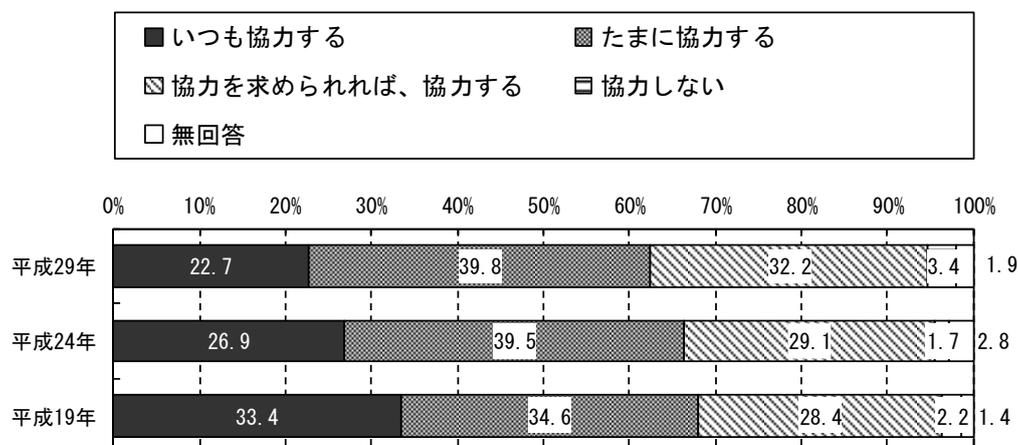
地区別でみると、結城地区、絹川地区では「緊急時の対応体制がわからない」、上山川地区、山川地区、江川地区では「移動手段が不十分」が最も高くなっています。

年齢別でみると、60代以上では「世代間の交流が少ない」が他の年齢より高くなっています。

区分 %	件数	あいさつをしない人が多い	緊急時の対応体制がわからない	犯罪の増加	交通マナーの乱れ	道ばたのごみが増えた	地域での子どもの見守りがなされていない	子どもや女性、高齢者、障害のある人に対する虐待を見たり聞いたりする	隣近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の活動が不活発である	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	自治会の活動に参加しにくい雰囲気があること	障害のある人に対する理解が不足している	健康に対する意識が低い	移動手段が不十分	特にない	その他	無回答	
全体	1,132	13.5	30.2	6.7	20.8	15.9	7.2	1.0	20.8	25.6	10.0	15.4	8.2	7.1	6.1	25.1	16.6	3.6	3.3	
地区別	結城	768	15.9	33.5	7.2	22.4	14.7	7.2	1.2	21.5	25.0	10.9	14.2	9.2	6.0	7.0	19.8	17.3	3.8	3.3
	絹川	89	10.1	30.3	7.9	21.3	15.7	13.5	1.1	23.6	25.8	10.1	18.0	10.1	15.7	5.6	28.1	13.5	1.1	4.5
	上山川	72	5.6	18.1	6.9	27.8	25.0	6.9	0.0	12.5	31.9	8.3	19.4	5.6	5.6	2.8	37.5	12.5	5.6	1.4
	山川	68	8.8	22.1	2.9	13.2	14.7	7.4	1.5	25.0	32.4	8.8	17.6	1.5	0.0	5.9	39.7	17.6	1.5	2.9
	江川	128	7.8	23.4	5.5	12.5	18.0	3.1	0.0	15.6	23.4	6.3	17.2	6.3	11.7	3.1	40.6	16.4	4.7	3.1
年齢別	10代	32	15.6	31.3	12.5	25.0	21.9	6.3	3.1	12.5	12.5	0.0	9.4	3.1	6.3	6.3	18.8	25.0	15.6	0.0
	20代	65	10.8	30.8	4.6	20.0	6.2	7.7	1.5	18.5	27.7	10.8	12.3	10.8	6.2	7.7	32.3	21.5	7.7	1.5
	30代	136	13.2	38.2	9.6	27.9	12.5	9.6	1.5	16.2	20.6	6.6	13.2	10.3	10.3	7.4	22.8	15.4	6.6	2.2
	40代	153	7.8	34.0	9.8	26.8	15.0	13.1	1.3	13.1	14.4	5.9	15.7	9.2	6.5	3.9	32.0	13.7	2.6	2.6
	50代	167	13.2	31.1	10.2	21.0	17.4	2.4	0.0	16.8	19.8	10.8	10.8	6.0	7.8	5.4	28.1	17.4	1.8	3.6
	60代	305	10.2	30.5	3.9	20.0	16.1	5.9	0.0	23.6	32.1	13.4	16.1	7.5	6.2	5.6	23.3	15.7	3.0	3.6
	70代以上	266	21.1	22.9	4.5	14.7	18.8	7.1	1.9	27.8	32.3	10.5	19.5	9.0	6.4	7.5	21.1	17.3	2.3	4.1

(7) 募金の協力

問 14 災害や助け合いなどの募金に協力したことはありますか。(ひとつだけ○)



募金の協力は、「いつも協力する」が22.7%、「たまに協力する」が39.8%で、両者の合計では62.5%です。また、「協力を求められれば、協力する」が32.2%です。

募金の協力をするという回答は、平成24年、平成19年調査より減少しています。

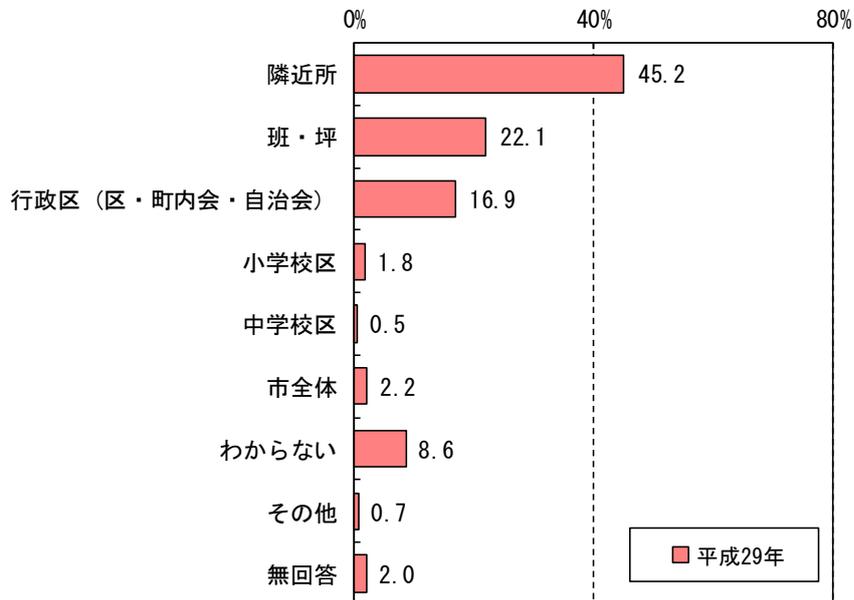
■年齢別クロス

年齢別で見ると60代以上では「いつも協力する」人は20%以上です。「いつも協力する」と「たまに協力する」の合計では、いずれの年代でも50%以上となっています。

区分%	件数	いつも協力する	たまに協力する	協力を求められれば、協力する	協力しない	無回答
全体	1,132	22.7	39.8	32.2	3.4	1.9
10代	32	21.9	40.6	31.3	6.3	0.0
20代	65	9.2	46.2	33.8	10.8	0.0
30代	136	14.7	47.1	31.6	6.6	0.0
40代	153	13.7	53.6	26.8	3.3	2.6
50代	167	19.8	50.3	25.7	3.0	1.2
60代	305	22.6	34.8	38.4	1.6	2.6
70代以上	266	37.2	26.3	32.7	1.1	2.6

(8) 助け合える地域の範囲

問 15 あなたは、住民同士がお互いに助け合えるのは、どの範囲だと思いますか。
(ひとつだけ○)



助け合える地域の範囲は、「隣近所」が45.2%と最も多く、次いで「班・坪」が22.1%、「行政区 (区、町内会・自治会)」が16.9%となっています。

■地区別・年齢別クロス

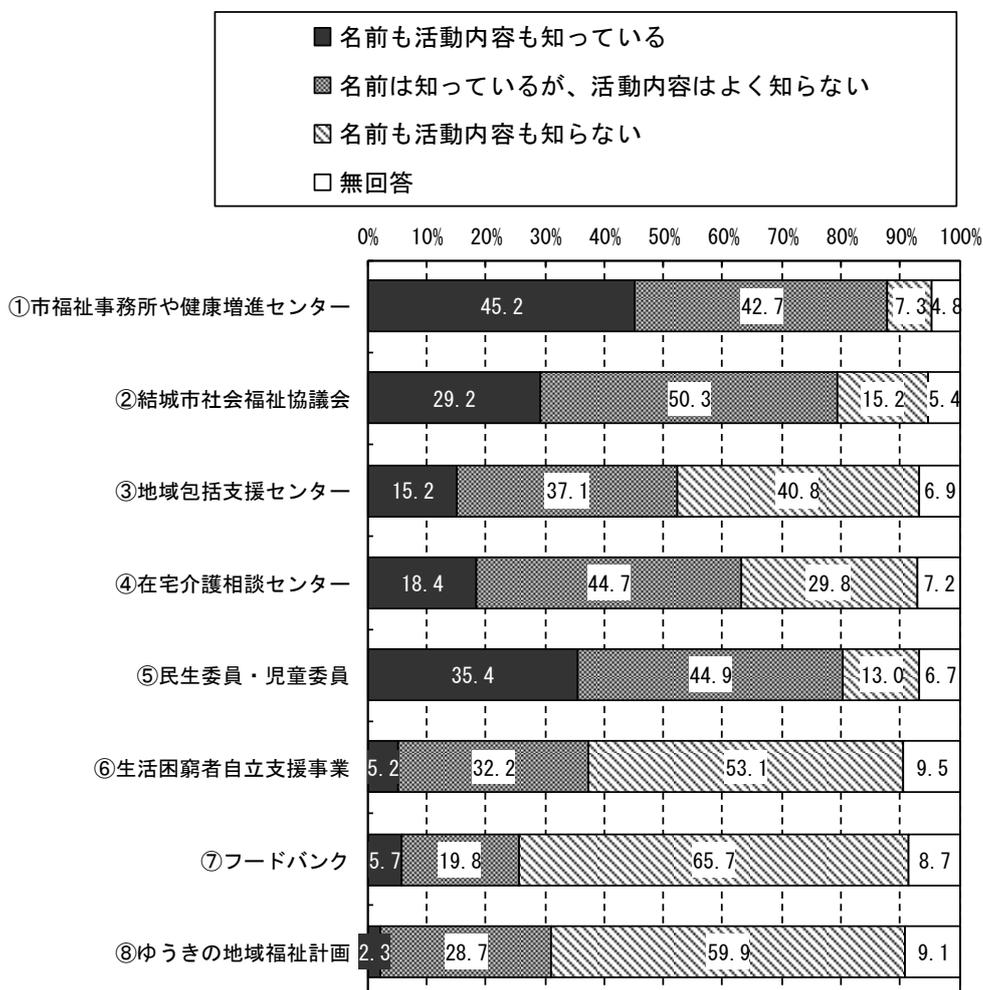
地区別でみると、すべての地区で「隣近所」が多く、特に江川地区で高くなっています。

また、年齢別でみると、年齢があがるにつれて「隣近所」が高くなっています。

区分 %	件数	隣近所	班・坪	行政区 (区・町内会・自治会)	小学校区	中学校区	市全体	わからない	その他	無回答	
全体	1,132	45.2	22.1	16.9	1.8	0.5	2.2	8.6	0.7	2.0	
地区別	結城	768	45.1	22.8	16.9	1.2	0.7	2.1	8.7	0.5	2.1
	絹川	89	40.4	27.0	14.6	3.4	0.0	2.2	7.9	1.1	3.4
	上山川	72	48.6	22.2	11.1	4.2	0.0	5.6	8.3	0.0	0.0
	山川	68	41.2	25.0	13.2	1.5	0.0	0.0	14.7	1.5	2.9
	江川	128	49.2	14.1	22.7	3.1	0.8	2.3	5.5	1.6	0.8
年齢別	10代	32	28.1	25.0	21.9	0.0	9.4	0.0	12.5	0.0	3.1
	20代	65	30.8	18.5	13.8	1.5	0.0	4.6	30.8	0.0	0.0
	30代	136	39.7	24.3	11.8	3.7	0.0	3.7	16.9	0.0	0.0
	40代	153	35.3	25.5	15.0	5.2	0.7	2.0	13.1	2.0	1.3
	50代	167	39.5	30.5	19.2	0.6	0.0	2.4	6.6	0.0	1.2
	60代	305	48.9	21.6	18.7	0.7	0.3	2.3	3.6	1.0	3.0
	70代以上	266	58.6	15.4	16.9	1.1	0.4	1.1	2.6	0.8	3.0

(9) 福祉に関する活動等の認知度

問 16 次の①～⑧の名前や内容について知っていますか。(それぞれひとつだけ○)



①市福祉事務所や健康増進センターの認知は、「名前も活動も知っている」が45.2%、「名前は知っているが、活動内容はよく知らない」が42.7%、「名前も活動内容も知らない」が7.3%となっています。

②結城市社会福祉協議会の認知は、「名前も活動も知っている」が29.2%、「名前は知っているが、活動内容はよく知らない」が50.3%、「名前も活動内容も知らない」が15.2%となっています。

③地域包括支援センターの認知は、「名前も活動も知っている」が15.2%、「名前は知っているが、活動内容はよく知らない」が37.1%、「名前も活動内容も知らない」が40.8%となっています。

④在宅介護相談センターの認知は、「名前も活動も知っている」が18.4%、「名前は知っているが、活動内容はよく知らない」が44.7%、「名前も活動内容も知らない」が29.8%となっています。

⑤民生委員・児童委員の認知は、「名前も活動も知っている」が35.4%、「名前は知っているが、活動内容はよく知らない」が44.9%、「名前も活動内容も知らない」が13.0%となっています。

⑥生活困窮者自立支援事業の認知は、「名前も活動も知っている」が5.2%、「名前は知っているが、活動内容はよく知らない」が32.2%、「名前も活動内容も知らない」が53.1%となっています。

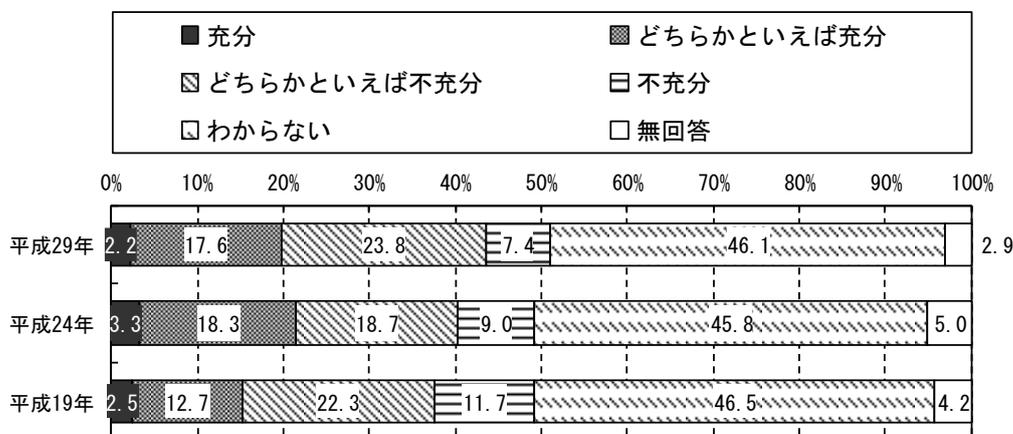
⑦フードバンクの認知は、「名前も活動も知っている」が5.7%、「名前は知っているが、活動内容はよく知らない」が19.8%、「名前も活動内容も知らない」が65.7%となっています。

⑧ゆうきの地域福祉計画の認知は、「名前も活動も知っている」が2.3%、次いで「名前は知っているが、活動内容はよく知らない」が28.7%、「名前も活動内容も知らない」が59.9%となっています。

3. 福祉サービスの利用についてお伺いします

(1) 福祉に関する情報提供の充足度

問17 当市の福祉に関する情報提供（福祉サービスの利用、ボランティア活動、福祉に関する啓発等）について、全体としてどのように思いますか。（ひとつだけ○）



福祉に関する情報提供の充足度は、「わからない」が46.1%と最も多いです。「充分」2.2%、「どちらかといえば充分」17.6%で「充分」の合計が19.8%です。

一方、「どちらかといえば不十分」23.8%、「不十分」7.4%で、「不十分」の合計は31.2%です。平成24年、平成19年調査とほぼ同様の傾向がうかがえますが、「どちらかといえば不十分」の割合が高くなっています。

■地区別・年齢別クロス

地区別にみると、上山川地区で「充分」と回答した人の合計が31.9%で、他の地区より多くなっています。絹川地区では「不十分」合計が37.1%で他の地区より多くなっています。

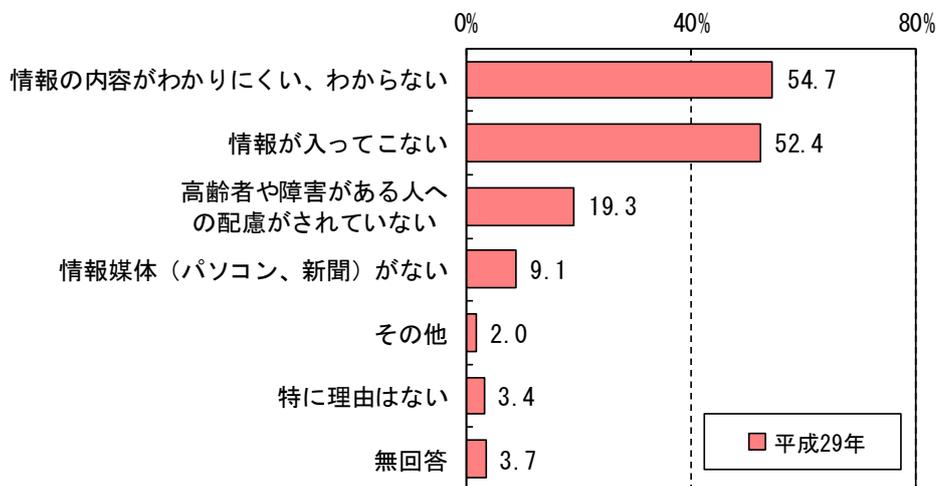
また、年齢別でみると、10代で「充分」と回答した人の合計が28.1%で、他の年代より多いです。20代、30代、50代、60代では「不十分」合計が30%台で比較的が多くなっています。

区分 %	件数	充分	どちらかとい えば充分	どちらかとい えば不十分	不十分	わからない	無回答	
全体	1,132	2.2	17.6	23.8	7.4	46.1	2.9	
地区別	結城	768	2.1	16.3	21.6	8.1	49.9	2.1
	絹川	89	3.4	20.2	29.2	7.9	31.5	7.9
	上山川	72	0.0	31.9	27.8	5.6	33.3	1.4
	山川	68	5.9	14.7	29.4	2.9	45.6	1.5
	江川	128	1.6	16.4	28.1	7.0	42.2	4.7
年齢別	10代	32	0.0	28.1	18.8	6.3	46.9	0.0
	20代	65	3.1	7.7	21.5	13.8	52.3	1.5
	30代	136	1.5	10.3	23.5	11.0	52.2	1.5
	40代	153	2.6	15.0	18.3	10.5	53.6	0.0
	50代	167	1.2	13.2	34.1	9.6	41.3	0.6
	60代	305	0.7	21.0	26.2	7.2	42.3	2.6
	70代以上	266	4.9	22.6	19.2	1.5	44.7	7.1

(1) - 1 情報提供で不十分と思う理由

問 17 において、「3」または「4」と回答された方にお聞きします。

問 17-1 それほどのようなことですか (〇はいくつでも)



情報提供で不十分と思う理由は、「情報の内容がわかりにくい、わからない」が 54.7% と最も多く、次いで「情報が入ってこない」が 52.4%、「高齢者や障害がある人への配慮がされていない」が 19.3% となっています。

■年齢別クロス

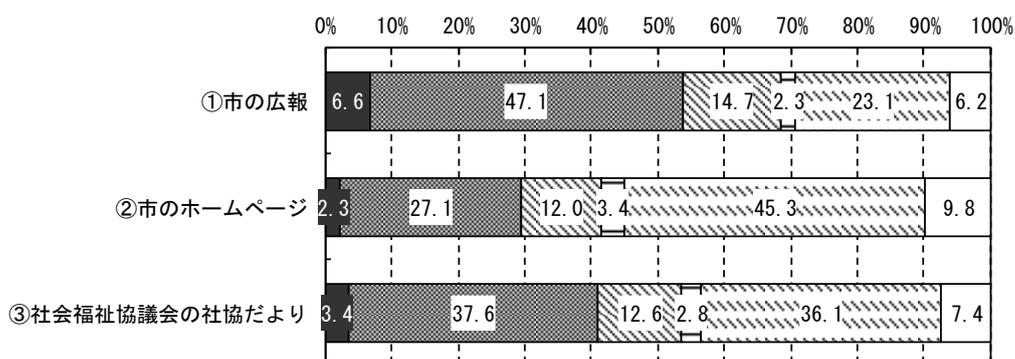
年齢別でみると、10代から40代は「情報が入ってこない」、50代以上で「情報の内容がわかりにくい、わからない」が最も多くなっています。

区分 %	件数	情報が入ってこない	情報の内容がわかりにくい、わからない	情報媒体 (パソコン、新聞) がない	高齢者や障害がある人への配慮がされていない	その他	特に理由はない	無回答
全体	353	52.4	54.7	9.1	19.3	2.0	3.4	3.7
10代	8	50.0	37.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
20代	23	82.6	34.8	4.3	21.7	0.0	4.3	0.0
30代	47	55.3	42.6	12.8	19.1	2.1	4.3	4.3
40代	44	61.4	56.8	13.6	31.8	2.3	4.5	2.3
50代	73	53.4	61.6	6.8	16.4	2.7	4.1	0.0
60代	102	44.1	59.8	8.8	15.7	2.0	3.9	3.9
70代以上	55	45.5	56.4	9.1	16.4	1.8	0.0	10.9

(2) 福祉に関する情報提供の満足度

問 18 福祉に関する情報提供について、①～③をどのように思いますか。
(それぞれひとつだけ○)

■ かなり満足 ■ ほぼ満足 ▨ やや不満 □ かなり不満 ▨ わからない □ 無回答



福祉に関する情報提供の満足度では「満足」（かなり満足・ほぼ満足と回答した割合）は、「①市の広報」は53.7%、「②市のホームページ」は29.4%、「③社会福祉協議会の社協だより」は41.0%となっています。

■ 年齢別クロス

①市の広報

年齢別で見ると、70代以上では「満足」の合計が61.2%と多く、「不満」の合計が12.8%と比較的少なくなっています。

区分 %	件数	かなり満足	ほぼ満足	やや不満	かなり不満	わからない	無回答	満足	不満
全体	1,132	6.6	47.1	14.7	2.3	23.1	6.2	53.7	17.0
10代	32	6.3	28.1	9.4	3.1	53.1	0.0	34.4	12.5
20代	65	1.5	35.4	10.8	3.1	47.7	1.5	36.9	13.9
30代	136	4.4	37.5	11.0	2.2	41.9	2.9	41.9	13.2
40代	153	3.3	46.4	16.3	2.6	30.1	1.3	49.7	18.9
50代	167	6.0	50.3	22.2	2.4	18.6	0.6	56.3	24.6
60代	305	4.9	54.1	15.7	2.6	16.7	5.9	59.0	18.3
70代以上	266	13.5	47.7	11.3	1.5	10.9	15.0	61.2	12.8

②市のホームページ

年齢別で見ると、「満足」の合計が10代では34.4%と他の年代より比較的高いです。

区分%	件数	かなり満足	ほぼ満足	やや不満	かなり不満	わからない	無回答	満足	不満
全体	1,132	2.3	27.1	12.0	3.4	45.3	9.8	29.4	15.4
10代	32	6.3	28.1	12.5	3.1	50.0	0.0	34.4	15.6
20代	65	0.0	15.4	13.8	4.6	64.6	1.5	15.4	18.4
30代	136	0.7	23.5	14.0	7.4	51.5	2.9	24.2	21.4
40代	153	0.0	29.4	18.3	3.3	46.4	2.6	29.4	21.6
50代	167	1.8	29.9	17.4	3.0	46.7	1.2	31.7	20.4
60代	305	1.0	27.9	11.5	3.0	46.9	9.8	28.9	14.5
70代以上	266	6.4	27.4	4.5	1.9	35.0	24.8	33.8	6.4

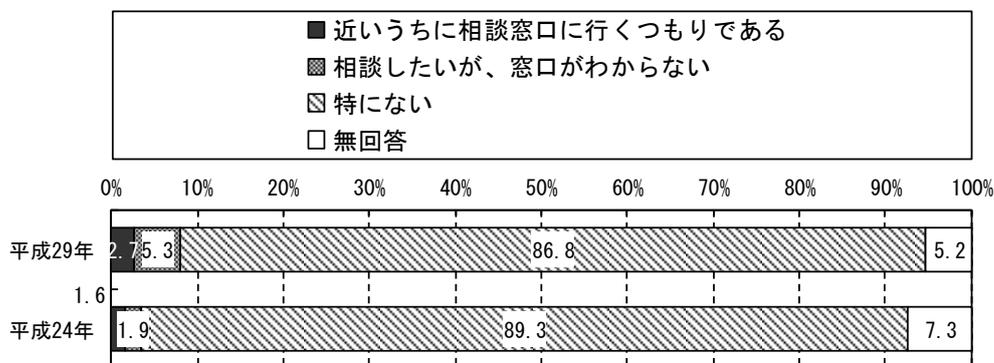
③社会福祉協議会の社協だより

年齢別で見ると、70代以上では「満足」合計が50.8%と他の年代より比較的高いです。

区分%	件数	かなり満足	ほぼ満足	やや不満	かなり不満	わからない	無回答	満足	不満
全体	1,132	3.4	37.6	12.6	2.8	36.1	7.4	41.0	15.4
10代	32	3.1	25.0	9.4	3.1	59.4	0.0	28.1	12.5
20代	65	1.5	16.9	4.6	3.1	72.3	1.5	18.4	7.7
30代	136	1.5	25.0	11.8	3.7	55.1	2.9	26.5	15.5
40代	153	1.3	38.6	11.8	2.0	44.4	2.0	39.9	13.8
50代	167	3.0	44.3	16.8	2.4	32.9	0.6	47.3	19.2
60代	305	1.6	41.0	15.1	4.6	29.8	7.9	42.6	19.7
70代以上	266	8.3	42.5	10.2	1.1	20.3	17.7	50.8	11.3

(3) 困りごとや相談したいことの有無

問19 あなたは、いま、福祉に関することで困りごとや相談したいことがありますか。
(ひとつだけ○)

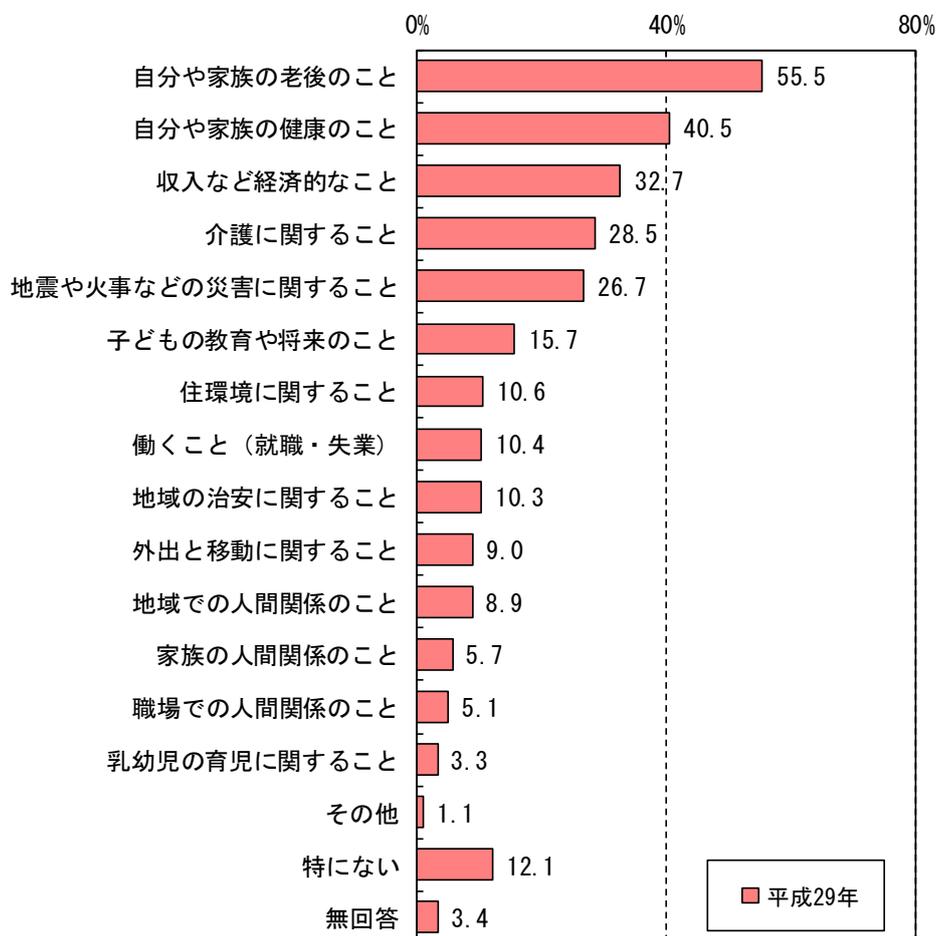


困りごとや相談したいことの有無は、「近いうちに相談窓口に行くつもりである」が2.7%、「相談したいが、窓口がわからない」が5.3%となっています。

相談したいという回答は、平成24年より増加しています。

(4) 日常生活での日頃の悩みや不安

問 20 あなたが、日常生活で日頃悩んでいることや不安に思っていることは、どのようなことですか。(〇はいくつでも)



日常生活で日頃悩んでいることや不安に思っていることは、「自分や家族の老後のこと」が 55.5%と最も多く、次いで「自分や家族の健康のこと」が 40.5%、「収入など経済的なこと」が 32.7%となっています。

■地区別・年齢別クロス

地区別で見ると、全体と同様の傾向となっています。

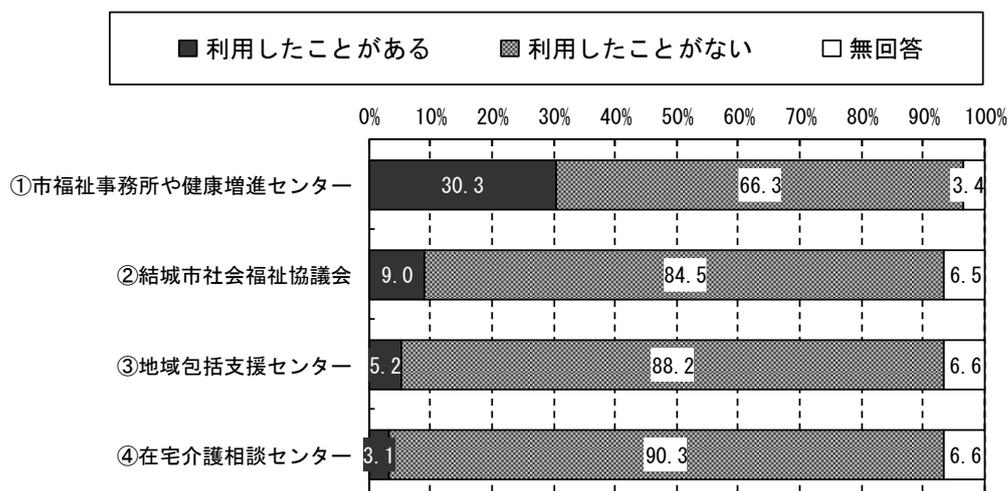
また、年齢別で見ると、20代では「収入など経済的なこと」、30～40代では「子どもの教育や将来のこと」、50代以上では「自分や家族の老後のこと」の割合が高くなっています。

区分%	件数	自分や家族の健康のこと	自分や家族の老後のこと	子どもの教育や将来のこと	乳幼児の育児に関すること	介護に関すること	収入など経済的なこと	地域での人間関係のこと	家族の人間関係のこと	職場での人間関係のこと	住環境に関すること	地域の治安に関すること	地震や火事などの災害に関すること	働くこと（就職・失業）	外出と移動に関すること	その他	特になし	無回答	
全体	1,132	40.5	55.5	15.7	3.3	28.5	32.7	8.9	5.7	5.1	10.6	10.3	26.7	10.4	9.0	1.1	12.1	3.4	
地区別	結城	768	39.2	54.3	16.3	3.4	28.3	32.2	9.2	5.3	9.8	9.9	28.4	10.3	7.6	1.2	13.3	2.9	
	絹川	89	40.4	58.4	15.7	3.4	31.5	37.1	5.6	6.7	10.1	9.0	31.5	13.5	10.1	2.2	5.6	6.7	
	上山川	72	36.1	56.9	16.7	2.8	29.2	37.5	6.9	2.8	5.6	15.3	9.7	13.9	11.1	8.3	1.4	12.5	5.6
	山川	68	48.5	63.2	17.6	4.4	25.0	27.9	7.4	4.4	5.9	14.7	13.2	26.5	7.4	11.8	0.0	5.9	1.5
	江川	128	46.9	57.0	10.2	2.3	29.7	33.6	11.7	9.4	1.6	10.9	13.3	21.1	10.9	15.6	0.0	13.3	3.1
年齢別	10代	32	12.5	15.6	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	3.1	3.1	6.3	25.0	15.6	0.0	0.0	53.1	0.0	
	20代	65	33.8	40.0	15.4	13.8	4.6	43.1	13.8	6.2	12.3	9.2	6.2	35.4	30.8	10.8	0.0	13.8	1.5
	30代	136	41.9	50.7	39.0	11.0	14.0	41.2	10.3	8.8	9.6	14.0	14.7	25.7	18.4	7.4	2.9	13.2	1.5
	40代	153	34.0	51.0	36.6	2.6	28.1	34.0	8.5	6.5	7.2	10.5	13.7	29.4	12.4	5.2	1.3	7.8	0.7
	50代	167	46.1	65.9	13.8	1.2	41.3	37.1	10.8	9.0	9.6	12.6	12.6	26.9	15.6	7.2	0.6	9.0	1.2
	60代	305	40.7	59.7	8.2	1.3	29.8	33.8	9.5	4.3	2.0	13.4	9.2	25.9	5.9	6.2	0.7	11.8	3.6
	70代以上	266	44.4	57.9	3.8	1.1	35.3	24.4	6.8	3.8	0.8	5.6	7.9	24.4	1.9	16.9	1.1	11.3	7.5

(5) 相談窓口の利用状況と満足度

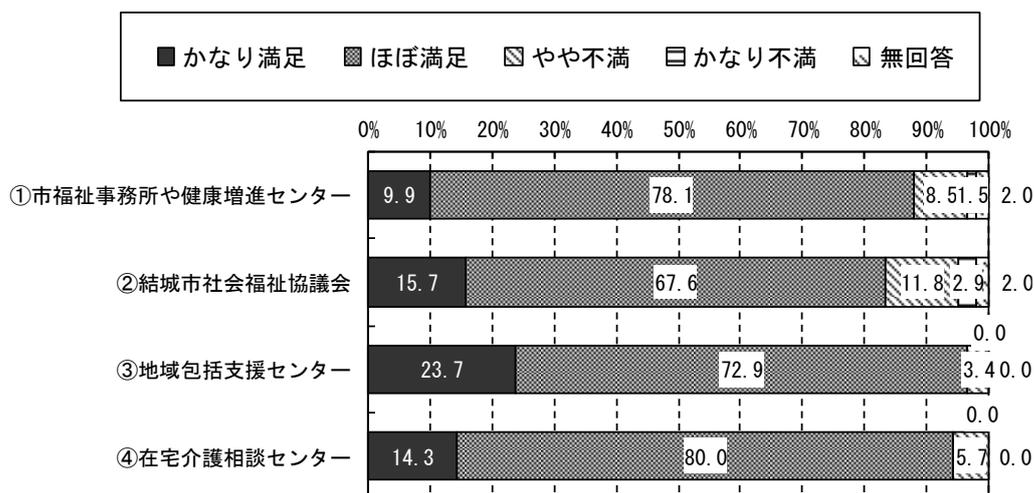
問 21 福祉についての困りごとや心配ごとで、次の相談窓口を利用したことはありますか。
 ①～④のそれぞれについて利用状況に○をつけてください。
 また、利用したことがある場合、その満足度についても○をつけてください。

【利用状況】



相談窓口の利用状況では、「利用したことがある」と回答した割合は、「①市福祉事務所や健康増進センター」は30.3%、「②結城市社会福祉協議会」は9.0%、「③地域包括支援センター」は5.2%、「④在宅介護相談センター」は3.1%となっています。

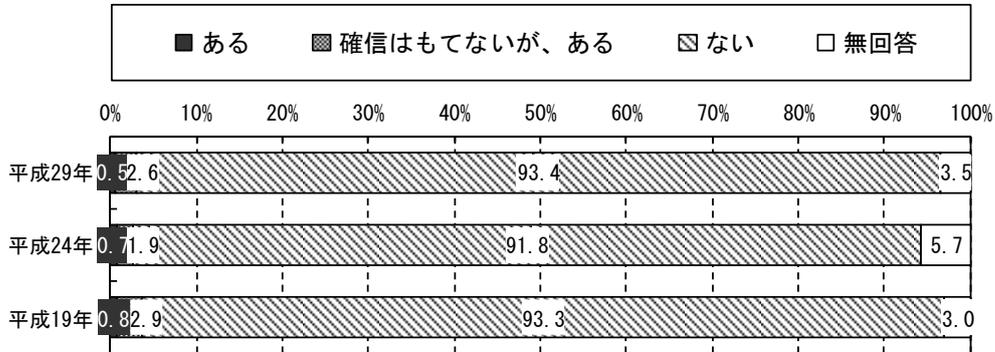
【相談窓口の満足度】



相談窓口の利用者満足度計（かなり満足・ほぼ満足）は、「①市福祉事務所や健康増進センター」は88.0%、「②結城市社会福祉協議会」は83.3%、「③地域包括支援センター」は96.6%、「④在宅介護相談センター」は94.3%となっています。

(6) 虐待の疑い

問 22 あなたのご近所で、子どもや高齢者、障害のある人が虐待を受けているのではないかと疑われることはありますか。(ひとつだけ○)



近所内での虐待の疑いでは、「ない」が93.4%ですが、「ある」は0.5%（6件）、「確信はもてないが、ある」は2.6%（29件）で、合計3.1%（35件）です。

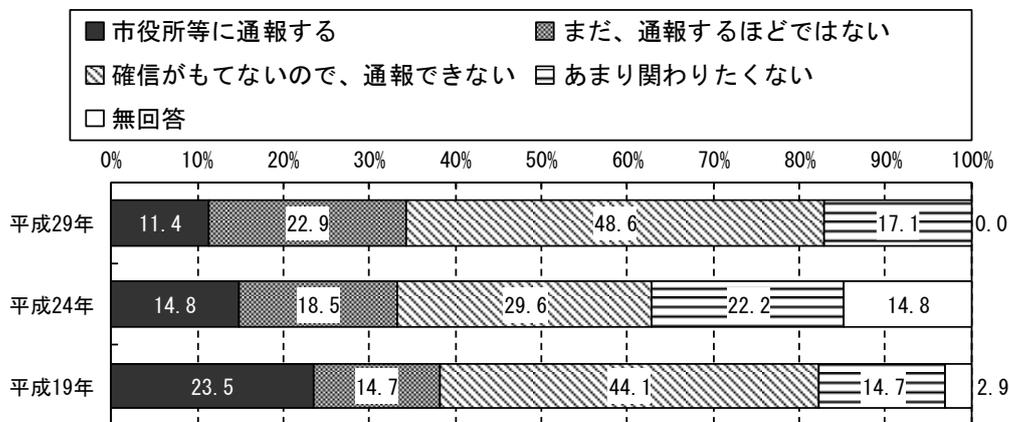
■地区別クロス

地区別で見ると、「ある」の合計では、絹川地区、上山川地区、山川地区で4.0%以上となっています。

区分%	件数	ある	確信はもてないが、ある	ない	無回答
全体	1,132	0.5	2.6	93.4	3.5
結城	768	0.7	2.5	93.9	3.0
絹川	89	0.0	4.5	91.0	4.5
上山川	72	1.4	2.8	94.4	1.4
山川	68	0.0	4.4	89.7	5.9
江川	128	0.0	0.8	95.3	3.9

(6) - 1 虐待の対応

問 22-1 今後、どのように対応しますか。(ひとつだけ○)

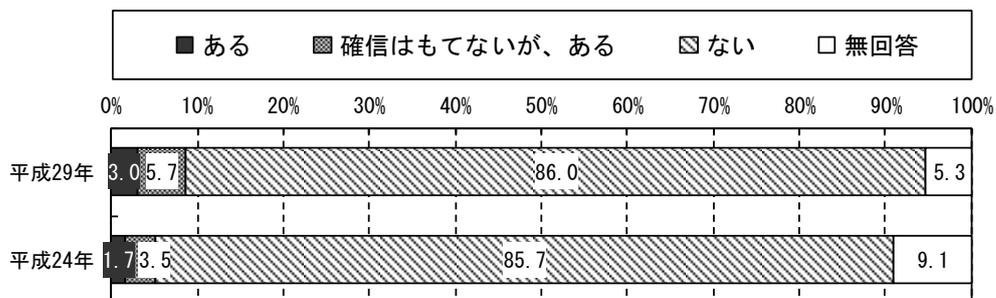


近所内での虐待の疑いがあると回答した人（35 件）で今後の対応は、「確信がもてないので、通報できない」が48.6%と最も多く、次いで「まだ、通報するほどではない」が22.9%、「あまり関わりたくない」が17.1%となっています。

「市役所等に通報する」の割合は平成19年、平成24年より減少しています。

(7) 引きこもりや高齢者の孤立等の疑い

問 23 あなたのご近所で、子どもの引きこもりや高齢者の孤立等で何らかの支援を必要としているのではないかと、と思われることはありますか。(ひとつだけ○)



引きこもりや高齢者の孤立等の疑いでは、「ない」が86.0%ですが、「ある」は3.0%（34件）、「確信はもてないが、ある」は5.7%（64件）で、合計8.7%（98件）です。

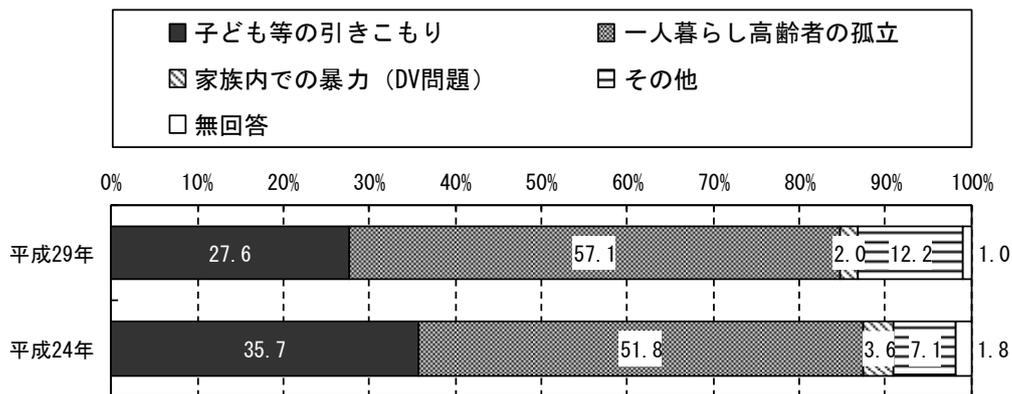
■地区別クロス

地区別でみると、「ある」の合計では、絹川地区で16.9%と最も多くなっています。

区分%	件数	ある	確信はもてないが、ある	ない	無回答
全体	1,132	3.0	5.7	86.0	5.3
結城	768	2.5	5.6	87.5	4.4
絹川	89	7.9	9.0	76.4	6.7
上山川	72	2.8	6.9	87.5	2.8
山川	68	0.0	5.9	85.3	8.8
江川	128	3.1	3.1	86.7	7.0

(7) - 1 孤立等の内容

問 23-1 それほどのようなことですか。(ひとつだけ○)

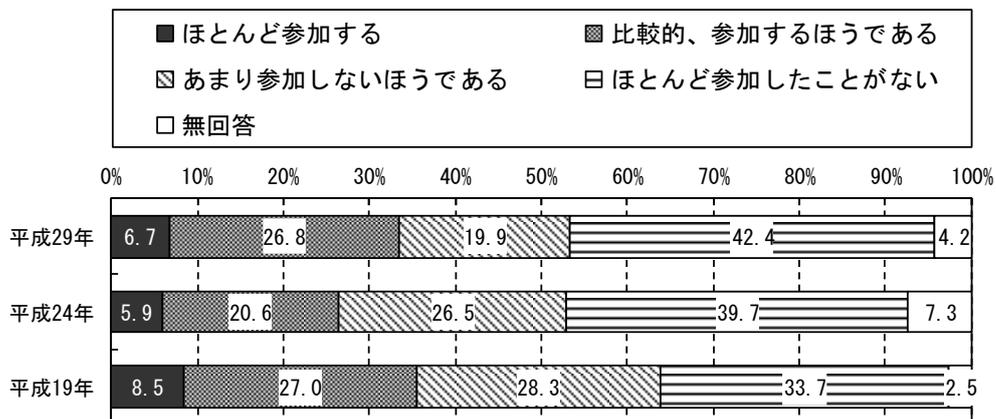


引きこもりや高齢者の孤立等があると回答した人(98件)でその具体的な内容は、「一人暮らし高齢者の孤立」が57.1%と最も多く、次いで「子ども等の引きこもり」が27.6%、「家族内での暴力(DV問題)」が2.0%となっています。

4. 地域活動・ボランティア活動についてお伺いします

(1) 地域活動への参加状況

問 24 あなたは、地域（小学校区程度の範囲）の行事や活動に参加していますか。
（ひとつだけ〇）



地域の活動への参加状況では、「ほとんど参加する」が6.7%、「比較的、参加するほうである」が26.8%と「参加する」と回答した人の合計が33.5%です。一方、「あまり参加しないほうである」が19.9%、「ほとんど参加したことがない」が42.4%と「参加しない」と回答した人の合計が62.3%です。

「参加する」と回答した人の割合は、平成19年に比べ減少しているものの、平成24年に比べ増加しています。

■地区別・年齢別クロス

地区別で見ると、「ほとんど参加する」と「比較的参加する」の合計では、絹川地区が40.5%、上山川地区が45.8%で比較的多いです。

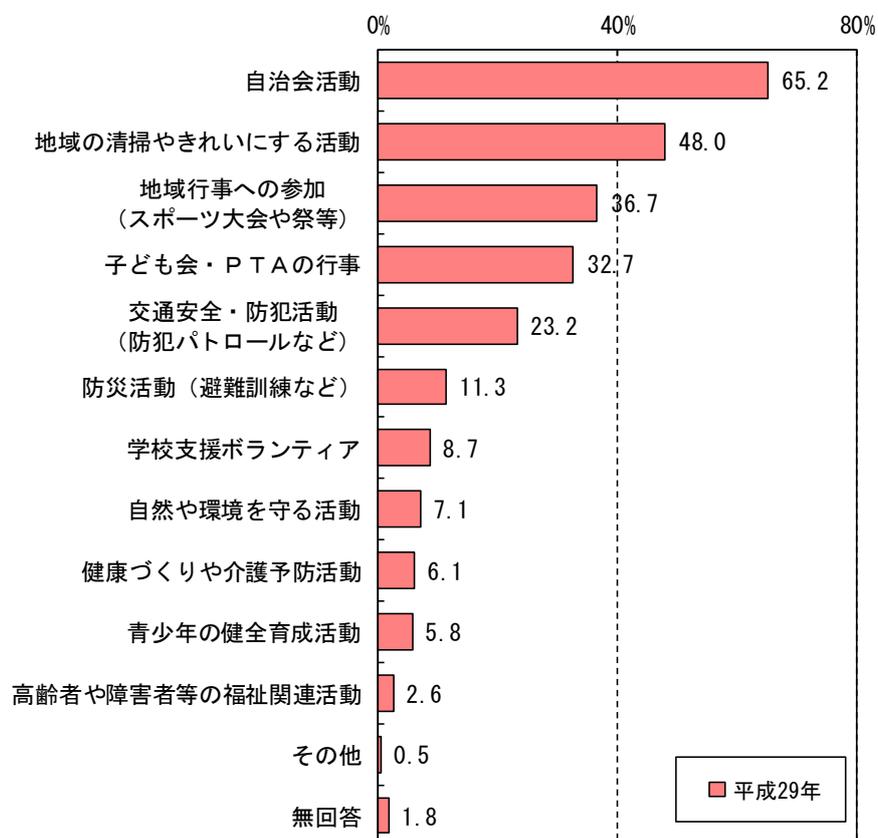
また、年齢別で見ると、「ほとんど参加する」と「比較的参加する」の合計では、40代が42.4%、50代が40.7%で比較的多いです。

区分 %	件数	ほとんど参加する	比較的、参加するほうである	あまり参加しないほうである	ほとんど参加したことがない	無回答	
全体	1,132	6.7	26.8	19.9	42.4	4.2	
地区別	結城	768	6.0	26.2	19.5	43.8	4.6
	絹川	89	7.9	32.6	14.6	41.6	3.4
	上山川	72	12.5	33.3	15.3	37.5	1.4
	山川	68	2.9	22.1	23.5	47.1	4.4
	江川	128	9.4	25.8	25.8	35.2	3.9
年齢別	10代	32	0.0	15.6	34.4	46.9	3.1
	20代	65	0.0	4.6	16.9	76.9	1.5
	30代	136	5.9	25.0	16.2	49.3	3.7
	40代	153	7.8	34.6	17.6	38.6	1.3
	50代	167	9.0	31.7	24.6	32.3	2.4
	60代	305	7.2	30.2	20.7	38.7	3.3
	70代以上	266	7.1	23.3	17.7	42.9	9.0

(1) - 1 参加している地域活動

問 24 において、「1」または「2」と回答された方にお聞きします。

問 24-1 それは、主にどのような事業や活動ですか。(〇はいくつでも)



地域活動へ参加していると回答した方の参加している地域活動をみると、「自治会活動」が65.2%で最も多く、次いで「地域の清掃やきれいにする活動」が48.0%、「地域行事への参加(スポーツ大会や祭等)」が36.7%となっています。

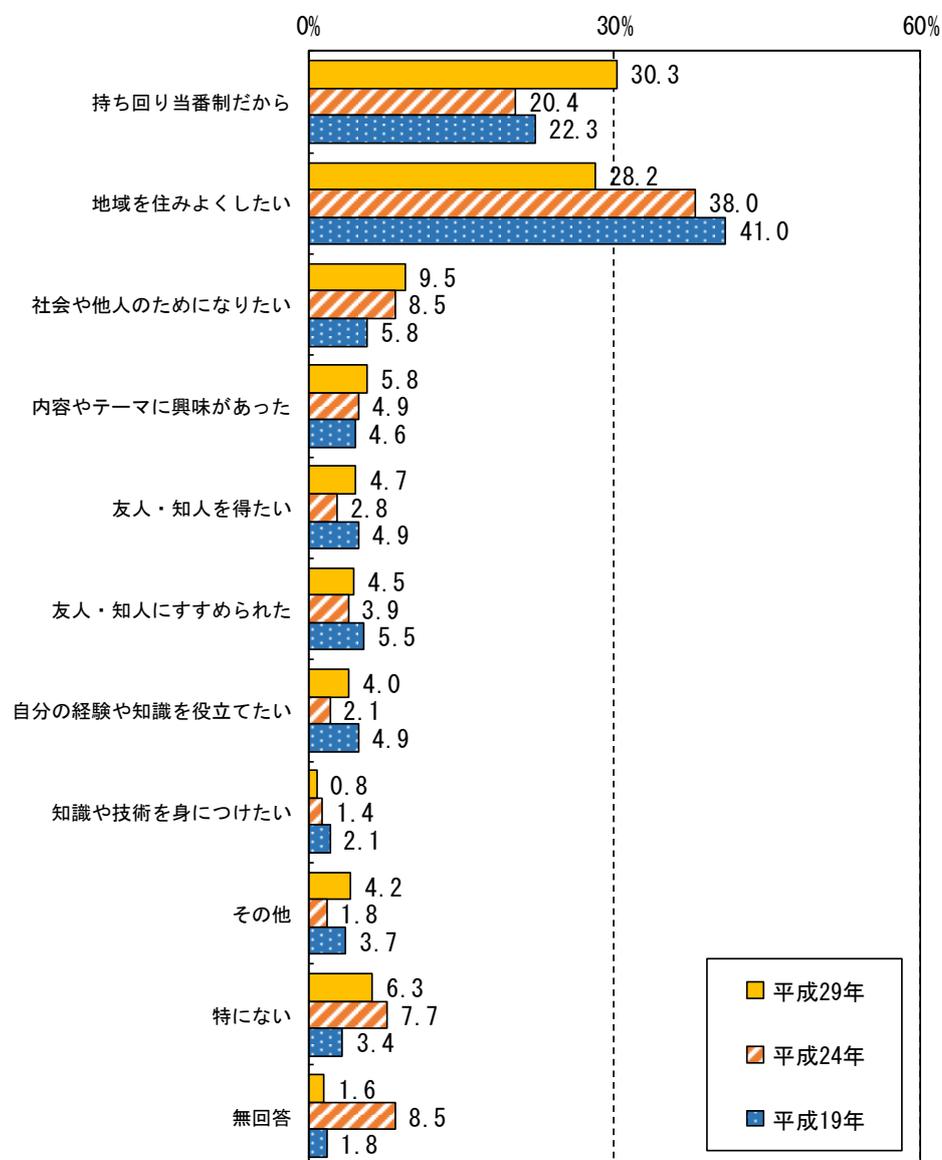
■年齢別クロス

年齢別でみると、10代、30代、40代では「子ども会・PTAの行事」、50代以上で「自治会活動」の割合が高くなっています。

区分 %	件数	自治会活動	地域行事への参加 (スポーツ大会や祭等)	地域の清掃やきれいに する活動	子ども会・PTAの 行事	学校支援ボランティア	青少年の健全育成活動	高齢者や障害者等の 福祉関連活動	自然や環境を守る活動	防災活動(避難訓練など)	交通安全・防犯活動 (防犯パトロールなど)	健康づくりや介護予防活動	その他	無回答
全体	379	65.2	36.7	48.0	32.7	8.7	5.8	2.6	7.1	11.3	23.2	6.1	0.5	1.8
10代	5	0.0	40.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	42	54.8	38.1	38.1	57.1	9.5	2.4	4.8	2.4	11.9	19.0	2.4	2.4	0.0
40代	65	60.0	35.4	33.8	72.3	15.4	4.6	0.0	4.6	7.7	29.2	0.0	0.0	0.0
50代	68	73.5	36.8	54.4	36.8	7.4	4.4	2.9	7.4	7.4	20.6	1.5	0.0	0.0
60代	114	70.2	36.8	59.6	12.3	6.1	8.8	1.8	9.6	11.4	23.7	6.1	0.0	1.8
70代以上	81	66.7	38.3	45.7	12.3	6.2	6.2	4.9	7.4	18.5	24.7	17.3	1.2	6.2

(1) - 2 地域活動に参加したきっかけ

問 24-2 地域の行事や活動に参加した主なきっかけは何ですか。(ひとつだけ○)



地域活動に参加した理由では、「持ち回り当番制だから」が 30.3%で最も多く、次いで「地域を住みよくしたい」が 28.2%、「社会や他人のためになりたい」が 9.5%となっています。

参加理由を経年でみると、平成 19 年、平成 24 年では「地域を住みよくしたい」という積極的な理由が第 1 位でしたが、平成 29 年では「持ち回り当番制だから」という消極的な理由が第 1 位となっています。

■年齢別クロス

年齢別でみると、30代、40代、50代では「持ち回り当番制だから」が最も多くなっています。

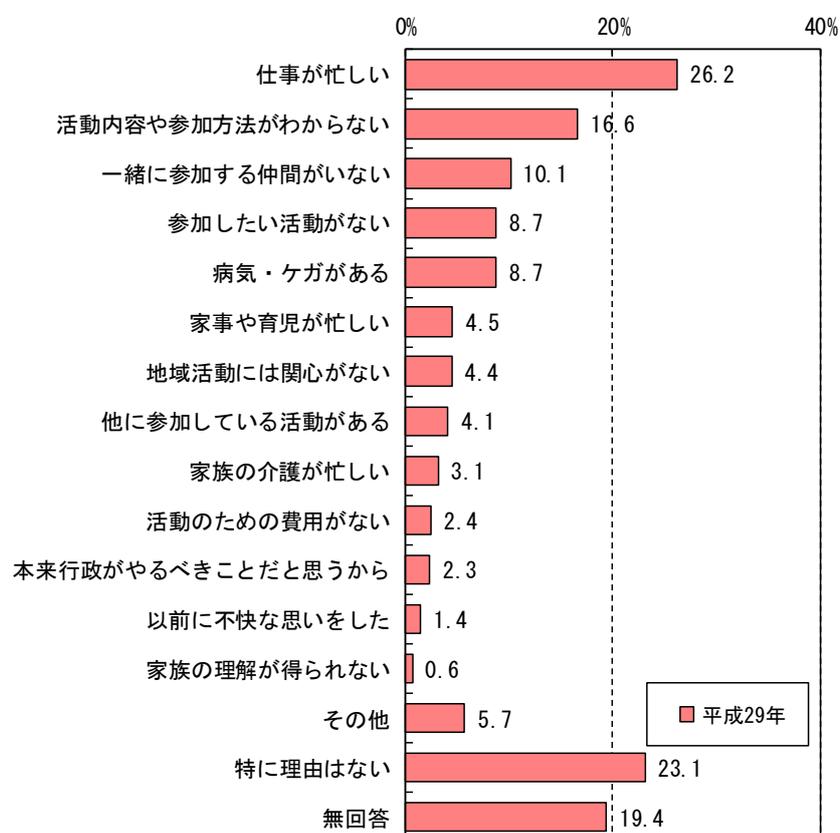
「地域を住みよくしたい」は年齢が上がるごとに増えています。

区分 %	件数	地域を住みよくしたい	社会や他人のためになりたい	自分の経験や知識を役立てたい	知識や技術を身につけたい	内容やテーマに興味があった	友人・知人を得たい	友人・知人にすすめられた	持ち回り当番制だから	その他	特にない	無回答
全体	379	28.2	9.5	4.0	0.8	5.8	4.7	4.5	30.3	4.2	6.3	1.6
10代	5	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
20代	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
30代	42	16.7	11.9	2.4	2.4	7.1	7.1	0.0	26.2	11.9	14.3	0.0
40代	65	24.6	4.6	0.0	1.5	1.5	3.1	6.2	38.5	9.2	10.8	0.0
50代	68	26.5	11.8	4.4	0.0	1.5	1.5	2.9	45.6	1.5	4.4	0.0
60代	114	31.6	8.8	5.3	0.9	8.8	6.1	4.4	23.7	3.5	4.4	2.6
70代以上	81	34.6	11.1	6.2	0.0	6.2	4.9	7.4	24.7	0.0	1.2	3.7

(1) - 3 地域活動に参加していない理由

問 24 において、「3」または「4」と回答された方にお聞きします。

問 24-3 あなたが、地域活動に参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



地域活動に参加していない理由では、「仕事が忙しい」が 26.2%で最も多く、次いで「活動の内容や参加方法がわからない」が 16.6%、「一緒に参加する仲間がいない」が 10.1%となっています。

なお、23.1%が「特にない」と回答しています。

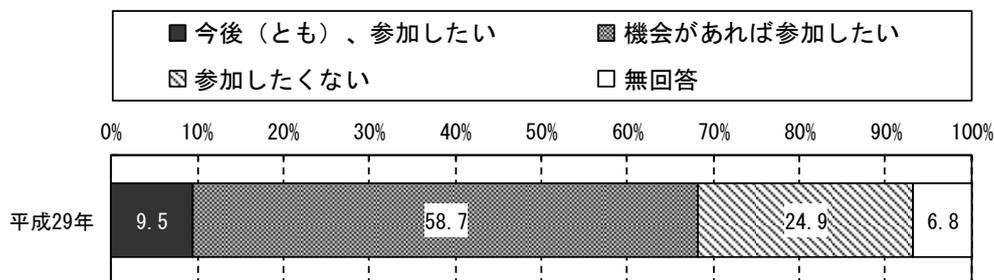
■年齢別クロス

年齢別でみると、20～50代では「仕事が忙しい」が高くなっています。

区分 %	件数	参加 したい 活動が ない	活動 内容や 参加 方法が わから ない	仕事 が忙し い	家事 や育児 が忙し い	家族 の介護 が忙し い	他に 参加し ている 活動が ある	家族 の理解 が得ら れない	活動 のため の費用 がない	病気 ・ケガ がある	地域 活動に は関心 がない	以前に 不快な 思いを した	一緒 に参加 する 仲間が いない	本来 行政が やるべ きこと だと思 うから	その他	特に 理由は ない	無回 答
全体	705	8.7	16.6	26.2	4.5	3.1	4.1	0.6	2.4	8.7	4.4	1.4	10.1	2.3	5.7	23.1	19.4
10代	26	19.2	19.2	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7	34.6	23.1
20代	61	9.8	32.8	32.8	4.9	0.0	1.6	0.0	4.9	1.6	6.6	1.6	13.1	0.0	11.5	14.8	13.1
30代	89	12.4	19.1	43.8	19.1	1.1	5.6	0.0	3.4	4.5	6.7	1.1	9.0	3.4	6.7	16.9	14.6
40代	86	2.3	18.6	38.4	5.8	3.5	4.7	1.2	5.8	5.8	4.7	2.3	15.1	2.3	2.3	19.8	17.4
50代	95	9.5	9.5	43.2	2.1	7.4	2.1	1.1	0.0	3.2	5.3	2.1	4.2	4.2	8.4	13.7	25.3
60代	181	11.0	18.8	22.1	2.8	3.3	3.9	0.0	0.6	11.0	3.9	1.1	12.7	1.1	2.8	28.2	15.5
70代以上	161	5.0	9.9	6.8	0.0	2.5	6.2	1.2	3.1	16.8	1.9	1.2	8.1	2.5	5.6	29.2	26.1

(2) 今後の地域活動への参加意向

問 25 すべての方にうかがいます。あなたは今後、地域活動に参加したいと思いますか。
(ひとつだけ○)



今後の地域活動への参加意向では、「今後(とも)、参加したい」が9.5%、「機会があれば参加したい」が58.7%と「参加意向がある」と回答した人の合計は68.2%です。
なお、24.9%が「参加したくない」となっています。

■年齢別クロス

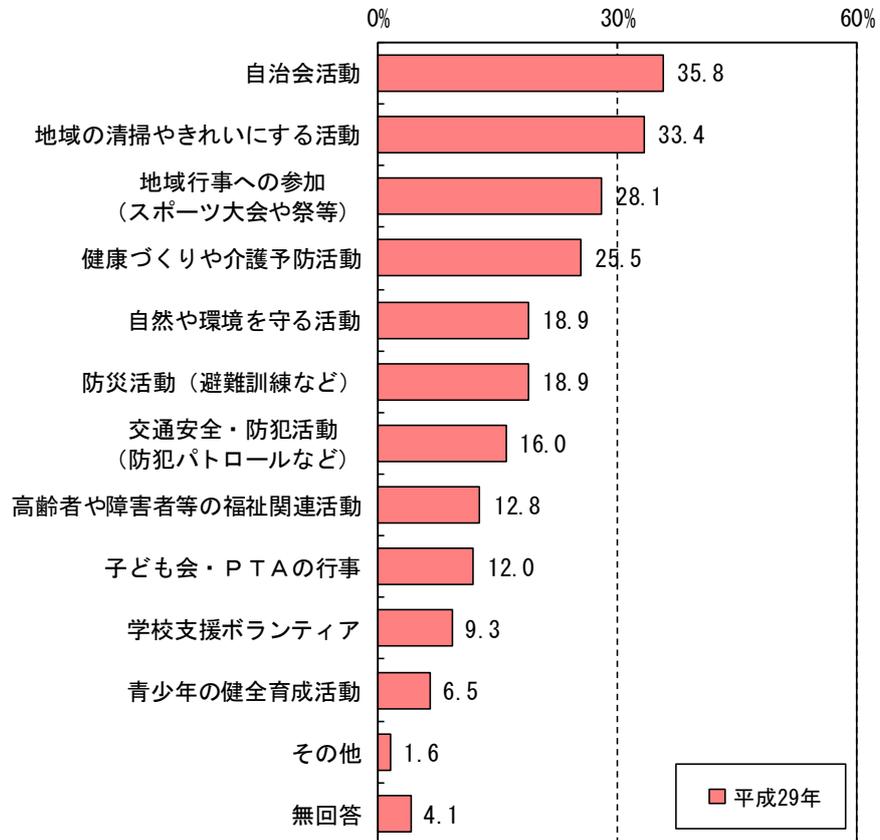
年齢別でみると、どの年代も「機会があれば参加したい」が最も多いです。

区分 %	件数	今後(とも)、参加したい	機会があれば参加したい	参加したくない	無回答
全体	1,132	9.5	58.7	24.9	6.8
10代	32	3.1	50.0	40.6	6.3
20代	65	3.1	53.8	40.0	3.1
30代	136	6.6	59.6	30.1	3.7
40代	153	9.8	64.7	22.9	2.6
50代	167	9.0	62.9	22.8	5.4
60代	305	12.5	64.6	17.7	5.2
70代以上	266	10.5	48.5	26.7	14.3

(2) - 1 今後参加してみたい地域活動

問 25 において、「1」または「2」と回答された方にお聞きします。

問 25-1 今後、参加したい地域活動はどの分野ですか。(〇はいくつでも)



今後参加してみたい地域活動では、「自治会活動」が 35.8%と最も多く、次いで「地域の清掃やきれいにする活動」が 33.4%、「地域行事への参加(スポーツ大会や祭等)」が 28.1%となっています。

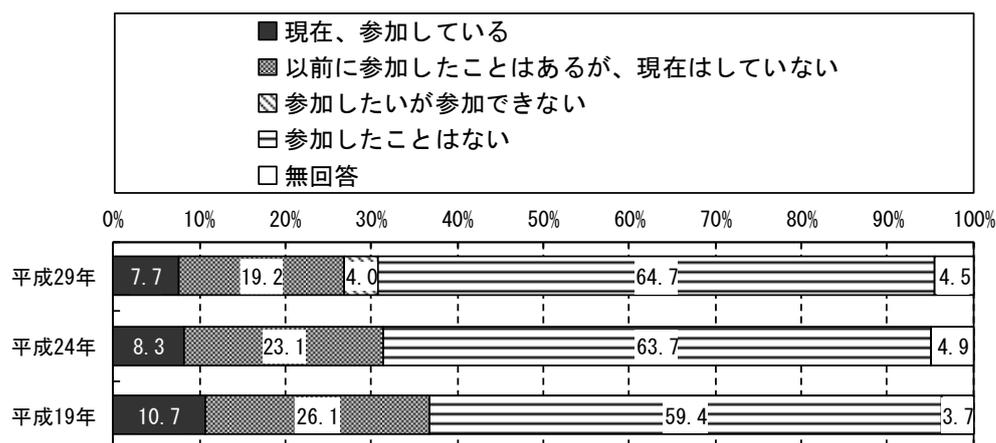
■年齢別クロス

年齢別で見ると、20代では「地域の清掃やきれいにする活動」、30代～40代では「地域行事への参加（スポーツ大会や祭等）」、「子ども会・PTAの行事」が最も多く、60代では「自治会」が40%以上となっています。

区分%	件数	自治会活動	地域行事への参加 (スポーツ大会や祭等)	地域の清掃やきれいにする活動	子ども会・PTAの行事	学校支援ボランティア	青少年の健全育成活動	高齢者や障害者等の 福祉関連活動	自然や環境を守る活動	防災活動(避難訓練など)	交通安全・防犯活動 (防犯パトロールなど)	健康づくりや介護予防活動	その他	無回答
全体	773	35.8	28.1	33.4	12.0	9.3	6.5	12.8	18.9	18.9	16.0	25.5	1.6	4.1
10代	17	17.6	23.5	23.5	0.0	17.6	0.0	17.6	17.6	17.6	11.8	0.0	5.9	5.9
20代	37	24.3	43.2	40.5	16.2	21.6	8.1	13.5	21.6	16.2	10.8	13.5	0.0	0.0
30代	90	27.8	40.0	31.1	35.6	17.8	10.0	12.2	20.0	24.4	15.6	21.1	0.0	3.3
40代	114	28.1	35.1	21.9	30.7	7.0	7.0	8.8	8.8	14.9	13.2	14.0	1.8	5.3
50代	120	35.8	20.0	34.2	7.5	9.2	7.5	13.3	16.7	20.8	20.0	32.5	3.3	2.5
60代	235	40.4	23.8	35.7	3.0	8.5	7.2	10.6	22.6	17.0	18.7	28.5	0.4	3.8
70代以上	157	44.6	25.5	37.6	1.9	3.2	2.5	18.5	21.0	21.0	13.4	31.8	2.5	6.4

(3) ボランティア活動への参加状況

問 26 ボランティア活動に参加したことがありますか。(ひとつだけ○)



ボランティア活動への参加状況では、「現在、参加している」が7.7%、「以前に参加したことはあるが、現在はしていない」が19.2%、「参加したいが参加できない」が4.0%となっています。

なお64.7%が「参加したことはない」と回答しています。

参加したことがある、参加していると回答した人の割合は、平成19年、平成24年に比べ減少しています。

■地区別・年齢別クロス

地区別で見ると、「現在参加している」は、絹川地区が11.2%、上山川地区が9.7%で比較的多いです。

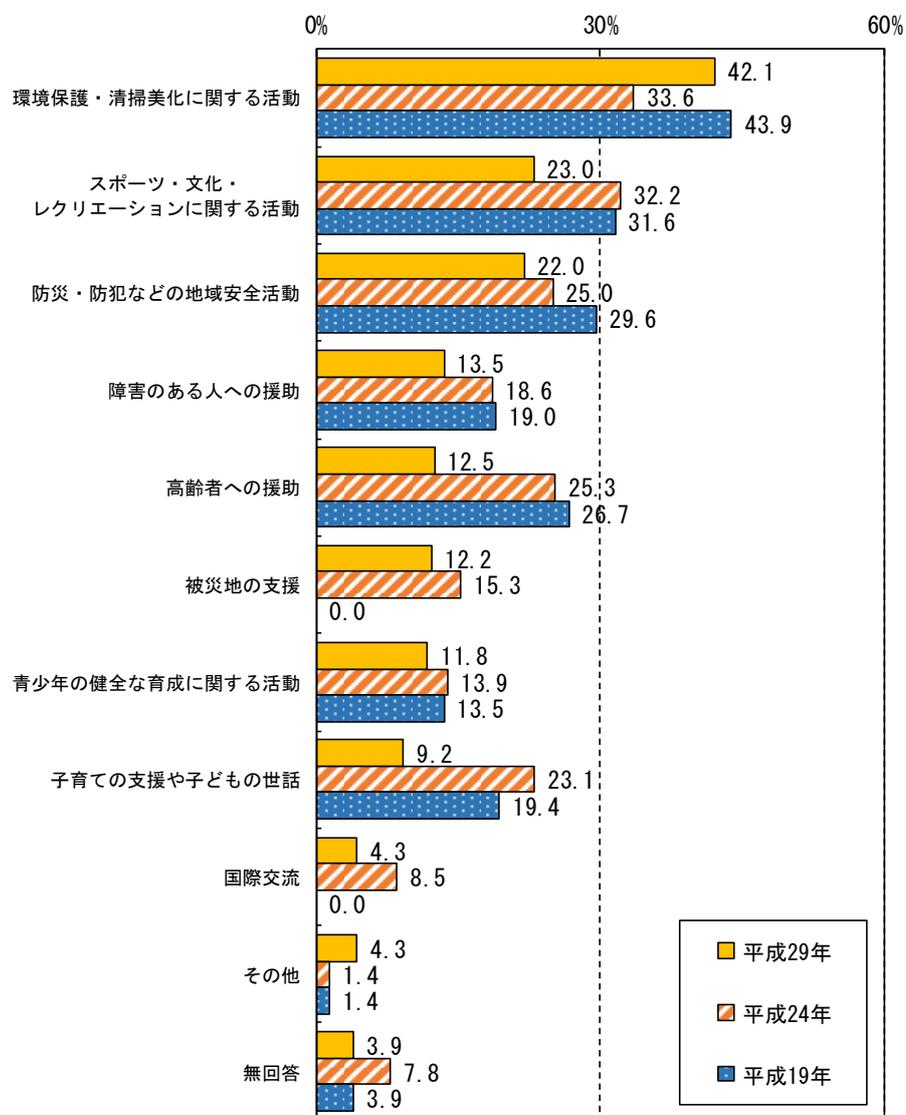
また、年齢別で見ると、「現在参加している」は、70代が12.44%で比較的多いです。

区分 %	件数	現在、 参加してい る	以前に参加 したことはあ るが、現在 はしていない	参加したい が参加でき ない	参加したこと はない	無回答	
全体	1,132	7.7	19.2	4.0	64.7	4.5	
地区別	結城	768	8.1	17.8	4.8	64.8	4.4
	絹川	89	11.2	18.0	2.2	67.4	1.1
	上山川	72	9.7	33.3	1.4	52.8	2.8
	山川	68	4.4	14.7	7.4	67.6	5.9
	江川	128	3.9	21.9	0.0	68.0	6.3
年齢別	10代	32	3.1	37.5	0.0	56.3	3.1
	20代	65	3.1	30.8	7.7	56.9	1.5
	30代	136	6.6	27.2	0.7	61.8	3.7
	40代	153	6.5	11.8	3.3	76.5	2.0
	50代	167	6.6	16.2	6.6	67.7	3.0
	60代	305	6.9	18.4	3.6	66.9	4.3
	70代以上	266	12.4	16.9	4.5	58.3	7.9

(3) - 1 参加しているボランティア活動

問26において、「1」または「2」と回答された方にお聞きします。

問26-1 あなたが参加したことがあるボランティア活動は何ですか。(〇はいくつでも)



ボランティア活動へ参加したことがあると回答した方の参加した活動をみると、「環境保護・清掃美化に関する活動」が42.1%と最も多く、次いで「スポーツ・文化・レクリエーションに関する活動」が23.0%、「防災・防犯などの地域安全活動」が22.0%となっています。

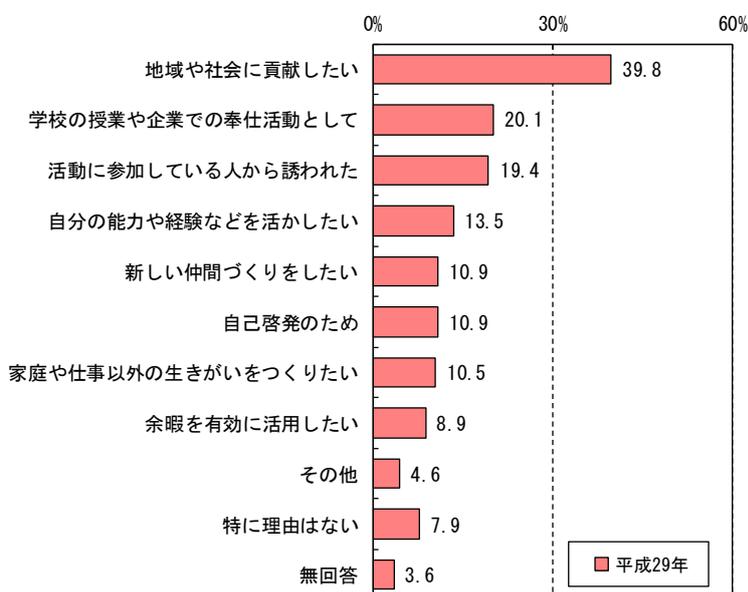
■年齢別クロス

年齢別で見ると、すべての年代で「環境保護・清掃美化に関する活動」が最も多く、60代、70代では「防災・防犯などの地域安全活動」が30%以上となっています。

区分 %	件数	高齢者への援助	障害のある人への援助	世話を 子育ての支援や子どもの	青少年の健全な育成に 関する活動	スポーツ・文化・レクリ エーションに関する活動	環境保護・清掃美化に 関する活動	防災・防犯などの 地域安全活動	被災地の支援	国際交流	その他	無回答
全体	304	12.5	13.5	9.2	11.8	23.0	42.1	22.0	12.2	4.3	4.3	3.9
10代	13	23.1	38.5	7.7	0.0	15.4	38.5	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7
20代	22	4.5	13.6	9.1	4.5	18.2	59.1	0.0	18.2	0.0	9.1	0.0
30代	46	10.9	15.2	15.2	6.5	17.4	37.0	13.0	17.4	6.5	6.5	2.2
40代	28	10.7	14.3	21.4	14.3	17.9	28.6	17.9	17.9	3.6	3.6	0.0
50代	38	7.9	7.9	7.9	13.2	28.9	52.6	15.8	13.2	2.6	2.6	2.6
60代	77	13.0	11.7	9.1	15.6	15.6	37.7	33.8	13.0	3.9	3.9	5.2
70代以上	78	15.4	12.8	2.6	12.8	35.9	43.6	30.8	5.1	5.1	3.8	6.4

(3) - 2 ボランティア活動に参加したきっかけ

問 26-2 ボランティア活動に参加した主なきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)



ボランティア活動に参加したきっかけでは「地域や社会に貢献したい」が39.8%と最も多く、次いで、「学校の授業や企業での奉仕活動として」が20.1%、「活動に参加している人から誘われた」が19.4%となっています。

なお、7.9%が「特に理由はない」と回答しています。

■年齢別クロス

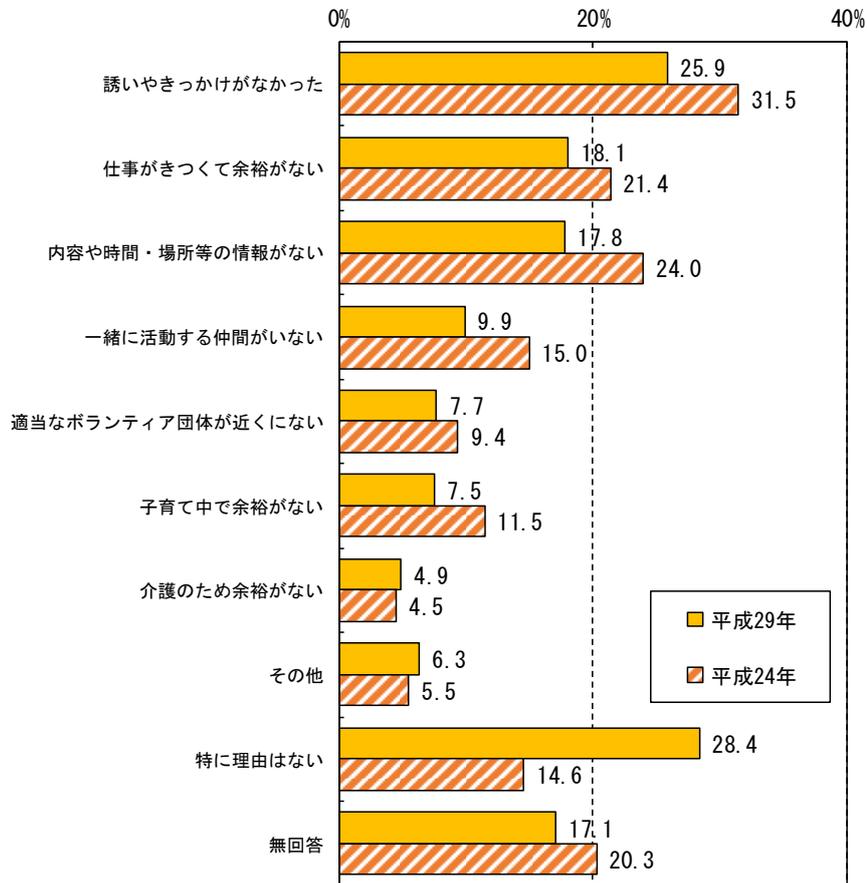
年齢別でみると、10代、20代では「学校の授業や企業での奉仕活動として」、50代、60代では「地域や社会に貢献したい」が最も多くなっています。

区分 %	件数	地域や社会に貢献したい	自分の能力や経験などを活かしたい	新しい仲間づくりをしたい	余暇を有効に活用したい	家庭や仕事以外の生きがいをつくりたい	自己啓発のため	学校の授業や企業での奉仕活動として	活動に参加している人から誘われた	その他	特に理由はない	無回答
全体	304	39.8	13.5	10.9	8.9	10.5	10.9	20.1	19.4	4.6	7.9	3.6
10代	13	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	53.8	0.0	7.7	0.0	0.0
20代	22	31.8	13.6	9.1	9.1	4.5	13.6	54.5	27.3	0.0	4.5	0.0
30代	46	34.8	10.9	6.5	2.2	8.7	13.0	32.6	10.9	6.5	13.0	2.2
40代	28	25.0	3.6	17.9	3.6	17.9	14.3	10.7	21.4	3.6	17.9	0.0
50代	38	47.4	13.2	10.5	5.3	5.3	5.3	26.3	21.1	5.3	2.6	0.0
60代	77	50.6	19.5	9.1	9.1	9.1	13.0	13.0	23.4	2.6	7.8	1.3
70代以上	78	39.7	12.8	14.1	15.4	14.1	9.0	5.1	20.5	6.4	6.4	11.5

(3) - 3 ボランティア活動していない理由

問26において、「3」または「4」と回答された方にお聞きします。

問26-3 ボランティア活動をしたことがない主な理由は何ですか。(〇は3つまで)



ボランティア活動していない理由では、「誘いやきっかけがなかった」が25.9%で最も多く、次いで「仕事がつくて余裕がない」が18.1%、「内容や時間・場所等の情報がない」が17.8%となっています。

なお、28.4%は「特に理由はない」と回答しています。

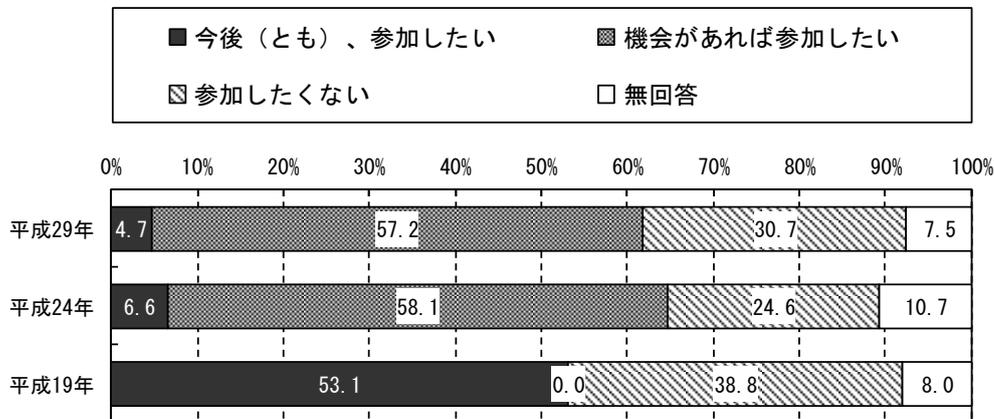
■年齢別クロス

年齢別で見ると、30～50代では「仕事がついて余裕がない」が高くなっています。

区分 %	件数	誘いやきつかけがなかった	内容や時間・場所等の情報が無い	適当なボランティア団体が近くにない	一緒に活動する仲間がない	子育て中で余裕がない	介護のため余裕がない	仕事がついて余裕がない	その他	特に理由はない	無回答
全体	777	25.9	17.8	7.7	9.9	7.5	4.9	18.1	6.3	28.4	17.1
10代	18	33.3	16.7	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0	5.6	27.8	33.3
20代	42	23.8	23.8	4.8	9.5	9.5	0.0	16.7	7.1	26.2	9.5
30代	85	27.1	16.5	5.9	9.4	23.5	1.2	28.2	2.4	28.2	14.1
40代	122	27.9	18.0	7.4	12.3	22.1	3.3	31.1	2.5	15.6	14.8
50代	124	25.0	16.9	8.9	11.3	2.4	7.3	28.2	6.5	23.4	14.5
60代	215	24.2	17.7	9.8	10.2	1.4	6.0	13.0	7.9	37.2	14.4
70代以上	167	26.3	17.4	6.0	7.2	0.6	6.6	5.4	9.0	30.5	26.3

(4) 今後のボランティア活動への参加意向

問27 すべての方にうかがいます。今後、ボランティア活動に参加したいと思いますか。
(ひとつだけ○)



今後のボランティア活動への参加意向では、「今後(とも)、参加したい」が4.7%、「機会があれば参加したい」が57.2%と「参加意向がある」と回答した人の合計が61.9%です。

なお、30.7%が「参加したくない」となっています。

平成24年、調査とほぼ同様ですが、「参加意向がある」と回答した人の割合は減少しています。

■年齢別クロス

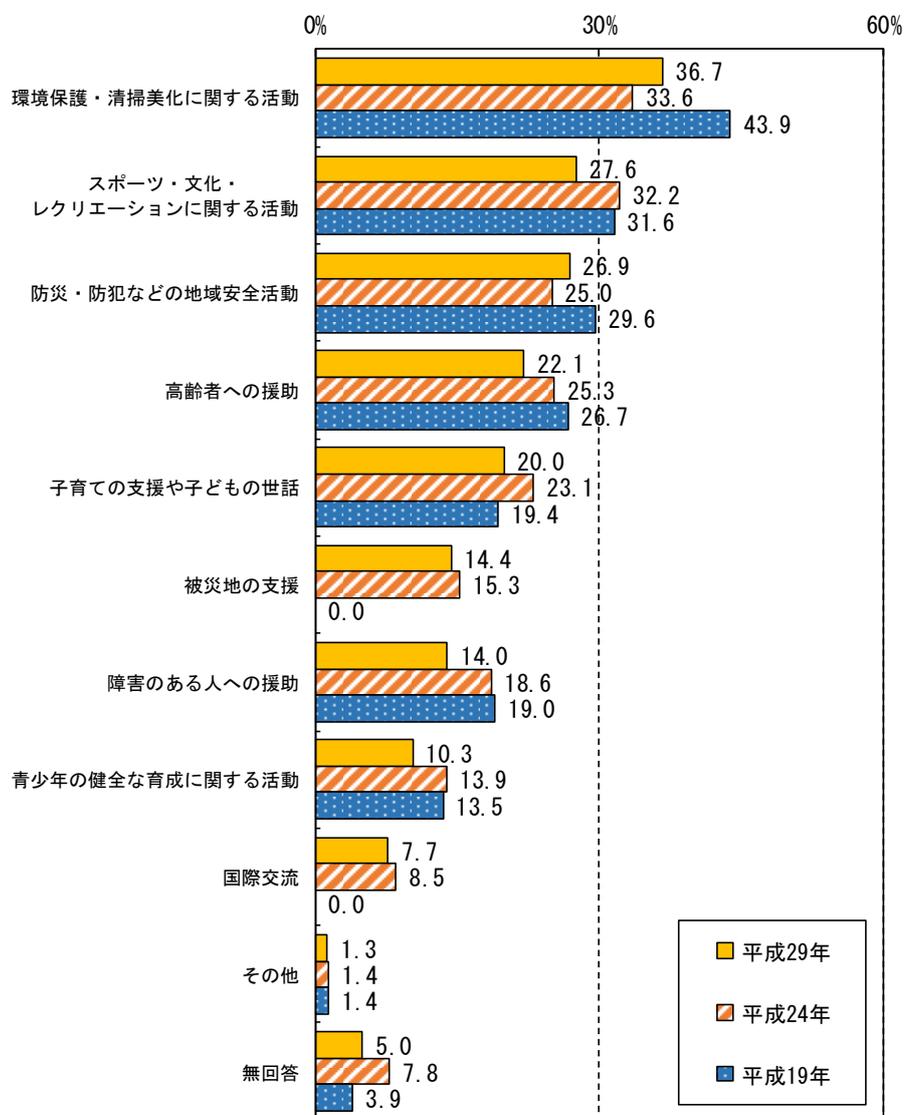
年齢別でみると、どの年代も「機会があれば参加したい」が最も多いです。

区分%	件数	今後(とも)、参加したい	機会があれば参加したい	参加したくない	無回答
全体	1,132	4.7	57.2	30.7	7.5
10代	32	6.3	62.5	28.1	3.1
20代	65	1.5	58.5	38.5	1.5
30代	136	2.2	60.3	34.6	2.9
40代	153	3.9	68.6	24.8	2.6
50代	167	4.8	59.3	31.1	4.8
60代	305	5.6	60.0	29.2	5.2
70代以上	266	6.0	44.4	31.6	18.0

(4) - 1 今後参加してみたいボランティア活動

問27において、「1」または「2」と回答された方にお聞きします。

問27-1 今後、参加したいボランティア活動はどの分野ですか。(〇はいくつでも)



今後参加してみたいボランティア活動では、「環境保護・清掃美化に関する活動」が36.7%と最も多く、次いで「スポーツ・文化・レクリエーションに関する活動」が27.6%、「防災・防犯などの地域安全活動」が26.9%となっております。

■年齢別クロス

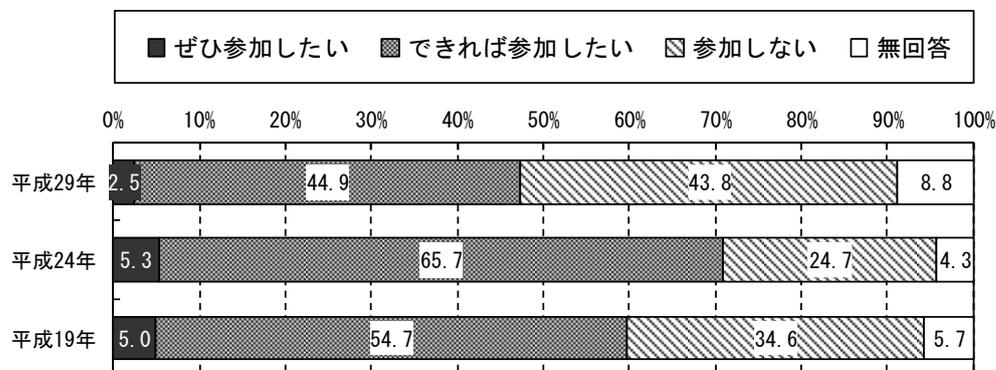
年齢別で見ると、10代～30代では、「スポーツ・文化・レクリエーションに関する活動」、40代では、「子育ての支援や子どもの世話」、50代以上では「環境保護・清掃美化に関する活動」が最も多くなっています。

区分 %	件数	高齢者への援助	障害のある人への援助	世話を 子育ての支援や子どもの世話	青少年の健全な育成に関する活動	スポーツ・文化・レクリエーションに関する活動	環境保護・清掃美化に関する活動	防災・防犯などの 地域安全活動	被災地の支援	国際交流	その他	無回答
全体	700	22.1	14.0	20.0	10.3	27.6	36.7	26.9	14.4	7.7	1.3	5.0
10代	22	13.6	9.1	22.7	0.0	36.4	22.7	18.2	13.6	18.2	0.0	9.1
20代	39	23.1	10.3	28.2	17.9	51.3	46.2	17.9	33.3	15.4	0.0	2.6
30代	85	17.6	14.1	34.1	11.8	42.4	24.7	23.5	22.4	21.2	0.0	2.4
40代	111	18.9	18.0	31.5	7.2	27.9	23.4	24.3	19.8	8.1	0.9	4.5
50代	107	29.0	14.0	23.4	11.2	29.0	35.5	30.8	16.8	6.5	2.8	2.8
60代	200	20.0	13.0	12.5	13.5	18.0	44.5	31.0	11.0	3.5	2.0	4.5
70代以上	134	26.1	13.4	7.5	6.0	23.1	44.0	26.1	3.0	2.2	0.7	9.7

(5) ボランティア活動の講習会等への参加意向

問28 すべての方にうかがいます。

ボランティア活動の講習会などが開催されたら、参加したいですか。(ひとつだけ○)



ボランティア活動の講習会等への参加意向では、「ぜひ参加したい」が2.5%、「できれば参加したい」が44.9%と「参加意向がある」と回答した人の合計が47.4%です。

なお、43.8%が「参加しない」となっています。

「参加意向がある」と回答した人の割合は平成19年、平成24年に比べ減少しています。

■年齢別クロス

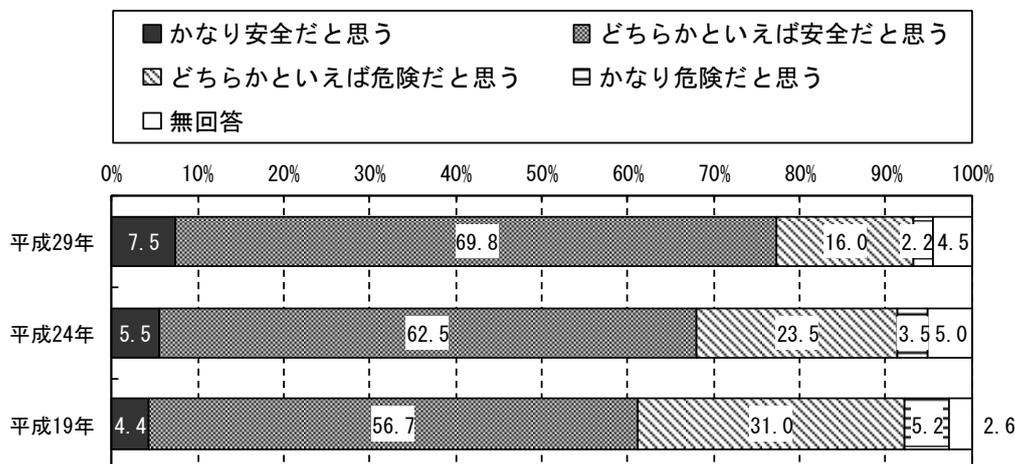
年齢別で見ると、10～30代までは「参加しない」、40代以上で「できれば参加したい」が最も多く、40代以上で50%以上となっています。

区分%	件数	ぜひ参加したい	できれば参加したい	参加しない	無回答
全体	1,132	2.5	44.9	43.8	8.8
10代	32	0.0	31.3	62.5	6.3
20代	65	4.6	32.3	60.0	3.1
30代	136	3.7	31.6	61.0	3.7
40代	153	2.0	51.6	42.5	3.9
50代	167	1.8	50.9	42.5	4.8
60代	305	1.6	53.1	38.7	6.6
70代以上	266	3.4	40.2	35.7	20.7

5. 地域づくりについてお伺いします

(1) 地域の治安について

問 29 お住まいの地域は、犯罪の危険から安全だと思いますか。(ひとつだけ○)



地域の治安では、「かなり安全だと思う」が7.5%、「どちらかといえば安全だと思う」が69.8%と「安全だと思う」と回答した人の合計が77.3%と平成19年、平成24年調査に比べ、増加しています。一方、「どちらかといえば危険だと思う」が16.0%、「かなり危険だと思う」が2.2%と「危険だと思う」と回答した人の合計が18.2%です。

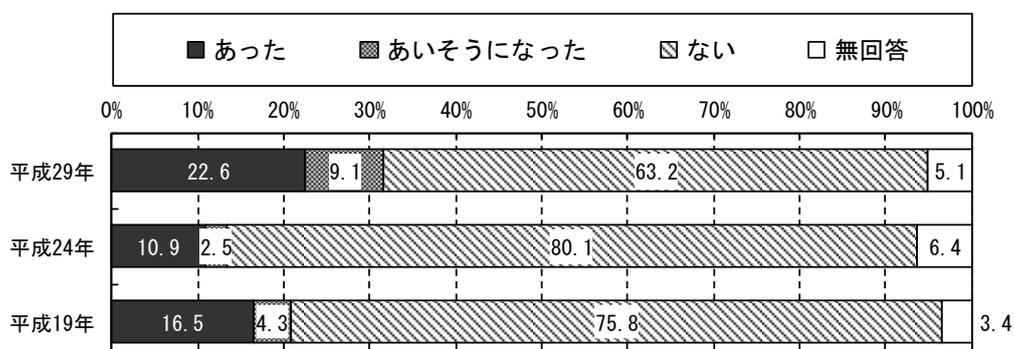
■ 地区別・年齢別家族構成

地区別で見ると、すべての地区で「どちらかといえば安全だと思う」が高くなっています。年齢別で見ると、どの年代も「かなり安全だと思う」と「どちらかといえば安全だと思う」と回答した合計が70%以上です。

区分 %	件数	かなり安全 だと思う	どちらかとい えば安全だ と思う	どちらかとい えば危険だ と思う	かなり危険 だと思う	無回答	
全体	1,132	7.5	69.8	16.0	2.2	4.5	
地区別	結城	768	8.6	69.7	15.4	2.1	4.3
	絹川	89	4.5	71.9	16.9	2.2	4.5
	上山川	72	4.2	75.0	15.3	4.2	1.4
	山川	68	2.9	66.2	17.6	2.9	10.3
	江川	128	7.8	68.8	18.8	1.6	3.1
年齢別	10代	32	12.5	59.4	25.0	3.1	0.0
	20代	65	6.2	81.5	7.7	3.1	1.5
	30代	136	10.3	62.5	20.6	2.9	3.7
	40代	153	5.9	71.2	19.0	2.6	1.3
	50代	167	5.4	72.5	18.6	1.8	1.8
	60代	305	5.9	75.4	13.1	1.0	4.6
	70代以上	266	10.2	63.5	14.3	3.0	9.0

(2) 危険な目にあった経験

問30 あなたご自身やご家族が、地域で犯罪の危険にあったことはありますか。(ひとつだけ○)



危険な目にあった経験は、「あった」が22.6%、「あいさうになった」が9.1%と「危険な目にあった、あいさうになった」と回答した人の合計が31.7%と平成19年、平成24年調査に比べ、増加しています。

■地区別・年齢別家族構成

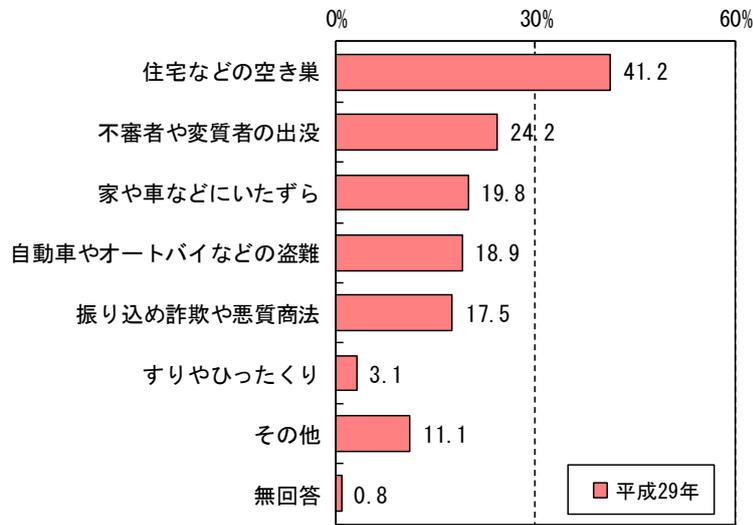
地区別で見ると、江川地区は「あった」という人が28.9%となっています。

年齢別で見ると、「あった」という人が10代では34.4%で他の年代より比較的多いです。

区分	件数	あった	あいさうになった	ない	無回答	
全体	1,132	22.6	9.1	63.2	5.1	
地区別	結城	768	21.4	9.0	64.6	5.1
	絹川	89	22.5	10.1	64.0	3.4
	上山川	72	23.6	15.3	56.9	4.2
	山川	68	23.5	1.5	66.2	8.8
	江川	128	28.9	9.4	58.6	3.1
年齢別	10代	32	34.4	15.6	46.9	3.1
	20代	65	21.5	10.8	64.6	3.1
	30代	136	25.7	5.9	64.0	4.4
	40代	153	18.3	16.3	64.7	0.7
	50代	167	34.1	10.2	53.9	1.8
	60代	305	20.7	5.9	68.9	4.6
	70代以上	266	17.3	7.9	64.3	10.5

(2) - 1 被害の内容

問 30-1 それはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



危険な目にあったと回答した人でその被害の内容をうかがったところ、「住宅などの空き巣」が41.2%で最も多く、次いで「不審者や変質者の出没」が24.2%、「家や車などにいたずら」が19.8%となっています。

■地区別・年齢別家族構成

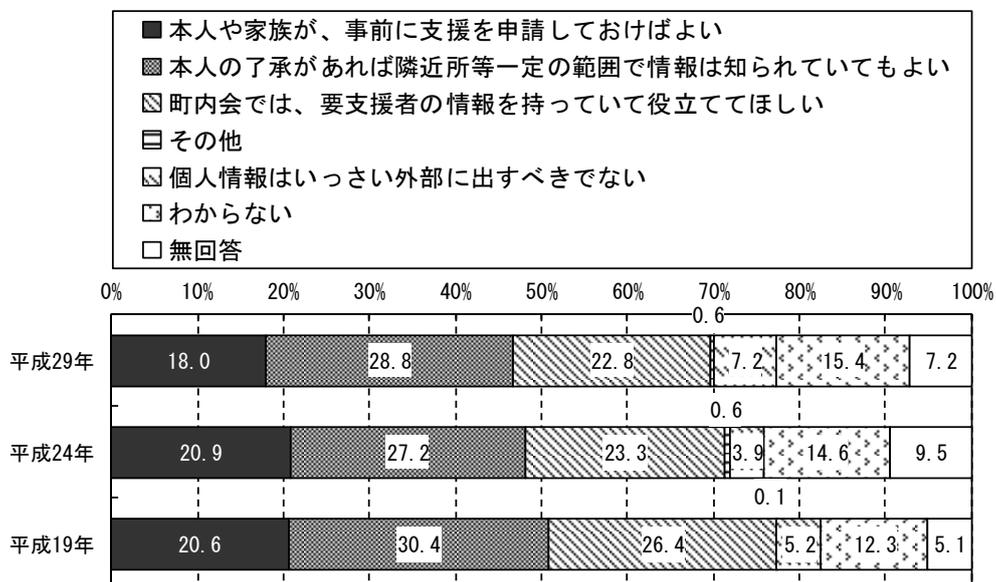
地区別で見ると、上山川地区、江川地区では「住宅などの空き巣」が50%以上、山川地区では「自動車やオートバイなどの盗難」が40%以上となっています。

年齢別で見ると、10代、20代、40代では「不審者や変質者の出没」、30代、50代以上で「住宅などの空き巣」の割合が高くなっています。

区分 %	件数	住宅などの空き巣	自動車やオートバイなどの盗難	家や車などにいたずら	すりやひったくり	振り込み詐欺や悪質商法	不審者や変質者の出没	その他	無回答	
全体	359	41.2	18.9	19.8	3.1	17.5	24.2	11.1	0.8	
地区別	結城	233	37.8	16.3	22.3	3.9	18.9	25.3	12.4	0.4
	絹川	29	37.9	13.8	24.1	3.4	10.3	31.0	17.2	0.0
	上山川	28	50.0	21.4	14.3	3.6	21.4	17.9	7.1	3.6
	山川	17	41.2	47.1	11.8	0.0	11.8	23.5	0.0	0.0
	江川	49	53.1	24.5	10.2	0.0	16.3	20.4	6.1	2.0
年齢別	10代	16	25.0	12.5	6.3	0.0	12.5	31.3	25.0	0.0
	20代	21	33.3	19.0	14.3	0.0	9.5	38.1	14.3	4.8
	30代	43	44.2	25.6	30.2	7.0	14.0	32.6	4.7	0.0
	40代	53	24.5	28.3	18.9	7.5	22.6	37.7	7.5	0.0
	50代	74	40.5	16.2	27.0	0.0	17.6	18.9	9.5	1.4
	60代	81	46.9	17.3	19.8	2.5	17.3	14.8	13.6	1.2
	70代以上	67	52.2	14.9	10.4	3.0	19.4	20.9	11.9	0.0

(3) 要援護者の情報の扱い

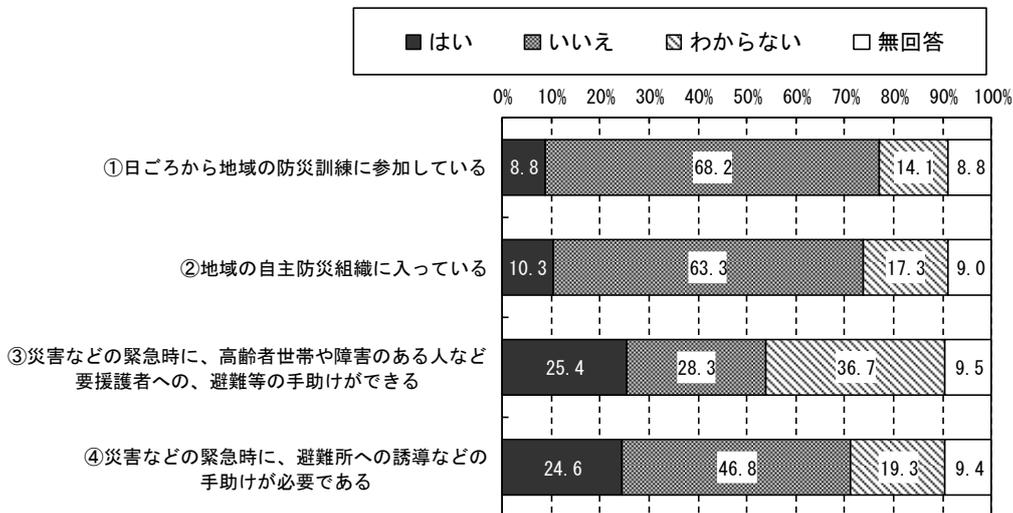
問 31 災害などの際、支援を必要とする人の情報の扱い（支援に必要な最低限の情報）についてどのように思いますか。（ひとつだけ〇）



要援護者の情報の扱いについては、「本人の了承があれば隣近所等一定の範囲で情報は知られていてもよい」が28.8%で最も多く、次いで「町内会では、要支援者の情報を持っていて役立ててほしい」が22.8%、「本人や家族が、事前に支援を申請しておけばよい」が18.0%となっています。

(4) 防災活動や災害など緊急時の対応

問 32 防災活動や災害など緊急時の対応について、あなたの取り組みや考えはどれですか。
(それぞれひとつだけ○)



防災活動や災害など緊急時の対応については、「①地域の防災訓練に参加している」、「②地域の自主防災組織に入っている」が10%程度となっています。

また、「③緊急時に要援護者の手助けができる」、「④緊急時に手助けが必要である」では30%程度が「はい」と回答しています。

■地区別・年齢別クロス

「①日頃から地域の防災訓練に参加している」を地区別でみると上山川地区と山川地区で「参加している」と回答している人の割合が他の地域より高くなっています。

また、年齢別でみると、年齢があがるにつれて「参加している」と回答している人の割合が高くなっています。

「②地域の自主防災組織に入っている」を地区別でみると上山川地区と江川地区で「はい」と回答している人の割合が他の地域より高くなっています。

また、年齢別でみると、年齢があがるにつれて「はい」と回答している人の割合が高くなっています。

「③要援護者への、避難等の手助けができる」を、地区別でみると絹川地区、山川地区で手助けできると回答している人の割合が30%以上と他の地域より高くなっています。

また、年齢別でみると、年齢があがるにつれて手助けできると回答している人の割合が高くなっています。

「④避難所への誘導などの手助けが必要である」を地区別でみると絹川地区で必要であると回答している人の割合が29.2%と他の地域より高くなっています。

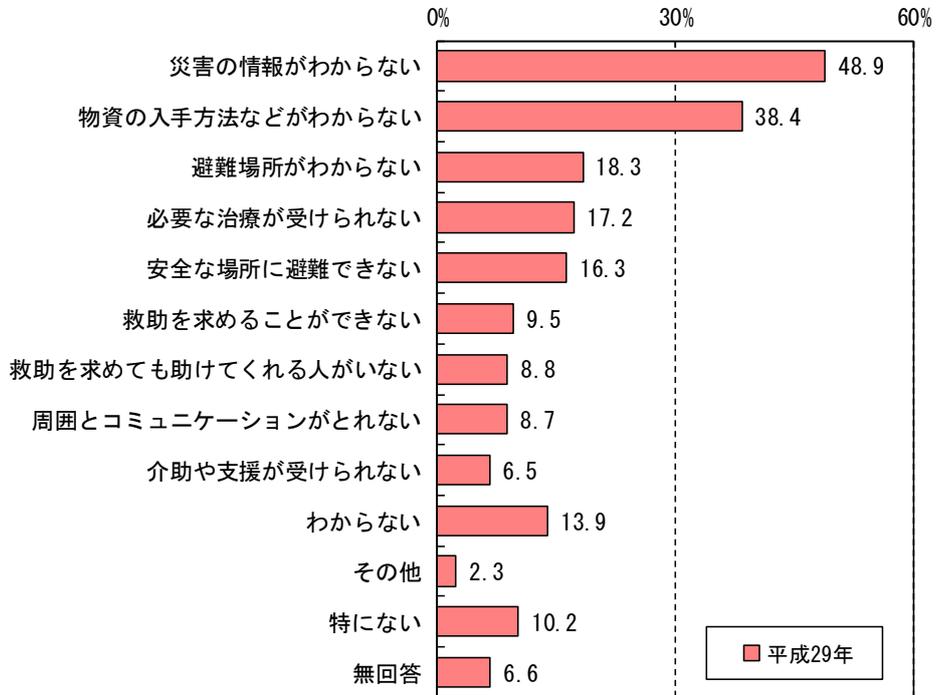
また、年齢別でみると、10代と70代以上で必要であると回答している人の割合が30%以上と他の年齢に比べ高くなっています。

区分 %	①日ごろから地域の防災訓練に参加している					②地域の自主防災組織に入っている				
	件数	はい	いいえ	わからない	無回答	はい	いいえ	わからない	無回答	
全体	1,132	8.8	68.2	14.1	8.8	10.3	63.3	17.3	9.0	
地区別	結城	768	7.9	69.5	14.6	7.9	8.7	65.1	17.7	8.5
	絹川	89	10.1	65.2	13.5	11.2	9.0	64.0	18.0	9.0
	上山川	72	15.3	69.4	11.1	4.2	18.1	65.3	12.5	4.2
	山川	68	13.2	58.8	14.7	13.2	10.3	60.3	14.7	14.7
	江川	128	7.8	68.8	13.3	10.2	17.2	53.9	19.5	9.4
年齢別	10代	32	6.3	68.8	25.0	0.0	3.1	59.4	37.5	0.0
	20代	65	4.6	80.0	12.3	3.1	1.5	67.7	27.7	3.1
	30代	136	5.9	78.7	11.8	3.7	8.1	66.2	21.3	4.4
	40代	153	5.2	70.6	20.3	3.9	9.8	62.1	25.5	2.6
	50代	167	6.6	76.6	13.8	3.0	9.0	72.5	15.0	3.6
	60代	305	10.2	69.2	14.4	6.2	10.8	68.5	14.1	6.6
	70代以上	266	13.9	52.6	11.3	22.2	15.4	50.8	11.3	22.6

区分 %	③要援護者への、避難等の手助けができる					④避難所への誘導などの手助けが必要である				
	件数	はい	いいえ	わからない	無回答	はい	いいえ	わからない	無回答	
全体	1,132	25.4	28.3	36.7	9.5	24.6	46.8	19.3	9.4	
地区別	結城	768	24.2	29.4	37.4	9.0	24.5	47.1	19.5	8.9
	絹川	89	31.5	22.5	34.8	11.2	29.2	44.9	14.6	11.2
	上山川	72	27.8	34.7	31.9	5.6	22.2	54.2	18.1	5.6
	山川	68	30.9	22.1	35.3	11.8	17.6	50.0	20.6	11.8
	江川	128	25.0	25.8	39.1	10.2	26.6	43.0	21.1	9.4
年齢別	10代	32	21.9	28.1	50.0	0.0	31.3	34.4	31.3	3.1
	20代	65	18.5	36.9	41.5	3.1	20.0	41.5	35.4	3.1
	30代	136	16.9	29.4	50.0	3.7	22.8	44.1	28.7	4.4
	40代	153	23.5	30.1	43.8	2.6	22.9	49.7	26.1	1.3
	50代	167	23.4	34.1	40.1	2.4	25.7	50.3	19.2	4.8
	60代	305	30.2	24.6	37.0	8.2	17.7	57.7	16.4	8.2
	70代以上	266	29.3	24.8	21.8	24.1	33.5	35.7	9.0	21.8

(5) 災害発生時に困ること

問 33 あなたは、地震などの災害が発生した時に、困ることはどのようなことだと思いますか。
(〇はいくつでも)



災害発生時に困ることは、「災害の情報がわからない」が 48.9%と最も多く、次いで「物資の入手方法などがわからない」が 38.4%、「避難場所がわからない」が 18.3% となっています。

■地区別・年齢別クロス

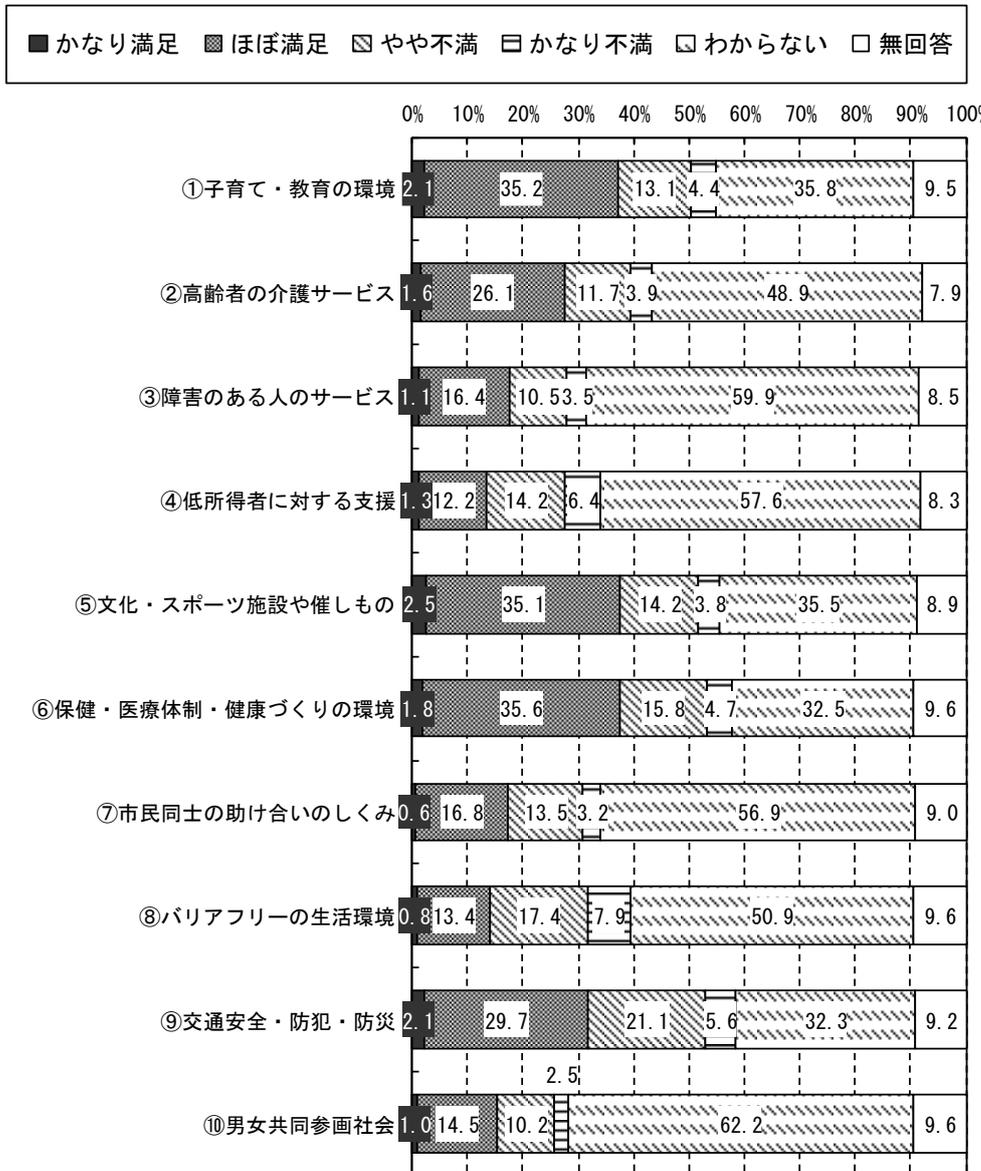
地区別でみると、上山川地区では「物資の入手方法などがわからない」と回答している割合が他の地域より高くなっています。

また、年齢別でみると、20～30代では「物資の入手方法などがわからない」、10代、40代以上では「災害の情報がわからない」の割合が高くなっています。

区分 %	件数	災害の情報がわからない	安全な場所に避難できない	救助を求めることができない	救助を求めている人がいない	避難場所がわからない	物資の入手方法などがわからない	介助や支援が受けられない	必要な治療が受けられない	周囲とコミュニケーションがとれない	わからない	その他	特になし	無回答	
全体	1,132	48.9	16.3	9.5	8.8	18.3	38.4	6.5	17.2	8.7	13.9	2.3	10.2	6.6	
地区別	結城	768	50.4	16.8	9.6	9.6	20.6	38.5	6.0	17.8	8.7	13.9	2.5	10.3	6.1
	絹川	89	43.8	19.1	15.7	13.5	14.6	37.1	10.1	20.2	15.7	12.4	3.4	6.7	9.0
	上山川	72	41.7	9.7	5.6	4.2	18.1	44.4	5.6	11.1	6.9	15.3	1.4	19.4	4.2
	山川	68	51.5	16.2	7.4	7.4	11.8	29.4	5.9	16.2	8.8	16.2	1.5	5.9	7.4
	江川	128	47.7	14.8	8.6	4.7	11.7	41.4	7.8	15.6	5.5	12.5	1.6	10.2	7.0
年齢別	10代	32	40.6	21.9	9.4	6.3	12.5	34.4	6.3	6.3	15.6	15.6	0.0	3.1	6.3
	20代	65	40.0	29.2	10.8	13.8	38.5	52.3	6.2	21.5	10.8	9.2	0.0	10.8	1.5
	30代	136	42.6	14.7	11.8	8.8	30.1	43.4	4.4	22.1	8.8	11.8	4.4	12.5	3.7
	40代	153	54.2	13.7	13.1	10.5	19.6	49.0	9.2	19.6	10.5	10.5	3.3	7.8	1.3
	50代	167	53.3	20.4	10.8	12.0	12.6	45.5	11.4	25.1	7.2	10.2	3.6	7.8	3.6
	60代	305	49.8	13.8	7.2	5.9	15.1	35.1	5.2	15.4	8.2	15.7	0.3	11.1	6.6
	70代以上	266	48.9	15.0	8.3	8.6	14.7	26.7	4.5	10.9	8.3	18.0	3.0	12.0	13.5

(6) 結城市の満足度

問 34 次の項目について、あなたの身近な地域では、どのように思いますか。
(それぞれひとつだけ○)



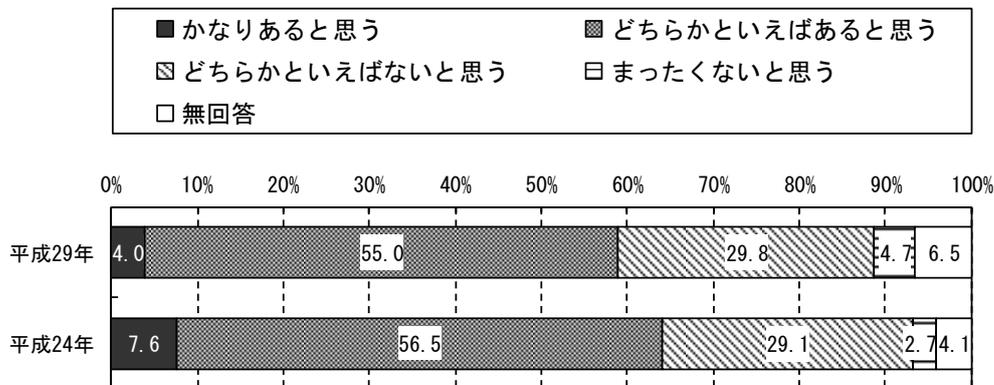
結城市の環境の「満足」（かなり満足・ほぼ満足と回答した割合）は、「①子育て・教育の環境」では37.3%、「②高齢者の介護サービス」では27.4%、「③障害のある人のサービス」では17.5%、「④低所得者に対する支援」では13.5%、「⑤文化・スポーツ施設や催しもの」では37.6%、「⑥保健・医療体制・健康づくりの環境」では37.4%、「⑦市民同士の助け合いのしくみ」では17.4%、「⑧バリアフリーの生活環境」では14.2%、「⑨交通安全・防犯・防災」では31.8%、「⑩男女共同参画社会」では15.5%となっています。

また、不満足度計（やや不満足・かなり不満）は、「①子育て・教育の環境」では17.5%、「②高齢者の介護サービス」では15.6%、「③障害のある人のサービス」では14.0%、「④低所得者に対する支援」では20.6%、「⑤文化・スポーツ施設や催しもの」では18.0%、「⑥保健・医療体制・健康づくりの環境」では20.5%、「⑦市民同士の助け合いのしくみ」では16.7%、「⑧バリアフリーの生活環境」では25.3%、「⑨交通安全・防犯・防災」では26.7%、「⑩男女共同参画社会」では12.7%となっています。

不満足度が満足度より高いものは「④低所得者に対する支援」、「⑧バリアフリーの生活環境」となっています

(7) 住民同士のふれあいや支え合いの有無

問 35 お住まいの地域では、住民同士のふれあいや支え合いがあると思いますか。
(ひとつだけ○)



住民同士のふれあいや支え合いの有無は、「かなりあると思う」が 4.0%、「どちらかといえばあると思う」が 55.0%と「ある」と回答した人の合計が 59.0%、「どちらかといえばないと思う」が 29.8%、「まったくないと思う」が 4.7%で、「ない」と回答した人の合計が 34.5%です。

住民同士のふれあいが「ある」と回答した人の割合は平成 19 年、平成 24 年に比べ減少しています。

■地区別・年齢別クロス

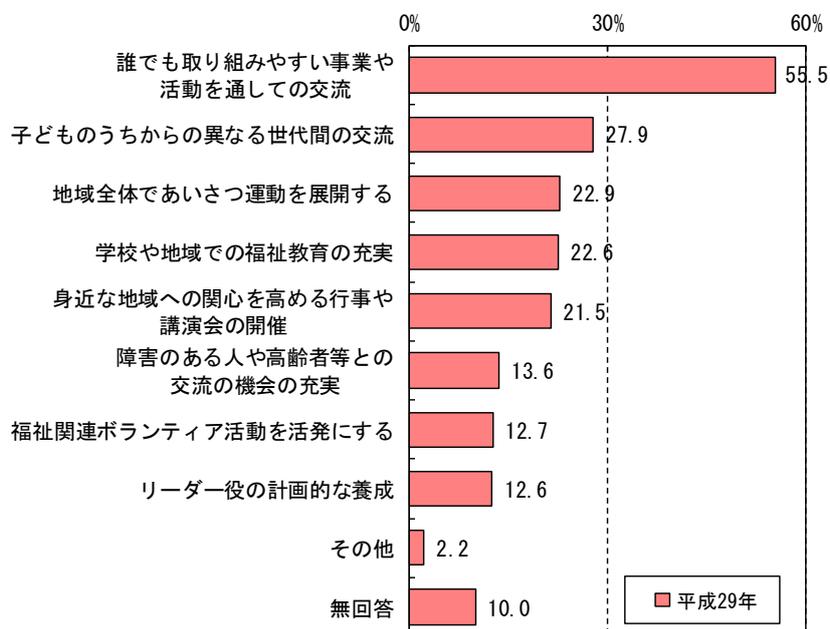
地区別でみると、「かなりあると思う」と「どちらかといえばあると思う」の合計では、上山川地区で70%以上となっています。

年齢別にみると、「かなりあると思う」と「どちらかといえばあると思う」の合計では10代で84.4%、40代が60%以上となっています。

区分 %	件数	かなりあると思う	どちらかといえばあると思う	どちらかといえばないと思う	まったくないと思う	無回答	
全体	1,132	4.0	55.0	29.8	4.7	6.5	
地区別	結城	768	3.8	52.9	31.5	5.1	6.8
	絹川	89	3.4	47.2	34.8	5.6	9.0
	上山川	72	4.2	69.4	22.2	1.4	2.8
	山川	68	1.5	66.2	22.1	2.9	7.4
	江川	128	7.0	61.7	22.7	4.7	3.9
年齢別	10代	32	6.3	78.1	9.4	6.3	0.0
	20代	65	1.5	56.9	26.2	12.3	3.1
	30代	136	3.7	51.5	35.3	3.7	5.9
	40代	153	3.9	59.5	28.1	6.5	2.0
	50代	167	3.6	55.7	32.9	3.6	4.2
	60代	305	3.3	55.7	31.1	3.3	6.6
	70代以上	266	5.6	51.1	26.7	4.5	12.0

(8) 地域でふれあい活動等を活性化させるために重要なこと

問 36 地域でふれあい活動等を活発化するために何が重要と思いますか。(〇は3つまで)



地域でふれあい活動等を活性化させるために重要なことは、「誰でも取り組みやすい事業や活動を通しての交流」が55.5%と最も多く、次いで「子どものうちからの異なる世代間の交流」が27.9%、「地域全体であいさつ運動を展開する」が22.9%となっています。

■地区別・年齢別クロス

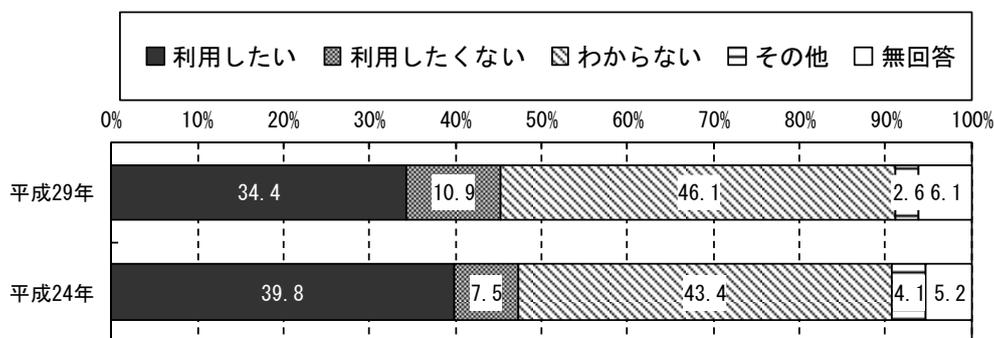
地区別にみると、いずれの地域でも「誰でも取り組みやすい事業や活動を通しての交流」が最も多いです。次いで「子どものうちからの異なる世代間の交流」が多くなっていますが、特に上山川地区では37.5%となっています。

さらに、年齢別にみると、どの年代でも「誰でも取り組みやすい事業や活動を通しての交流」が最も多いです。次いで「子どものうちからの異なる世代間の交流」が多くなっていますが、特に20代では43.1%となっています。

区分 %		件数	誰でも取り組みやすい事業や活動を通しての交流	地域全体であいさつ運動を展開する	子どものうちからの異なる世代間の交流	福祉関連ボランティア活動を活発にする	学校や地域での福祉教育の充実	障害のある人や高齢者等との交流の機会の充実	身近な地域への関心を高める行事や講演会の開催	リーダー役の計画的な養成	その他	無回答
全体		1,132	55.5	22.9	27.9	12.7	22.6	13.6	21.5	12.6	2.2	10.0
地区別	結城	768	54.4	25.0	28.0	13.5	22.0	12.1	22.5	12.5	2.2	9.4
	絹川	89	58.4	16.9	21.3	13.5	22.5	16.9	19.1	15.7	1.1	11.2
	上山川	72	55.6	25.0	37.5	15.3	19.4	16.7	20.8	16.7	2.8	5.6
	山川	68	54.4	23.5	23.5	8.8	23.5	11.8	25.0	5.9	4.4	13.2
	江川	128	60.9	13.3	30.5	8.6	28.1	18.8	16.4	12.5	1.6	12.5
年齢別	10代	32	56.3	9.4	21.9	9.4	21.9	9.4	6.3	9.4	3.1	6.3
	20代	65	50.8	20.0	43.1	16.9	26.2	15.4	10.8	12.3	4.6	1.5
	30代	136	47.8	27.2	30.1	11.8	33.1	8.8	12.5	9.6	5.1	7.4
	40代	153	60.8	20.9	28.8	13.1	26.8	11.8	19.6	11.1	1.3	3.3
	50代	167	58.7	26.9	32.9	16.8	25.7	13.2	25.7	12.6	1.2	4.8
	60代	305	62.3	19.3	26.2	9.2	18.0	14.4	28.2	17.7	1.3	9.8
	70代以上	266	48.1	25.9	22.9	13.9	18.0	16.2	21.8	9.4	2.3	20.7

(9) 地域の交流の場の利用意向

問 37 身近な地域（町内会の範囲程度）において、住民同士が気軽に集まり、お茶のみ会、
 娯楽・レクリエーションや地域活動・ボランティア活動等の情報交換等をできる場につ
 いて、どのように思いますか。（ひとつだけ○）



地域の交流の場の利用意向は、「利用したい」が34.4%となっています。
 平成24年調査に比べ、「利用したい」という回答は減少しています。

■地区別・年齢別クロス

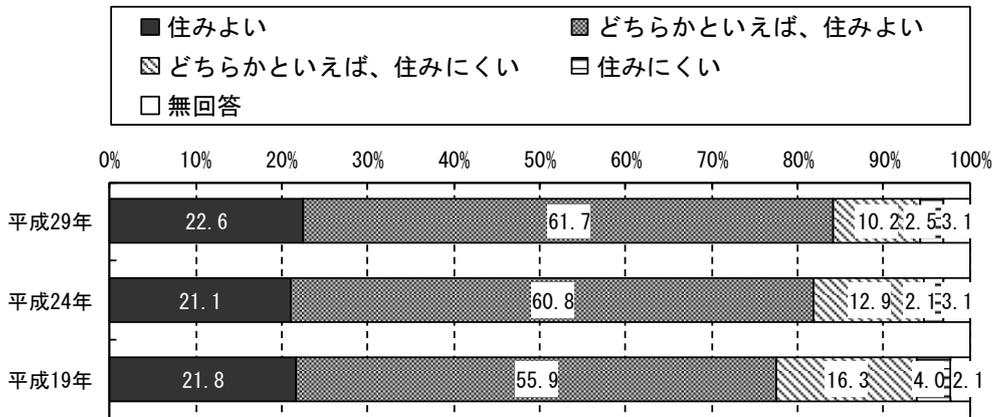
地区別で見ると、上山川地区では「利用したい」が50.0%と最も多くなっています。
 山川地区では「利用したくない」が19.1%です。

年齢別で見ると、60代、70代以上では、「利用したい」が40%台で比較的多いです。

区分 %	件数	利用 したい	利用 したくない	わから ない	その他	無回答	
全体	1,132	34.4	10.9	46.1	2.6	6.1	
地区別	結城	768	33.5	11.2	46.9	2.9	5.6
	絹川	89	30.3	7.9	55.1	3.4	3.4
	上山川	72	50.0	8.3	37.5	1.4	2.8
	山川	68	30.9	19.1	38.2	1.5	10.3
	江川	128	37.5	8.6	43.8	1.6	8.6
年齢別	10代	32	15.6	12.5	68.8	0.0	3.1
	20代	65	26.2	15.4	52.3	4.6	1.5
	30代	136	25.0	19.9	50.0	1.5	3.7
	40代	153	22.9	11.1	63.4	1.3	1.3
	50代	167	32.3	11.4	50.9	1.8	3.6
	60代	305	40.7	8.2	43.0	2.3	5.9
	70代以上	266	44.7	7.9	30.5	4.5	12.4

(10) 結城市の住みよさ

問 38 当市は、住みよいですか。(ひとつだけ○)



本市の住みやすさでは、「住みよい」が22.6%、「どちらかといえば、住みよい」が61.7%で、「住みよい」と回答した人の合計が84.3%です。

一方で、「どちらかといえば、住みにくい」が10.2%、「住みにくい」が2.5%で、「住みにくい」と回答した人の合計が12.7%です。

平成19年、平成24年調査と比較すると「住みよい」と回答した人の合計が増加しています。

■地区別・年齢別クロス

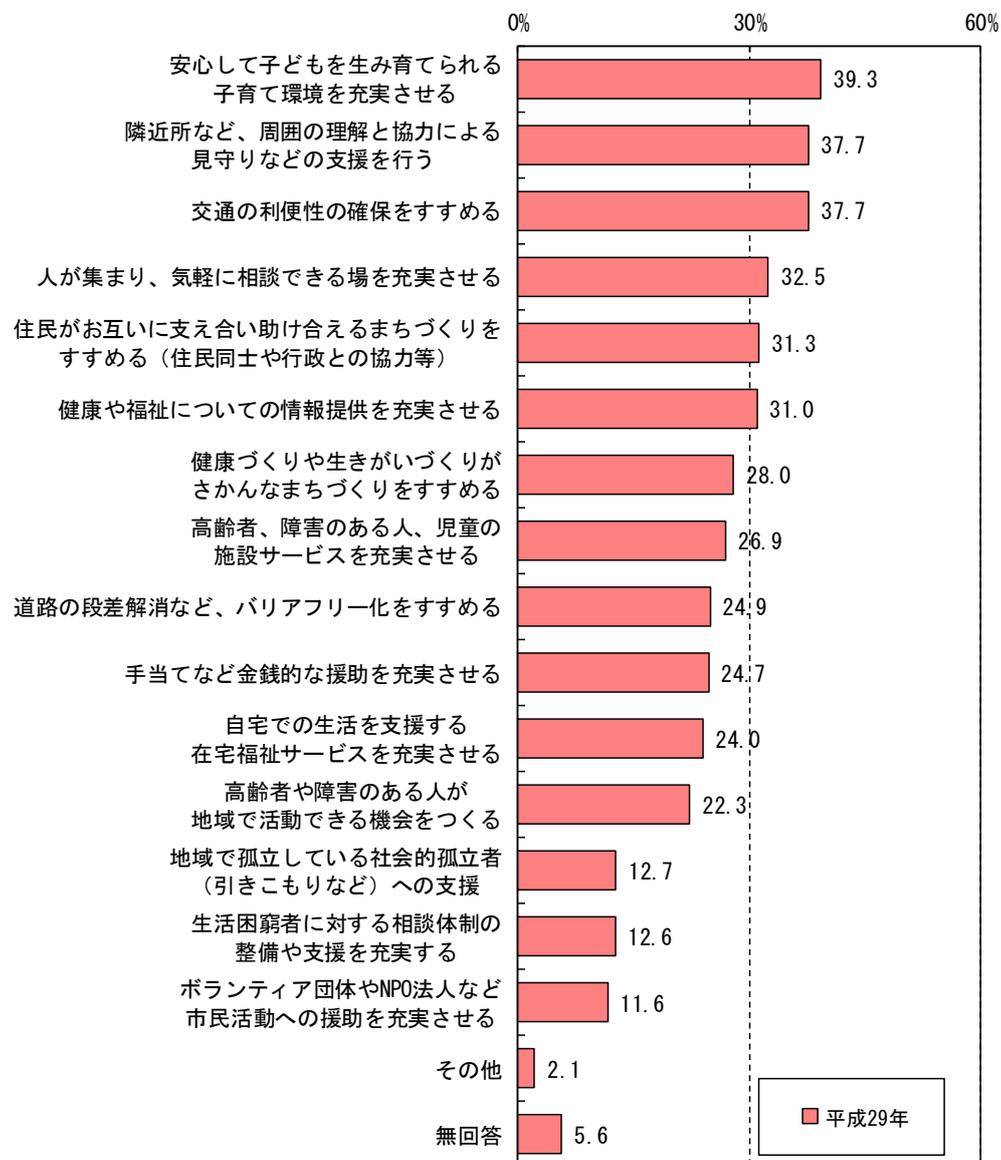
地区別で見ると、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計では上山川地区で90%以上となっています。

年齢別で見ると、すべての年代で「住みよい」と8割以上が答えています。

区分%	件数	住みよい	どちらかといえば、住みよい	どちらかといえば、住みにくい	住みにくい	無回答	
全体	1,132	22.6	61.7	10.2	2.5	3.1	
地区別	結城	768	25.7	61.6	9.2	1.7	1.8
	絹川	89	13.5	66.3	11.2	4.5	4.5
	上山川	72	20.8	69.4	6.9	0.0	2.8
	山川	68	16.2	61.8	7.4	8.8	5.9
	江川	128	16.4	54.7	18.0	3.9	7.0
年齢別	10代	32	31.3	62.5	6.3	0.0	0.0
	20代	65	16.9	63.1	12.3	4.6	3.1
	30代	136	25.0	57.4	10.3	5.1	2.2
	40代	153	22.2	60.1	14.4	2.6	0.7
	50代	167	22.2	62.9	9.0	4.8	1.2
	60代	305	14.8	70.2	10.2	1.0	3.9
	70代以上	266	31.6	54.1	8.3	1.1	4.9

(11) 充実してほしい福祉施策

問 39 結城市の福祉施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか。(〇はいくつでも)



充実してほしい福祉施策では、「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が 39.3%と最も多く、次いで「隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う」と「交通の利便性の確保をすすめる」が同率で 37.7%となっています。

■地区別・年齢別クロス

地域別でみると、結城地区、絹川地区では「安心して子どもを生き育てられる子育て環境を充実させる」、上山川地区、山川地区、江川地区では、「交通の利便性の確保をすすめる」が最も高くなっています。

また、年齢別でみると、全体と同様の傾向がうかがえますが20～40代では「安心して子どもを生き育てられる子育て環境を充実させる」、50代では「健康や福祉についての情報提供を充実させる」、60代以上で「隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う」が高くなっています。

区分 %	件数	隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う	ボランティア団体やNPO法人など市民活動への援助を充実させる	高齢者や障害のある人が地域で活動できる機会をつくる	人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる	健康や福祉についての情報提供を充実させる	住民がお互いに支え合い助け合えるまちづくりをすすめる（住民同士や行政との協力等）	健康づくりや生きがいづくりがさかんなまちづくりをすすめる	自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを実らせる	高齢者、障害のある人、児童の施設サービスを充実させる	安心して子どもを生き育てられる子育て環境を充実させる	手当てなど金銭的な援助を充実させる	生活困窮者に対する相談体制の整備や支援を充実する	地域で孤立している社会的孤立者（引きこもりなど）への支援	交通の利便性の確保をすすめる	道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる	その他	無回答	
																			37.7
全体	1,132	37.7	11.6	22.3	32.5	31.0	31.3	28.0	24.0	26.9	39.3	24.7	12.6	12.7	37.7	24.9	2.1	5.6	
地区別	結城	768	40.2	11.8	23.0	33.1	32.2	30.9	29.4	23.3	26.3	40.9	25.3	12.2	13.2	35.4	27.0	2.1	4.8
	絹川	89	39.3	14.6	31.5	30.3	28.1	34.8	24.7	29.2	31.5	47.2	21.3	18.0	19.1	41.6	23.6	2.2	4.5
	上山川	72	38.9	8.3	19.4	30.6	31.9	36.1	20.8	26.4	25.0	34.7	22.2	12.5	12.5	45.8	18.1	1.4	5.6
	山川	68	26.5	7.4	11.8	29.4	27.9	27.9	22.1	22.1	27.9	33.8	23.5	8.8	5.9	45.6	19.1	2.9	5.9
	江川	128	27.3	11.7	19.5	33.6	28.1	28.9	29.7	25.0	26.6	30.5	25.8	14.1	9.4	40.6	20.3	2.3	10.2
年齢別	10代	32	21.9	12.5	12.5	31.3	15.6	18.8	12.5	6.3	21.9	34.4	37.5	9.4	6.3	37.5	34.4	3.1	6.3
	20代	65	30.8	9.2	18.5	27.7	33.8	23.1	16.9	12.3	30.8	38.5	29.2	9.2	15.4	33.8	27.7	3.1	3.1
	30代	136	30.9	11.0	19.9	26.5	30.1	23.5	22.1	16.2	23.5	58.8	42.6	13.2	14.0	36.8	23.5	5.1	1.5
	40代	153	32.0	14.4	22.2	28.8	31.4	22.9	22.2	18.3	29.4	44.4	36.6	13.7	13.7	42.5	19.0	5.2	2.0
	50代	167	38.9	16.2	22.8	34.1	40.1	33.5	28.1	31.7	36.5	38.3	26.3	13.8	16.8	37.7	29.3	1.2	4.8
	60代	305	39.0	9.5	23.3	37.0	26.2	37.4	34.1	25.2	26.2	39.0	16.7	12.8	10.5	33.8	21.0	0.3	4.9
	70代以上	266	45.9	9.8	24.8	33.5	32.3	34.6	32.7	30.1	21.1	28.9	14.7	12.4	11.7	41.0	28.6	1.1	11.3

Ⅱ. 民生委員・児童委員

基数は特に断りのない限り、以下の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。

平成 29 年調査：サンプル数 82 件（今期計画に実施した調査）

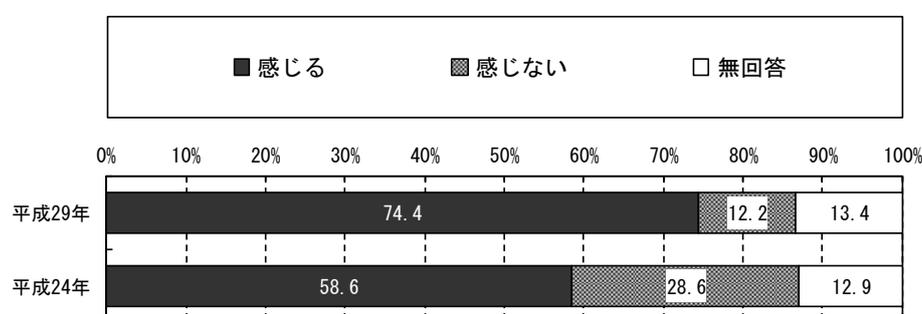
平成 24 年調査：サンプル数 70 件（第 2 期計画策定時に実施した調査）

（1）日頃の活動状況

問 1 民生委員・児童委員として、日頃の活動をどのように感じていますか。

（○はそれぞれ1つ）

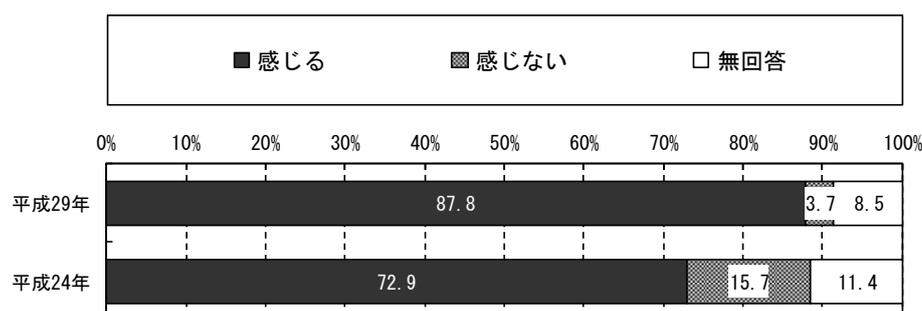
① やりがい



日頃のやりがいは、「感じる」が 74.4%、「感じない」が 12.2%となっています。

平成 24 年調査に比べ、やりがいを「感じる」と回答した人の割合が 15.8 ポイント高くなっています。

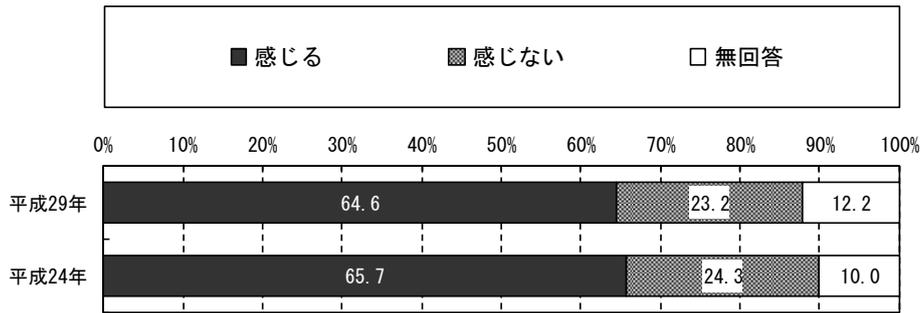
② 使命感



日頃の使命感は、「感じる」が 87.8%、「感じない」が 3.7%となっています。

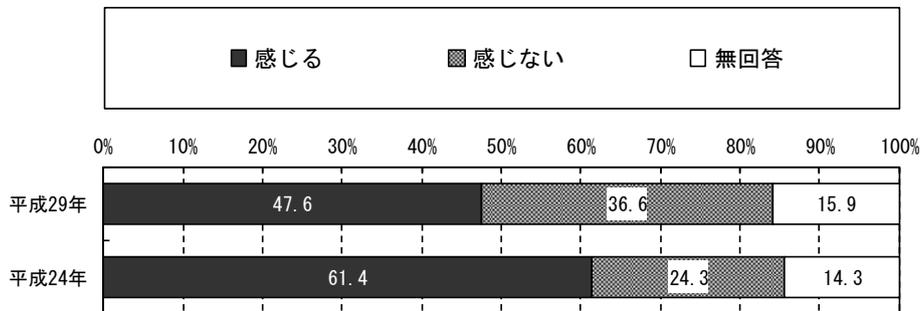
平成 24 年調査に比べ、使命感を「感じる」と回答した人の割合が 14.9 ポイント高くなっています。

③負担感



日頃の負担感は、「感じる」が64.6%、「感じない」が23.2%となっています。平成24年調査とほぼ同様の傾向がうかがえます。

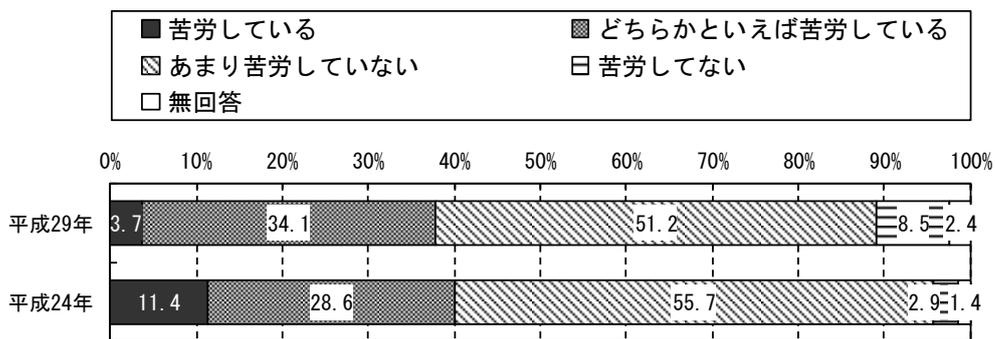
④限界感



日頃の限界感は、「感じる」が47.6%、「感じない」が36.6%となっています。平成24年調査に比べ、使命感を「感じる」と回答した人の割合が13.8ポイント減少しています。

(2) 地域住民との接触

問2 民生委員・児童委員活動の中で、地域住民と接触するうえでの苦勞はあります



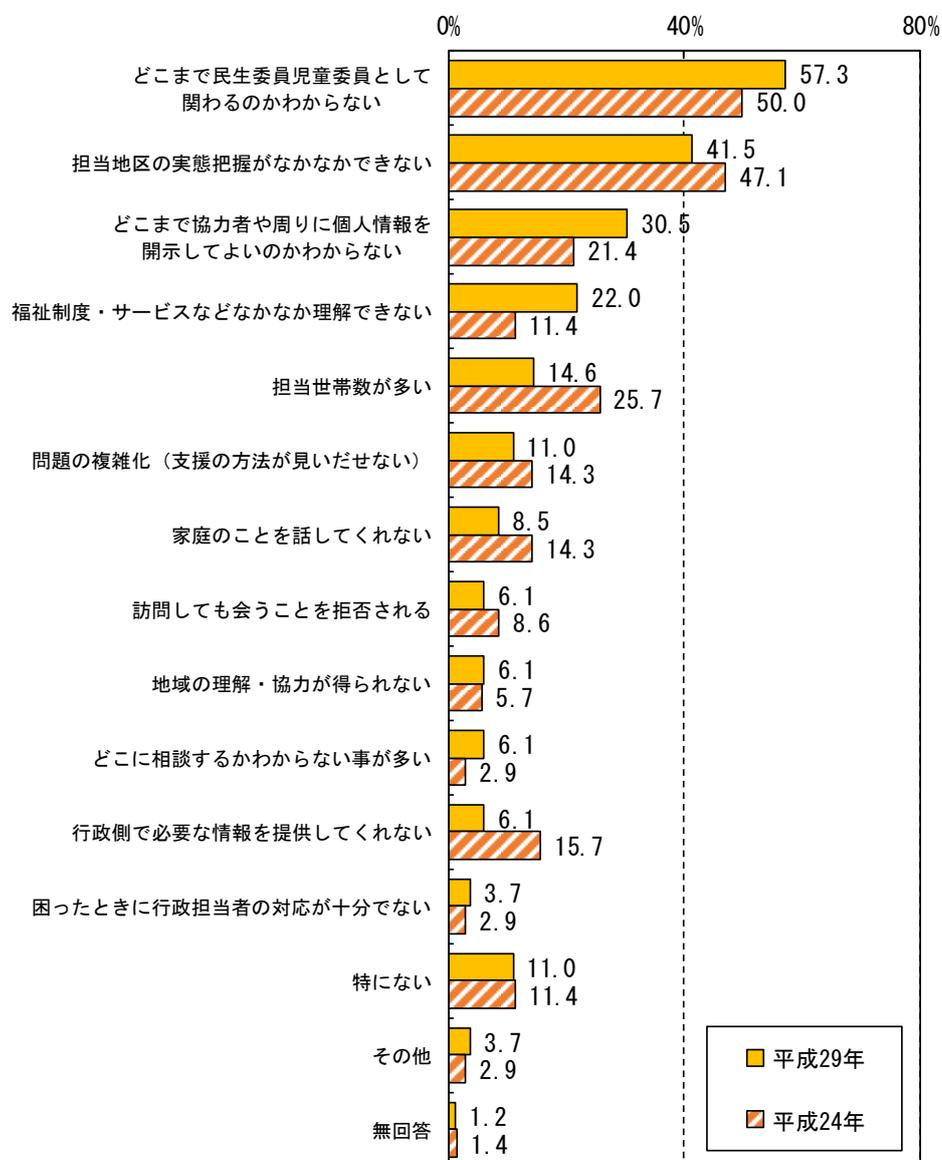
地域住民との接触では、「苦勞している」が3.7%、「どちらかといえば苦勞している」が34.1%で、「苦勞している」と回答した人の合計が37.8%です。

一方で、「あまり苦勞していない」が51.2%、「苦勞していない」が8.5%で、「苦勞していない」と回答した人の合計が59.7%です。

平成24年調査と比較すると「苦勞している」と回答した人の合計が減り、「苦勞していない」と回答した人の合計は増加しています。

(3) 活動を行っていくうえで大変と感じること

問3 民生委員・児童委員活動で大変と感じることは、どんなときですか。(〇は3つまで)

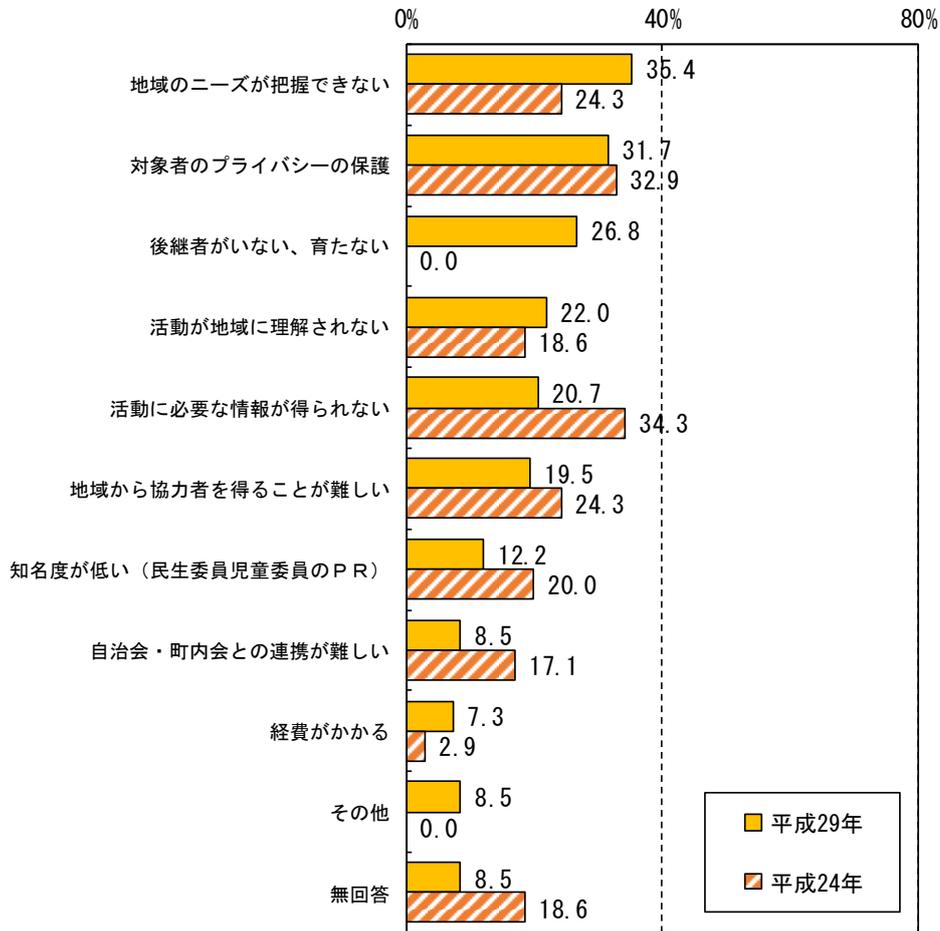


活動を行っていくうえで大変だと感じることは、「どこまで民生委員・児童委員として関わるのかわからない」が57.3%と最も多く、次いで「担当地区の実態把握がなかなかできない」が41.5%、「どこまで協力者や周りに個人情報を開示してよいのかわからない」が30.5%となっています。

経年でみると、平成24年調査でも第1位は「どこまで民生委員・児童委員として関わるのかわからない」、第2位は「担当地区の実態把握がなかなかできない」は変わらないが、3位以降の順位が変わっています。

(4) 活動を行ううえでの問題点・課題

問4 民生委員・児童委員活動を行うときの問題点や課題を教えてください。(〇は3つまで)

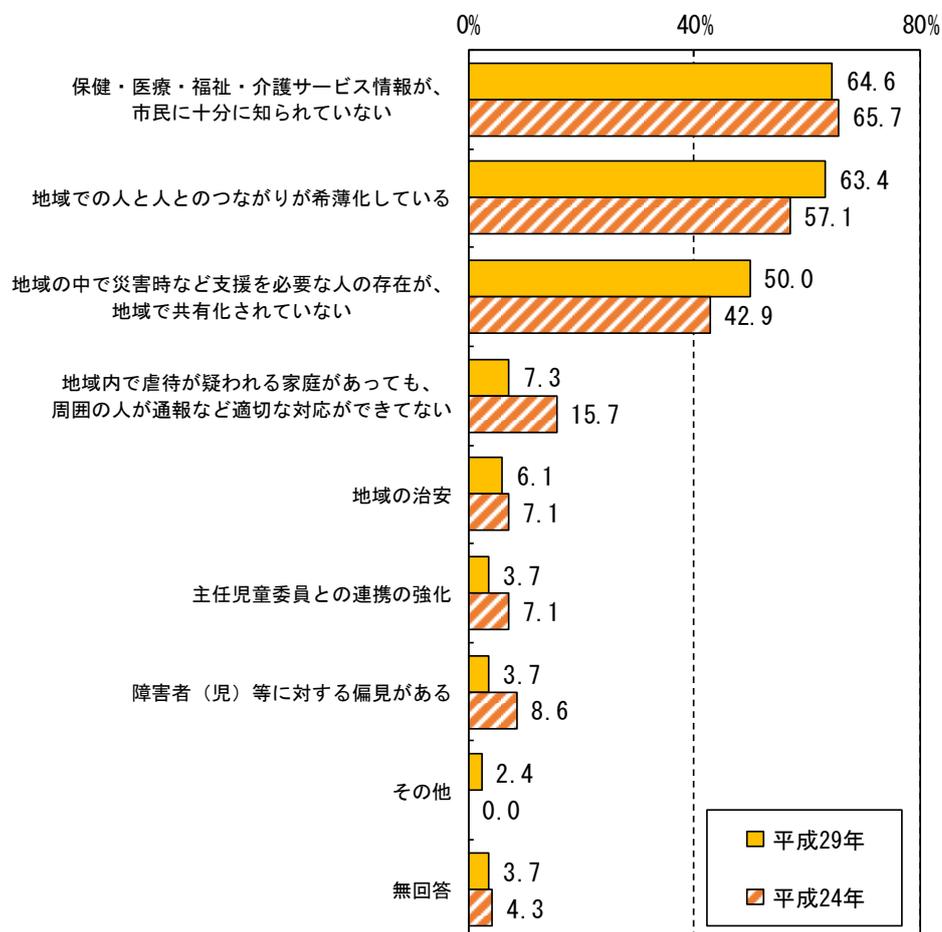


活動を行っていくうえでの問題点・課題は、「地域のニーズが把握できない」が35.4%と最も多く、次いで「対象者のプライバシーの保護」が31.7%、「後継者がいない、育たない」が26.8%となっています。

経年でみると、平成24年調査に比べ「地域のニーズが把握できない」、「対象者のプライバシーの保護」など上位が入れ替わり、新設項目の「後継者がいない、育たない」が第3位となっています。

(5) 地域福祉の課題

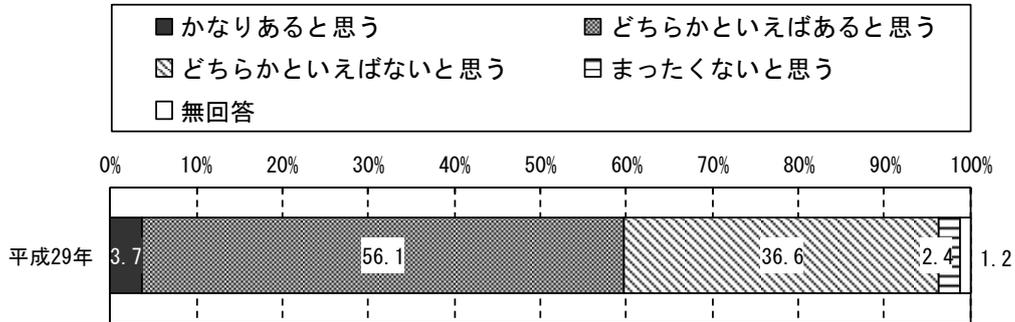
問5 民生委員・児童委員活動をする中で、地域福祉に関して課題と感じていることは何ですか。(〇は3つまで)



地域福祉の課題は、「保健・医療・福祉・介護サービス情報が、市民に十分に知られていない」が64.6%と最も多く、次いで「地域での人と人とのつながりが希薄化している」が63.4%、「地域の中で災害時など支援を必要な人の存在が、地域で共有化されていない」が50.0%となっています。

(6) 住民同士のふれあいや支え合い

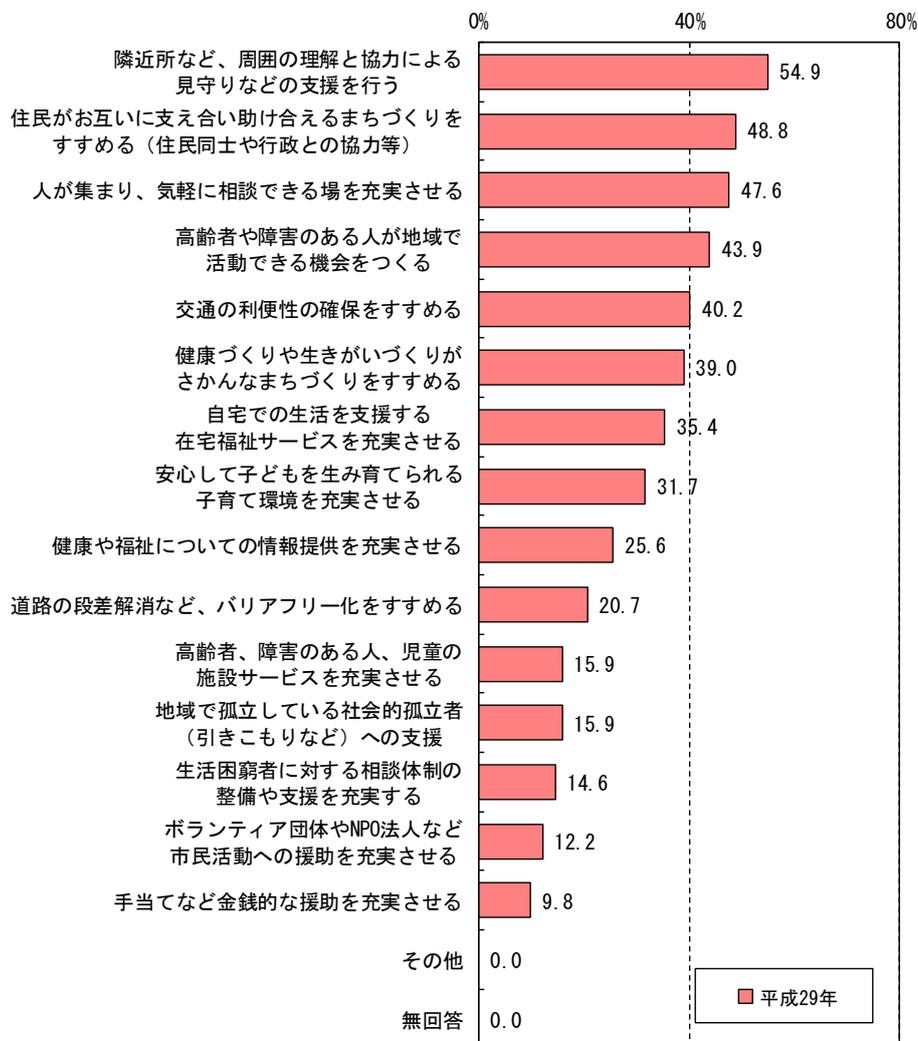
問6 地域では、住民同士のふれあいや支え合いがあると思いますか。(○は1つ)



住民同士のふれあいや支え合いについては、「かなりあると思う」が 3.7%、「どちらかといえばあると思う」が 56.1%と「ある」と回答した人の合計が 59.8%、「どちらかといえばないと思う」が 36.6%、「まったくないと思う」が 2.4%で、「ない」と回答した人の合計が 39.0%です。

(7) 充実してほしい福祉施策

問7 結城市の福祉施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか。(〇はいくつでも)



充実してほしい福祉施策では、「隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う」が 54.9%と最も多く、次いで「住民がお互いに支え合い助け合えるまちづくりをすすめる(住民同士や行政との協力等)」が 48.8%、「人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる」が 47.6%となっています。

Ⅲ. ボランティア

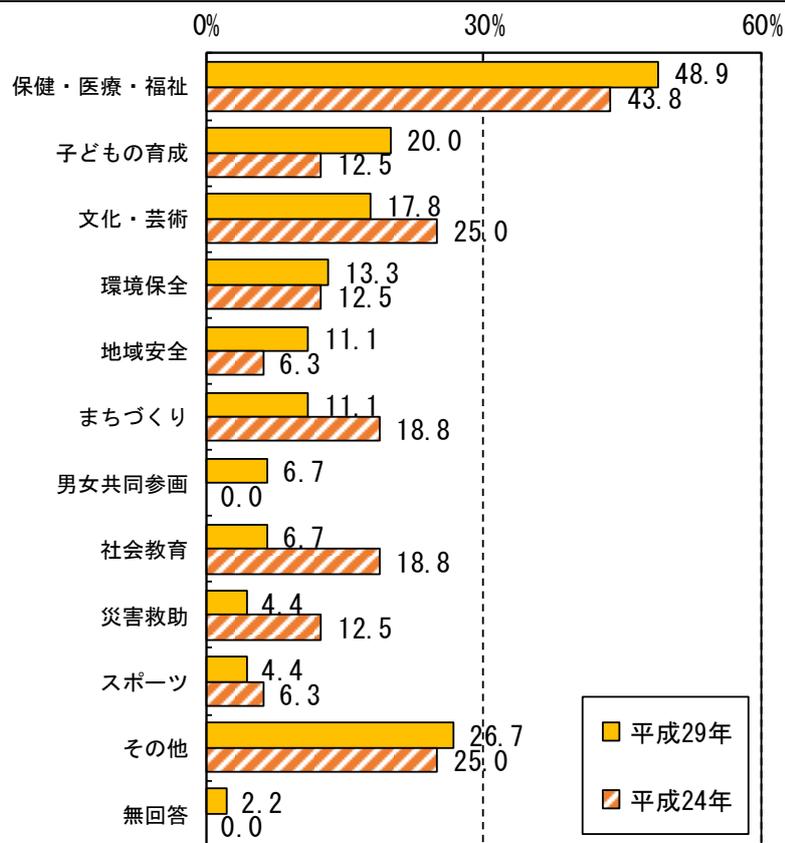
基数は特に断りのない限り、以下の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。

平成 29 年調査：サンプル数 45 件（今期計画に実施した調査）

平成 24 年調査：サンプル数 16 件（第 2 期計画策定時に実施した調査）

（1）活動分野

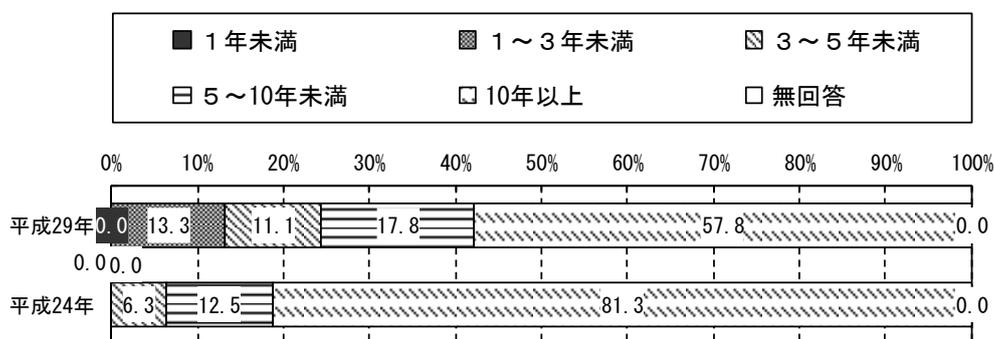
問 1 貴団体の活動分野について教えてください。（〇はいくつでも）



活動分野は、「保健・医療・福祉」が 48.9%と最も多く、次いで「子どもの育成」が 20.0%、「文化・芸術」が 17.8%となっています。

(2) 活動年数

問2 貴団体の活動年数はどのくらいですか。(〇は1つ)

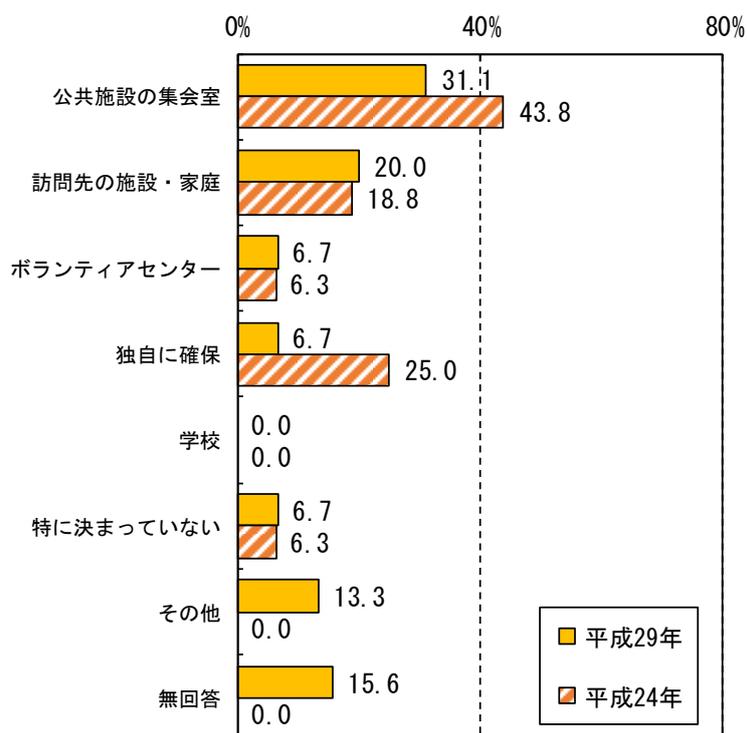


団体の活動年数は、「10年以上」が57.8%と最も多く、次いで「5～10年未満」が17.8%、「1～3年未満」が13.3%となっています。

経年でみると、1～10年未満の年数の若い団体が増えています。

(3) 主な活動場所

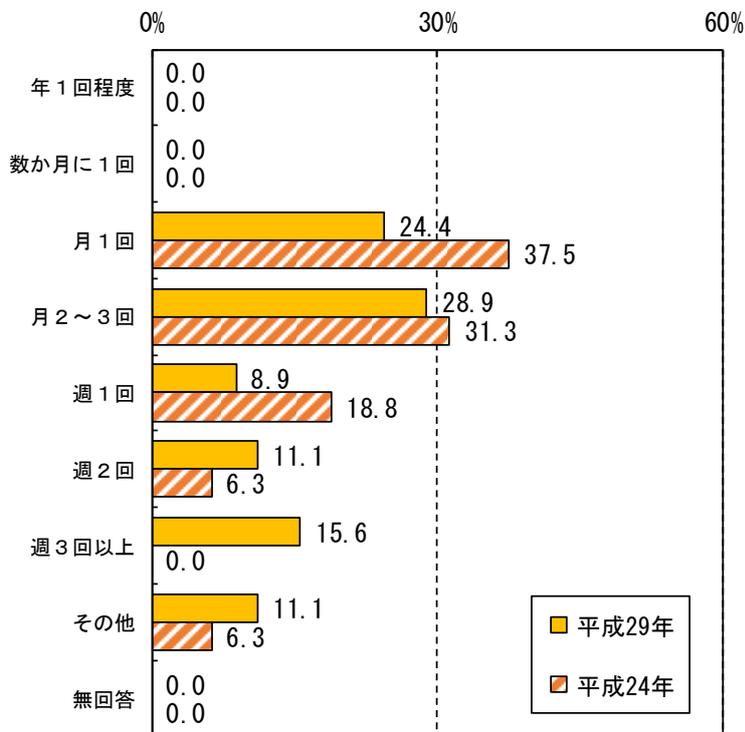
問3 主な活動の場所はどこですか。(〇は1つ)



団体の主な活動場所は、「公共施設の集会室」が31.1%と最も多く、次いで「訪問先の施設・家庭」が20.0%、「ボランティアセンター」が6.7%となっています。

(4) 活動の頻度

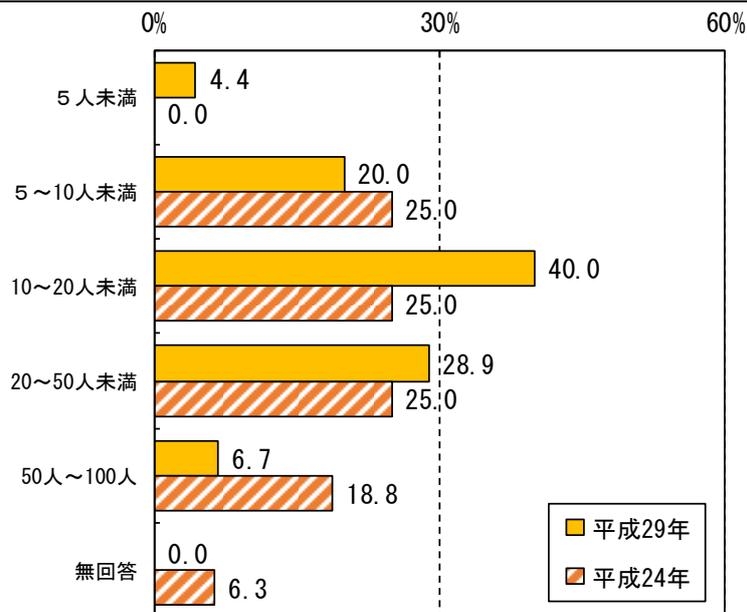
問4 貴団体の活動は、どれくらいの頻度でおこなっていますか。(〇は1つ)



活動の頻度は、「月2~3回」が28.9%と最も多く、次いで「月1回」が24.4%、「週3回以上」が15.6%となっています。

(5) 構成人員

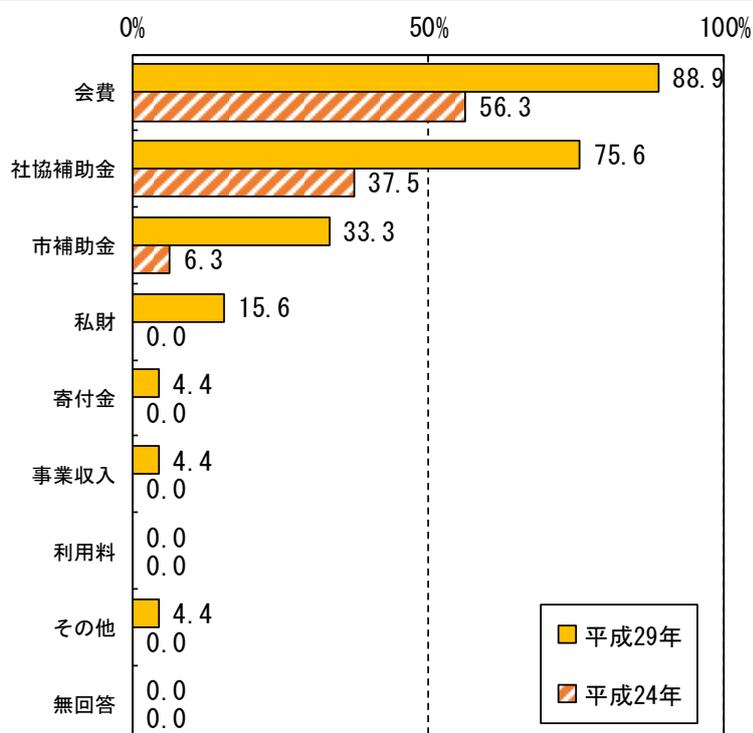
問5 貴団体の構成人員はどれくらいですか。(〇は1つ)



構成人員は、「10~20人未満」が40.0%と最も多く、次いで「20~50人未満」が28.9%、「5~10人未満」が20.0%となっています。

(6) 活動資金について

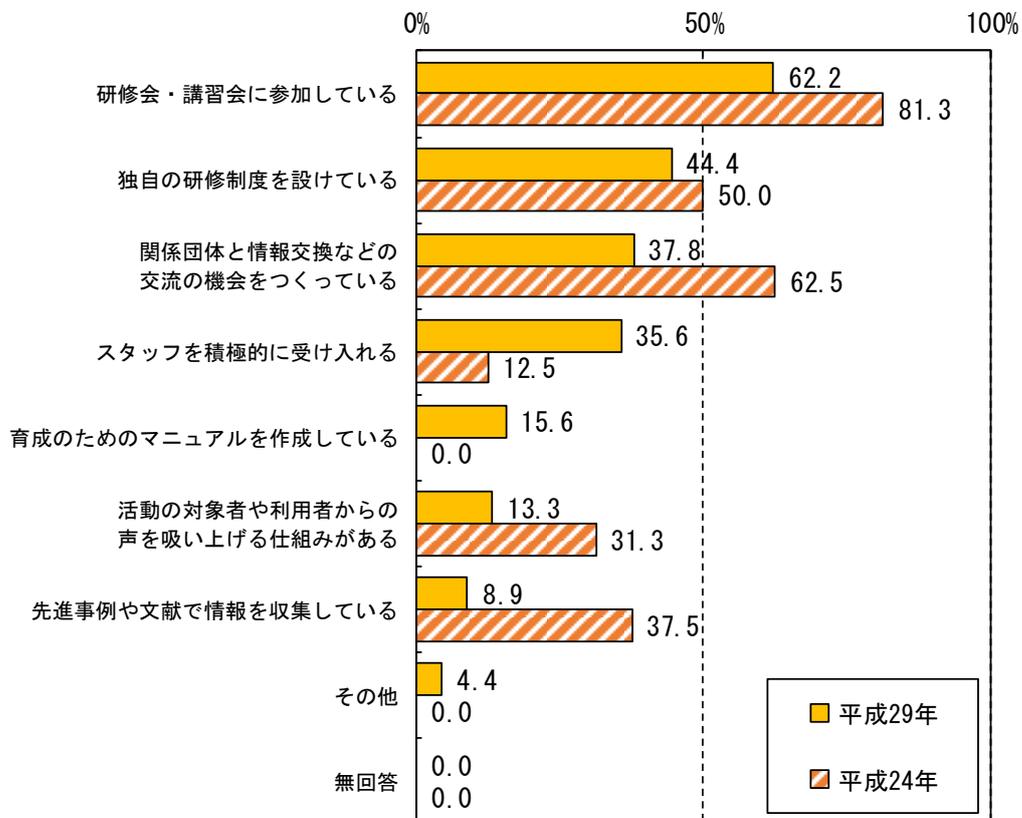
問6 貴団体の活動資金を教えてください。(〇は3つまで)



活動資金は、「会費」が88.9%と最も多く、次いで「社協補助金」が75.6%、「市補助金」が33.3%となっています。

(7) 活動の質を向上させるための取り組み

問7 活動の質を向上させるための取り組みを教えてください。(〇は3つまで)

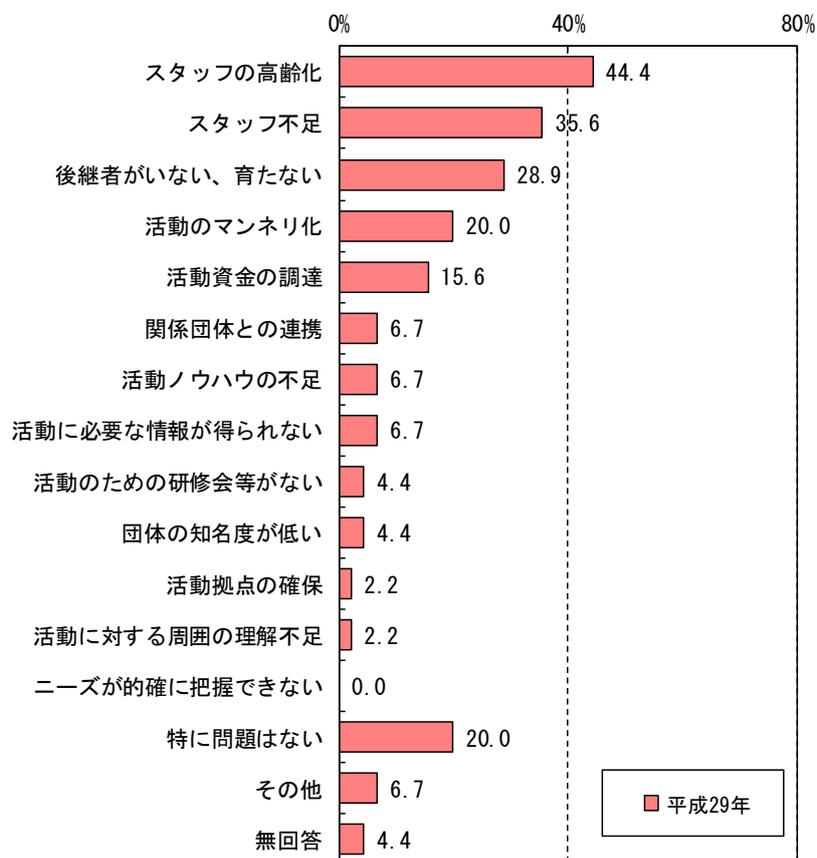


活動の質を向上させるための取り組みは「研修会・講習会に参加している」が62.2%と最も多く、次いで「独自の研修制度を設けている」が44.4%、「関係団体と情報交換などの交流の機会をつくっている」が37.8%となっています。

経年でみると、「独自の研修制度を設けている」と「関係団体と情報交換などの交流の機会をつくっている」の順位が入れ変わっています。

(8) 活動全般で困っていること

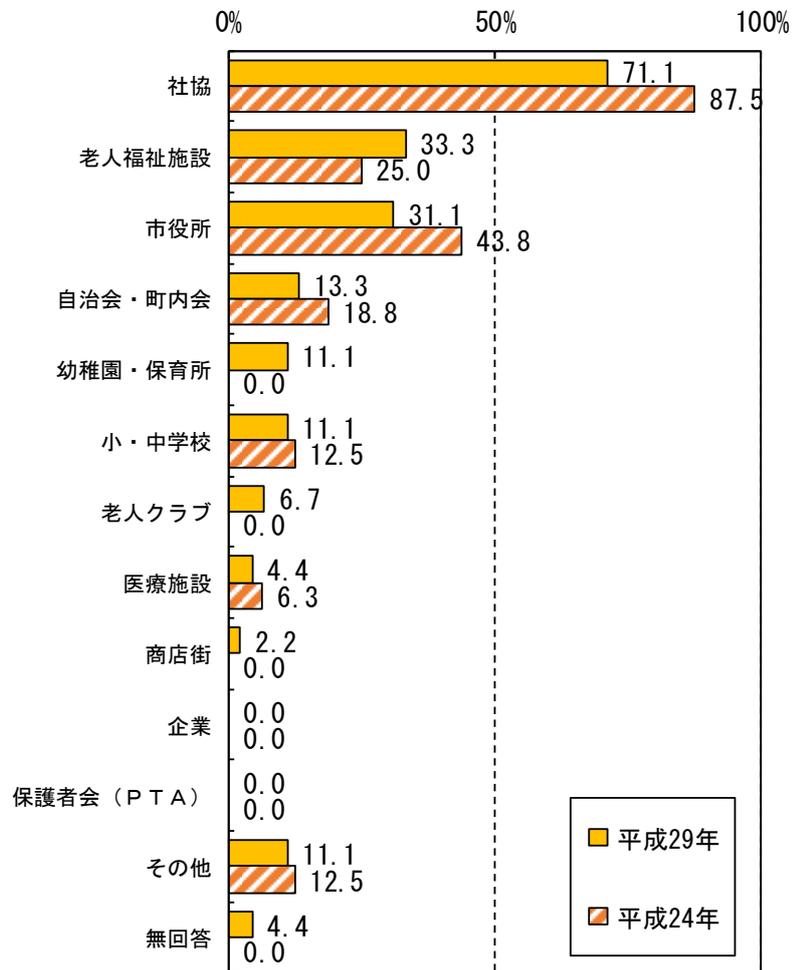
問8 貴団体の活動全般で困っていることは何ですか。(〇は3つまで)



活動全般で困っていることは、「スタッフの高齢化」が44.4%と最も多く、次いで「スタッフ不足」が35.6%、「後継者がいない、育たない」が28.9%となっています。

(9) 連携・協力関係がある機関

問9 貴団体と連携・協力関係がある機関を教えてください。(〇は3つまで)



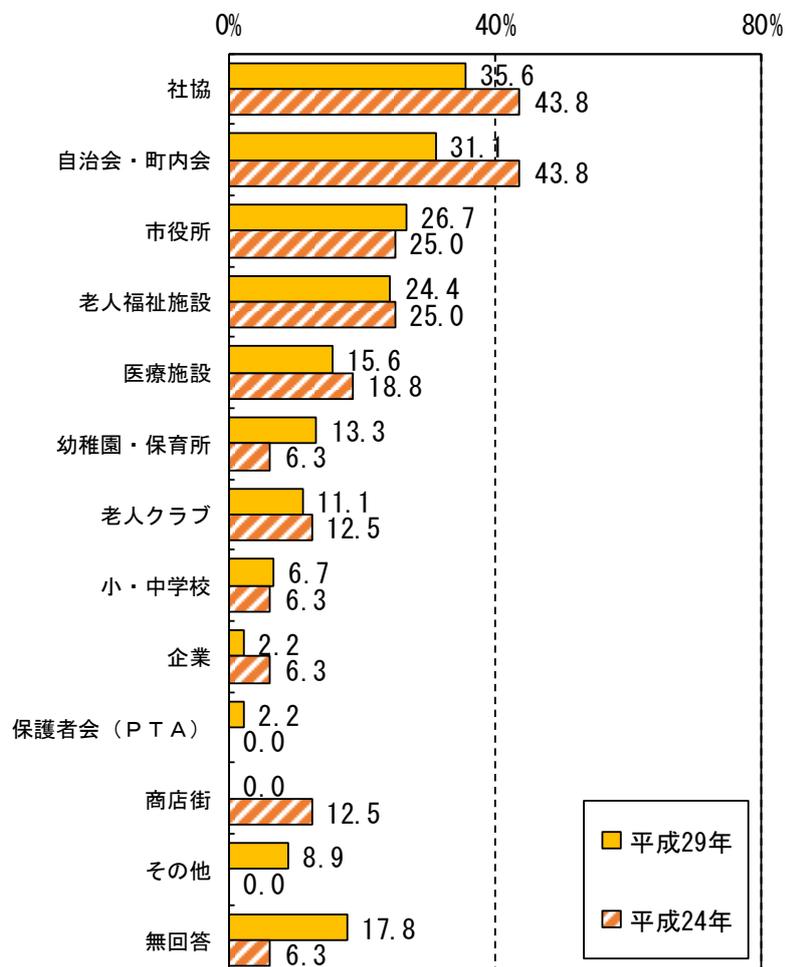
連携・協力関係がある機関は、「社協」が 71.1%と最も多く、次いで「老人福祉施設」が 33.3%、「市役所」が 31.1%となっています。

経年でみると、「老人福祉施設」と「市役所」の順位が入れ変わっています。

(10) 連携・協力関係を築きたい機関

問10 貴団体が連携・協力関係を築けば活動がしやすくなる機関を教えてください。

(○は3つまで)

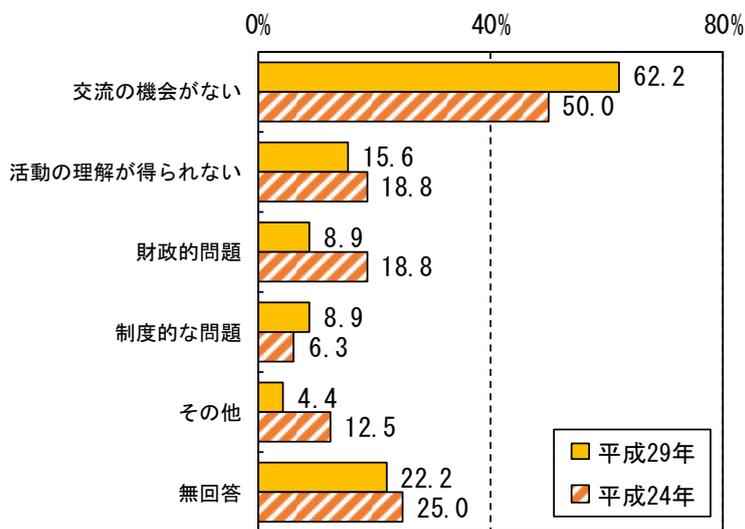


連携・協力関係を築けば活動がしやすくなる機関は、「社協」が35.6%と最も多く、次いで「自治会・町内会」が31.1%、「市役所」が26.7%となっています。

経年でみると、平成24年と比較すると上位は同様の傾向がうかがえますが、「幼稚園・保育所」、「老人クラブ」、「商店街」などは順位が入れ替わっています。

(11) 連携する際の問題点

問 11 他機関と連携する際、問題となることを教えてください。(〇は2つまで)

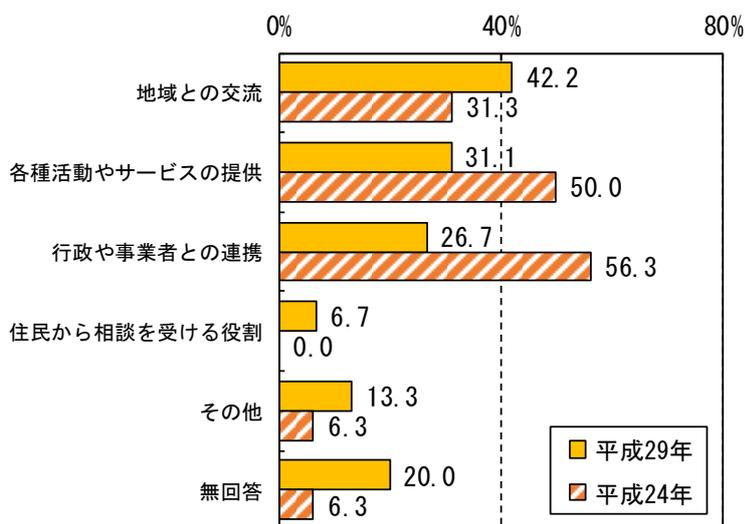


他機関と連携する際、問題になることは、「交流の機会がない」が 62.2%と最も多く、次いで「活動の理解が得られない」が 15.6%、「財政問題」、「制度的な問題」が同率で 8.9%となっています。

経年でみると、平成 24 年と同様の傾向がうかがえます。

(12) 地域福祉を推進するために行っていること

問 12 地域福祉を推進するため貴団体で行っていることを教えてください。(〇は2つまで)

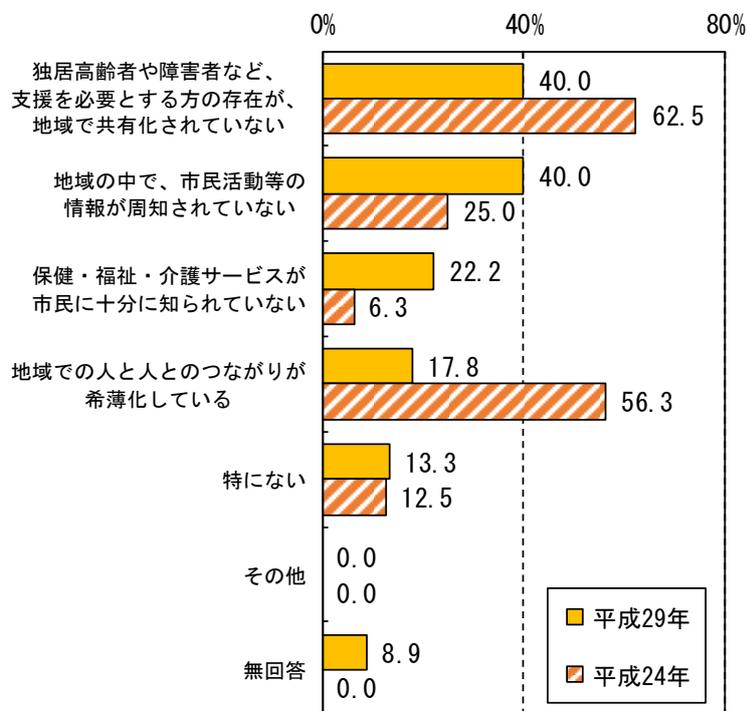


地域福祉を推進するために行っていることは、「地域との交流」が 42.2%と最も多く、次いで「各種活動やサービスの提供」が 31.1%、「行政や事業者との連携」26.7%となっています。

経年でみると、「地域との交流」が第 1 位となり、その他「各種活動やサービスの提供」、「行政や事業者との連携」と順位が入れ替わっています。

(13) 健康や福祉に関する課題

問 13 活動している中で、健康や福祉に関して課題と感じていることを教えてください。
(〇は2つまで)

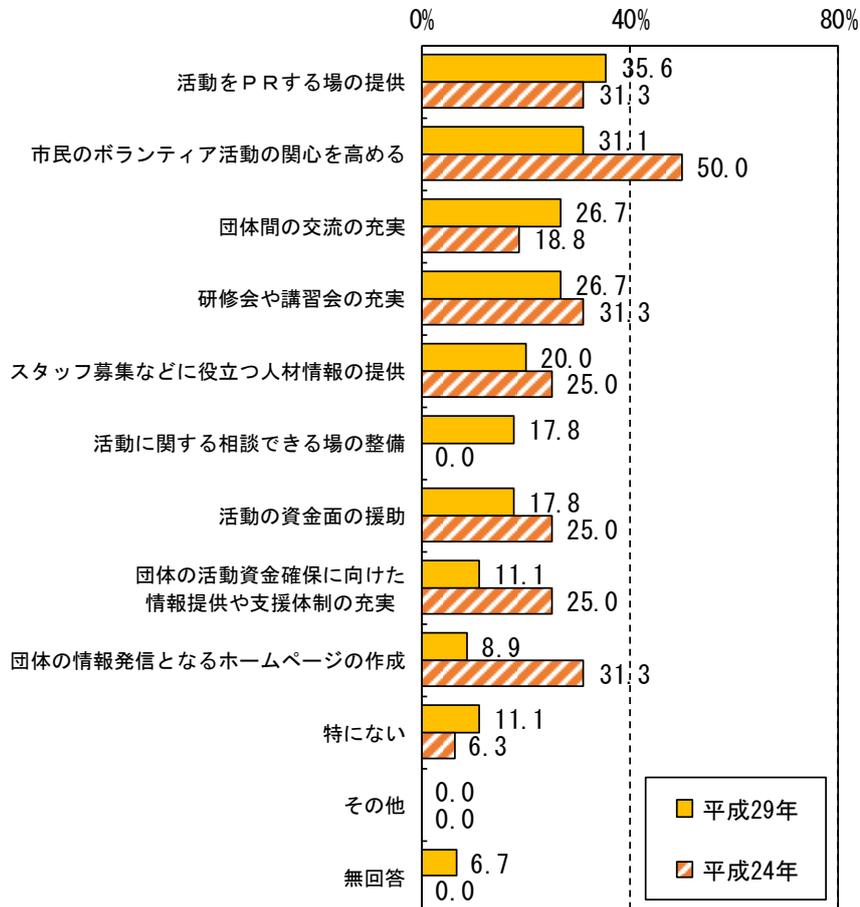


健康や福祉に関する課題は、「独居高齢者や障害者など、支援を必要とする方の存在が、地域で共有化されていない」、「地域の中で、市民活動等の情報が周知されていない」が同率で40.0%と最も多く、次いで「保健・福祉・介護サービスが市民に十分に知られていない」が22.2%となっています。

経年でみると、平成24年に比べると「独居高齢者や障害者など、支援を必要とする方の存在が、地域で共有化されていない」、「地域での人と人とのつながりが希薄化している」と回答している人の割合が減少しています。

(14) 活動を活性化させるために必要な取り組み

問 14 今後、貴団体の活動をさらに活性化させるためには、どのような取り組みが必要と考えますか。(〇は3つまで)

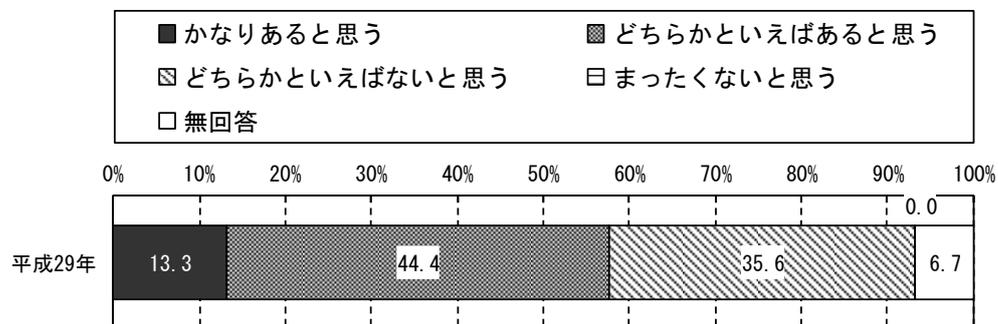


活動を活性化させるために必要な取り組みは、「活動をPRする場の提供」が35.6%と最も多く、次いで「市民のボランティア活動の関心を高める」が31.1%、「団体間の交流の充実」が26.7%となっています。

経年でみると、「市民のボランティア活動の関心を高める」と回答している人の割合が大きく減少し、一方で「活動をPRする場の提供」を回答する割合が増加しています。

(15) 住民同士のふれあいや支え合いについて

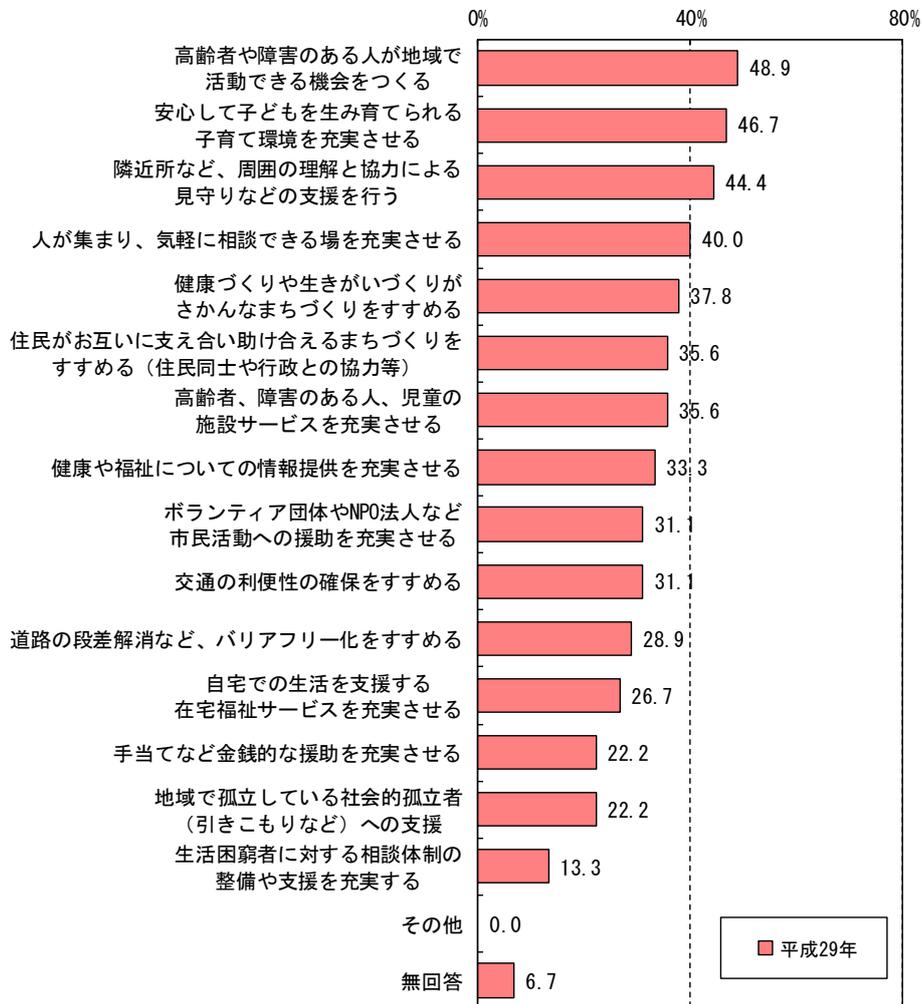
問 15 地域では、住民同士のふれあいや支え合いがあると思いますか。(○は1つ)



住民同士のふれあいについては、「かなりあると思う」が13.3%、「どちらかといえばあると思う」が44.4%と「ある」と回答した人の合計が57.7%、「どちらかといえばないと思う」が35.6%、「まったくないと思う」が0%で、「ない」と回答した人の合計が35.6%です。

(16) 充実してほしい福祉施策

問 16 結城市の福祉施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか。(〇はいくつでも)



充実してほしい福祉施策は、「高齢者や障害のある人が地域で活動できる機会をつくる」が 48.9%と最も多く、次いで「安心して子どもを育てられる子育て環境を充実させる」が 46.7%、「隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う」が 44.4%となっています。

資料編 アンケート調査票

ゆうきの地域福祉計画改訂のための ご意見をお聞かせください

市民の皆様には日ごろから福祉行政にご協力いただき、ありがとうございます。

今日、人にやさしい福祉のまちづくりを、市民のみなさまのお力ですすめることは、きわめて重要な課題であると考えております。

このたび、地域における福祉をこれまで以上に推進するために、「第3期ゆうきの地域福祉計画」を策定することにいたしました。

つきましては、市民のみなさまのご意見やご意向をこの計画に反映させるため、アンケートを実施いたします。

また、このアンケート調査の実施に際しましてはプライバシーの保護に万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年7月

結城市長 前場 文夫

【ご記入にあたってのお願い】

1. この調査票は、ご本人がお答えください。お一人で答えることがむずかしい場合には、ご家族がお手伝いするか、ご本人の立場に代わりお答えください。
2. 記入に際しては
 - (1) 黒の鉛筆またはボールペンでご記入ください。
 - (2) 回答はあてはまる項目を選び、その番号を○で囲んでください。
 - (3) 質問により、回答が「あてはまる番号に一つだけ○」、「あてはまる番号すべてに○」と○の数は質問ごとに指示されています。
 - (4) 「その他()」の番号に○をつけたときは、()内に具体的な内容をご記入ください。
 - (5) 間違えた場合は、消しゴムで消すか、二重線で消してください。
3. ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて
平成29年7月31日(月)までに、郵便ポストに投函してください。
この調査に関してのお問い合わせは、次までお願いいたします。

問い合わせ先

結城市役所 保健福祉部 社会福祉課企画管理係
電話：0296-34-0416

ゆうきの地域福祉計画改訂に向けて

1 地域福祉とは？

地域福祉とは、誰もが住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けていくために、市民の支え合いを基盤として、身近な生活課題に対して、地域全体で取り組む仕組みのことです。

2 地域福祉推進に求められるものは？

- ・市民同士のつながりを深め、支え合いなどの福祉活動を推進すること
- ・地域で暮らす構成員のひとりとして、自身や周りの人が直面している問題を他人ごとではなく、協力しあって解決していくこと
- ・一人ひとりが地域福祉の担い手としての認識を持つこと



3 誰もが安心して暮らせる社会をめざします！

地域のことや、日ごろ感じる生活の課題などを一番よく知っている、地域の皆さんの参加と協力が必要不可欠となります。

**市民参加の第一歩として、アンケート調査へのご協力
よろしくお願いいたします。**

**また、アンケート調査結果や地域福祉計画については、
随時「広報結城」や市ホームページなどでお知らせいた
します。**



1 あなたご自身についてお伺いします。

問1 あなたの性別についてお伺いします。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 平成29年7月1日現在のあなたの年齢についてお伺いします。(ひとつだけ○)

- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代以上 | |

問3 あなたの職業についてお伺いします。(ひとつだけ○)

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 会社員 | 2. ・公務員・団体等職員 |
| 3. 農業・自営業(商店、企業経営など) | 4. パート・アルバイトなど |
| 5. 無職 | 6. 学生 |
| 7. 家事専業 | 8. その他() |

問4 現在、あなたは誰と一緒に暮らしていますか。(家族構成)(ひとつだけ○)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. ひとり暮らし(単身)世帯 | 2. 夫婦のみ |
| 3. 2世代世帯(親・子ども) | 4. 3世代世帯(祖父母・親・子ども) |
| 5. その他世帯(兄弟姉妹など) | 6. その他() |

問5 同居のご家族の中に、次のような方はいますか。(それぞれひとつだけ○)

	はい	いいえ
① 就学前のお子さんはいますか。	1	2
② 小・中・高在学中のお子さんはいますか。	1	2
③ 高齢者で介護が必要な方はいますか。	1	2
④ 障害のある人で介護が必要な方はいますか。	1	2

問6 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか。(ひとつだけ○)

- | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|
| 1. 結城 | 2. 絹川 | 3. 上山川 | 4. 山川 | 5. 江川 |
|-------|-------|--------|-------|-------|

問7 あなたは、結城市にお住まいになって通算で何年くらいですか。(ひとつだけ○)

1. 5年未満

2. 5年～10年未満

3. 10年～20年未満

4. 20年以上

2

地域の福祉についてお伺いします。

問8 あなたは、「福祉」に関心をお持ちですか。(ひとつだけ○)

1. 自分自身の身近な問題として関心がある
2. 自分自身というよりも、社会的な問題として関心がある
3. 関心がない

問9 あなたは、「福祉」という言葉からどのようなイメージを受けますか。(3つまで)

1. だれにとっても暮らしやすい社会を築くこと
2. 経済的に恵まれない人を援助すること
3. お年寄りや体の不自由な人を支えること
4. 手助けが必要になった時にお互いを助けあうこと
5. 困っている人のために施設や制度を整えること
6. わからない
7. その他 ()

問10 日ごろの近所づきあいは、どの程度ですか。(ひとつだけ○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. かなり親しい | 2. どちらかといえば親しい |
| 3. 立ち話やあいさつをする程度 | 4. あまりつきあいはない |
| 5. つきあいは全くない | |

問11 ご近所づきあいは、今後、どのようにしたいですか。(ひとつだけ○)

1. 親密なつきあい(家族同様に関わる)
2. 相互扶助的なつきあい(困ったときに相互に助けあう)
3. 形式的なつきあい(義理を欠かさない)
4. なるべく関わらない(あいさつをする程度)
5. 全く関わらない
6. わからない
7. その他 ()

問12 ご近所で、病気や介護、子育てなどで支援が必要なご家庭があった場合、あなたがしてもよいと思うことはありますか。(3つまで)

問13 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点・不足していると思うものは何ですか。

(○はいくつでも)

1. あいさつをしない人が多い
2. 緊急時の対応体制がわからない
3. 犯罪の増加
4. 交通マナーの乱れ
5. 道ばたのごみが増えた
6. 地域での子どもの見守りがなされていない
7. 子どもや女性、高齢者、障害のある人に対する虐待を見たり聞いたりする
8. 隣近所との交流が少ない
9. 世代間の交流が少ない
10. 地域の活動が不活発である
11. 地域の中で気軽に集まれる場が少ない
12. 自治会の活動に参加しにくい雰囲気があること
13. 障害のある人に対する理解が不足している
14. 健康に対する意識が低い
15. 移動手段が不十分
16. 特にない
17. その他 (



問14 災害や助け合いなどの募金に協力したことはありますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. いつも協力する | 2. たまに協力する |
| 3. 協力を求められれば、協力する | 4. 協力しない |

問15 あなたは、住民同士がお互いに助け合えるのは、どの範囲だと思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 隣近所 | 2. 班・坪 |
| 3. 行政区(区・町内会・自治会) | 4. 小学校区 |
| 5. 中学校区 | 6. 市全体 |
| 7. わからない | 8. その他 () |

問16 次の①～④の名前や内容について知っていますか。(それぞれひとつだけ○)

	名前も活動内容も知っている	名前は知っているが、活動内容はよく知らない	名前も活動内容も知らない
①市福祉事務所や健康増進センター	1	2	3
②結城市社会福祉協議会	1	2	3
③地域包括支援センター	1	2	3
④在宅介護相談センター	1	2	3

⑤民生委員・児童委員	1	2	3
⑥生活困窮者自立支援事業	1	2	3
⑦フードバンク	1	2	3
⑧ゆうきの地域福祉計画	1	2	3

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 自分や家族の健康のこと | 2. 自分や家族の老後のこと |
| 3. 子どもの教育や将来のこと | 4. 乳幼児の育児に関すること |
| 5. 介護に関すること | 6. 収入など経済的なこと |
| 7. 地域での人間関係のこと | 8. 家族の人間関係のこと |
| 9. 職場での人間関係のこと | 10. 住環境に関すること |
| 11. 地域の治安に関すること | 12. 地震や火事などの災害に関すること |
| 13. 働くこと（就職・失業） | 14. 外出と移動に関すること |
| 15. その他（ | ） 16. 特にない |

問21 福祉についての困りごとや心配ごとで、次の相談窓口を利用したことはありますか。①～④のそれぞれについて利用状況に○をつけてください。また、利用したことがある場合、その満足度についても○をつけてください。

①市福祉事務所や健康増進センター

1. 利用したことがある		2. 利用したことがない	
利用した満足度	1. かなり満足	2. ほぼ満足	3. やや不満 4. かなり不満

②結城市社会福祉協議会

1. 利用したことがある		2. 利用したことがない	
利用した満足度	1. かなり満足	2. ほぼ満足	3. やや不満 4. かなり不満

③地域包括支援センター

1. 利用したことがある		2. 利用したことがない	
利用した満足度	1. かなり満足	2. ほぼ満足	3. やや不満 4. かなり不満

④在宅介護相談センター

1. 利用したことがある		2. 利用したことがない	
利用した満足度	1. かなり満足	2. ほぼ満足	3. やや不満 4. かなり不満

問22 あなたのご近所で、子どもや高齢者、障害のある人が虐待を受けているのではないかと疑われることはありますか。(ひとつだけ○)

1. ある	2. 確信はもてないが、ある	3. ない
-------	----------------	-------

問 22-1 今後、どのように対応しますか。(ひとつだけ○)

1. 市役所等に通報する	2. まだ、通報するほどではない
3. 確信がもてないので、通報できない	4. あまり関わりたくない

問23 あなたのご近所で、子どもの引きこもりや高齢者の孤立等で何らかの支援を必要としているのではないかと、と思われることはありますか。(ひとつだけ○)

1. ある	2. 確信はもてないが、ある	3. ない
-------	----------------	-------

4

地域活動・ボランティア活動についてお伺いします。

問24 あなたは、地域（小学校区程度の範囲）の行事や活動に参加していますか。（ひとつだけ○）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. ほとんど参加する | 2. 比較的、参加するほうである |
| 3. あまり参加しないほうである | 4. ほとんど参加したことがない |

問 24 において、「1」または「2」と回答された方にお聞きします。

問 24-1 それは、主にどのような事業や活動ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 自治会活動 | 2. 地域行事への参加（スポーツ大会や祭等） |
| 3. 行事地域の清掃やきれいにする活動 | 4. 子ども会・PTAの行事 |
| 5. 学校支援ボランティア | 6. 青少年の健全育成活動 |
| 7. 高齢者や障害者等の福祉関連活動 | 8. 自然や環境を守る活動 |
| 9. 防災活動（避難訓練など） | 10. 交通安全・防犯活動（防犯パトロールなど） |
| 11. 健康づくりや介護予防活動 | 12. その他（ ） |

問 24-2 地域の行事や活動に参加した主なきっかけは何ですか。（ひとつだけ○）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 地域を住みよくしたい | 2. 社会や他人のためになりたい |
| 3. 自分の経験や知識を役立てたい | 4. 知識や技術を身につけたい |
| 5. 内容やテーマに興味があった | 6. 友人・知人を得たい |
| 7. 友人・知人にすすめられた | 8. 持ち回り当番制だから |
| 9. その他（ ） | 10. 特にない |

問 24 において、「3」または「4」と回答された方にお聞きします。

問 24-3 あなたが、地域活動に参加していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 参加したい活動がない | 2. 活動内容や参加方法がわからない |
| 3. 仕事が忙しい | 4. 家事や育児が忙しい |
| 5. 家族の介護が忙しい | 6. 他に参加している活動がある |
| 7. 家族の理解が得られない | 8. 活動のための費用がない |
| 9. 病気・ケガがある | 10. 地域活動には関心がない |
| 11. 以前に不快な思いをした | 12. 一緒に参加する仲間がいない |
| 13. 本来行政がやるべきことだと思うから | 14. その他（ ） |
| 15. 特に理由はない | |

問25 すべての方にうかがいます。あなたは今後、地域活動に参加したいと思いませんか。（ひとつだけ○）

- | | | |
|-----------------|----------------|------------|
| 1. 今後（とも）、参加したい | 2. 機会があれば参加したい | 3. 参加したくない |
|-----------------|----------------|------------|

問 25 において、「1」または「2」と回答された方にお聞きします。

問 25-1 今後、参加したい地域活動はどの分野ですか。（○はいくつでも）

問26 ボランティア活動に参加したことがありますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1. 現在、参加している | 2. 以前に参加したことはあるが、現在はしていない |
| 3. 参加したいが参加できない | 4. 参加したことはない |

問 26 において、「1」または「2」と回答された方にお聞きします。

問 26-1 あなたが参加したことのあるボランティア活動は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 高齢者への援助 | 2. 障害のある人への援助 |
| 3. 子育ての支援や子どもの世話 | 4. 青少年の健全な育成に関する活動 |
| 5. スポーツ・文化・レクリエーションに関する活動 | 6. 環境保護・清掃美化に関する活動 |
| 7. 防災・防犯などの地域安全活動 | 8. 被災地の支援 |
| 9. 国際交流 | 10. その他() |

問 26-2 ボランティア活動に参加した主なきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 地域や社会に貢献したい | 2. 自分の能力や経験などを活かしたい |
| 3. 新しい仲間づくりをしたい | 4. 余暇を有効に活用したい |
| 5. 家庭や仕事以外の生きがいをつくりたい | 6. 自己啓発のため |
| 7. 学校の授業や企業での奉仕活動として | 8. 活動に参加している人から誘われた |
| 9. その他() | 10. 特に理由はない |

問 26 において、「3」または「4」と回答された方にお聞きします。

問 26-3 ボランティア活動をしたことがない主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 誘いやきっかけがなかった | 2. 内容や時間・場所等の情報がない |
| 3. 適当なボランティア団体が近くにない | 4. 一緒に活動する仲間がいない |
| 5. 子育て中で余裕がない | 6. 介護のため余裕がない |
| 7. 仕事がきつくて余裕がない | 8. その他() |
| 9. 特に理由はない | |

問27 すべての方にうかがいます。今後、ボランティア活動に参加したいと思いませんか。(ひとつだけ○)

- | | | |
|-----------------|----------------|------------|
| 1. 今後(とも)、参加したい | 2. 機会があれば参加したい | 3. 参加したくない |
|-----------------|----------------|------------|

問 27 において、「1」または「2」と回答された方にお聞きします。

問 27-1 今後、参加したいボランティア活動はどの分野ですか。(○はいくつでも)

5 地域づくりについてお伺いします。

問29 お住まいの地域は、犯罪の危険から安全だと思いますか。(ひとつだけ○)

1. かなり安全だと思う	2. どちらかといえば安全だと思う
3. どちらかといえば危険だと思う	4. かなり危険だと思う

問30 あなたご自身やご家族が、地域で犯罪の危険にあったことはありますか。(ひとつだけ○)

1. あった	2. あいそうになった	3. ない
--------	-------------	-------

問 30-1 それはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 住宅などの空き巣	2. 自動車やオートバイなどの盗難	3. 家や車などにいたずら
4. すりやひったくり	5. 振り込め詐欺や悪質商法	6. 不審者や変質者の出没
7	そ	の
()

問31 災害などの際、支援を必要とする人の情報の扱い(支援に必要な最低限の情報)についてどのように思いますか。(ひとつだけ○)

1. 人や家族が、事前に支援を申請しておけばよい
2. 本人の了承があれば隣近所等一定の範囲で情報は知られていてもよい
3. 町内会では、要支援者の情報を持っていて役立ててほしい
4. その他()
5. 個人情報はいっさい外部に出すべきでない
6. わからない

問32 防災活動や災害など緊急時の対応について、あなたの取り組みや考えはどれですか。(それぞれひとつだけ○)

	はい	いいえ	わからない
①日ごろから地域の防災訓練に参加している	1	2	3
②地域の自主防災組織(町内会・自治会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織)に入っている	1	2	3
③災害などの緊急時に、高齢者世帯や障害のある人など要援護者への、避難等の手助けができる	1	2	3
④災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要である	1	2	3

問33 あなたは、地震などの災害が発生した時に、困ることはどのようなことだと思いますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 災害の情報がわからない | 2. 安全な場所に避難できない |
| 3. 救助を求めることができない | 4. 救助を求めても助けてくれる人がいない |
| 5. 避難場所がわからない | 6. 物資の入手方法などがわからない |
| 7. 介助や支援が受けられない | 8. 必要な治療が受けられない |
| 9. 周囲とコミュニケーションがとれない | 10. わからない |
| 11. その他 () | 12. 特にない |

レクリエーションや地域活動・ボランティア活動等の情報交換等をできる場について、どのように思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|----------|------------------------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したくない |
| 3. わからない | 4. その他() |

問38 当市は、住みよいですか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 住みよい | 2. どちらかといえば、住みよい |
| 3. どちらかといえば、住みにくい | 4. 住みにくい |

問39 結城市の福祉施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う |
| 2. ボランティア団体やNPO 法人など市民活動への援助を充実させる |
| 3. 高齢者や障害のある人が地域で活動できる機会をつくる |
| 4. 人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる |
| 5. 健康や福祉についての情報提供を充実させる |
| 6. 住民がお互いに支え合い助け合えるまちづくりをすすめる(住民同士や行政との協力等) |
| 7. 健康づくりや生きがいづくりがさかんなまちづくりをすすめる |
| 8. 自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる |
| 9. 高齢者、障害のある人、児童の施設サービスを充実させる |
| 10. 安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる |
| 11. 手当てなど金銭的な援助を充実させる |
| 12. 生活困窮者に対する相談体制の整備や支援を充実する |
| 13. 地域で孤立している社会的孤立者(引きこもりなど)への支援 |
| 14. 交通の利便性の確保をすすめる |
| 15. 道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる |
| 16. その他() |

問40 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを進めるために、課題や困っていること、ご意見等がございましたら、ご記入ください。

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケート用紙は**7月31日(月)**までに同封の返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストに投函して下さい。切手は不要です。

Ⅱ. 民生委員・児童委員

福祉アンケート

ごあいさつとお願い

民生委員児童委員の皆様には、日ごろから福祉行政についてご理解とご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。今日、人にやさしい福祉のまちづくりを、市民のみなさまのお力ですめることは、きわめて重要な課題であると考えております。

このたび、地域における福祉をこれまで以上に推進するために、「第3期ゆうきの地域福祉計画」を策定することにいたしました。

つきましては、みなさまのご意見やご意向をこの計画に反映させるため、アンケートを実施いたします。アンケート結果は「第3期ゆうきの地域福祉計画」策定の資料としてのみ活用し、他に使用することは一切ありませんので、ぜひともご協力をお願いいたします。

平成29年7月

◇記入いただいた調査票は、7月25日の定例会に持参願います。

<お問い合わせ先> 結城市 保健福祉部社会福祉課 企画管理係
電話：34-0416 FAX：33-6628

問1 民生委員児童委員として、日頃の活動をどのように感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

やりがい (感じる ・ 感じない)

使命感 (感じる ・ 感じない)

負担感 (感じる ・ 感じない)

限界感 (感じる ・ 感じない)

問2 民生委員児童委員活動の中で、地域住民と接触するうえでの苦労はありますか。

(○は1つ)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 苦労している | 2 どちらかといえば苦労している |
| 3 あまり苦労していない | 4 苦労してない |

問3 民生委員児童委員活動で大変と感じることは、どんなときですか。(○は3つまで)

- 1 担当世帯数が多い
- 2 訪問しても会うことを拒否される
- 3 家庭のことを話してくれない
- 4 担当地区の実態把握がなかなかできない
- 5 どこまで協力者や周りに個人情報を開示してよいのかわからない
- 6 地域の理解・協力が得られない
- 7 問題の複雑化 (支援の方法が見いだせない)

- 8 どこに相談するかわからない事が多い
- 9 行政側で必要な情報を提供してくれない
- 10 困ったときに行政担当者の対応が十分でない
- 11 福祉制度・サービスなどなかなか理解できない
- 12 どこまで民生委員児童委員として関わるのかわからない
- 13 特にない
- 14 その他 ()

問4 民生委員児童委員活動を行うときの問題点や課題を教えてください。(○は3つまで)

- 1 活動に必要な情報が得られない
- 2 地域のニーズが把握できない
- 3 地域から協力者を得ることが難しい
- 4 後継者がいない、育たない
- 5 活動が地域に理解されない
- 6 知名度が低い(民生委員児童委員のPR)
- 7 自治会・町内会との連携が難しい
- 8 対象者のプライバシーの保護
- 9 経費がかかる
- 10 その他 ()

*ご協力ありがとうございました。7月25日の定例会で回収いたします。

Ⅲ. ボランティア団体

福祉アンケート

ごあいさつとお願い

みなさまには、日ごろから福祉行政についてご理解とご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。今日、人にやさしい福祉のまちづくりを、市民のみなさまのお力ですめることは、きわめて重要な課題であると考えております。

このたび、地域における福祉をこれまで以上に推進するために、「第3期ゆうきの地域福祉計画」を策定することにいたしました。

つきましては、ボランティア団体のみなさまのご意見やご意向をこの計画に反映させるため、アンケートを実施いたします。アンケート結果は「第3期ゆうきの地域福祉計画」策定の資料としてのみ活用し、他に使用することは一切ありませんので、ぜひともご協力をお願いいたします。

平成29年7月

◇記入した調査票は、8月10日までに社会福祉協議会までご提出願います。

- 5 先進事例や文献で情報を収集している
- 6 関係団体と情報交換などの交流の機会をつくっている
- 7 スタッフを積極的に受け入れる
- 8 その他 ()

問8 貴団体の活動全般で困っていることは何ですか。(○は3つまで)

- 1 活動拠点の確保
- 2 活動資金の調達
- 3 スタッフ不足
- 4 スタッフの高齢化
- 5 後継者がいない、育たない
- 6 活動のマンネリ化
- 7 活動に対する周囲の理解不足
- 8 関係団体との連携
- 9 活動ノウハウの不足
- 10 活動のための研修会等がない
- 11 活動に必要な情報が得られない
- 12 団体の知名度が低い
- 13 ニーズが的確に把握できない
- 14 特に問題はない
- 15 その他 ()

- 2 地域での人と人とのつながりが希薄化している
- 3 独居高齢者や障害者など、支援を必要とする方の存在が、地域で共有化されていない
- 4 地域の中で、市民活動等の情報が周知されていない
- 5 特にない
- 6 その他 ()

問14 今後、貴団体の活動をさらに活性化させるためには、どのような取り組みが必要と考えますか。(○は3つまで)

- 1 団体間の交流の充実
- 2 団体の情報発信となるホームページの作成
- 3 団体の活動資金確保に向けた情報提供や支援体制の充実
- 4 研修会や講習会の充実
- 5 活動をPRする場の提供
- 6 活動に関する相談できる場の整備
- 7 スタッフ募集などに役立つ人材情報の提供
- 8 市民のボランティア活動の関心を高める
- 9 活動の資金面の援助
- 10 特にない
- 11 その他 ()

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

地域福祉に関するアンケート調査報告書

発 行／結城市
編 集／結城市 社会福祉課
〒307-8501 茨城県結城市大字結城 1447
T E L 0296-34-0416
発 行／平成 29 年 11 月
